

施設名称 福山市西部清掃工場

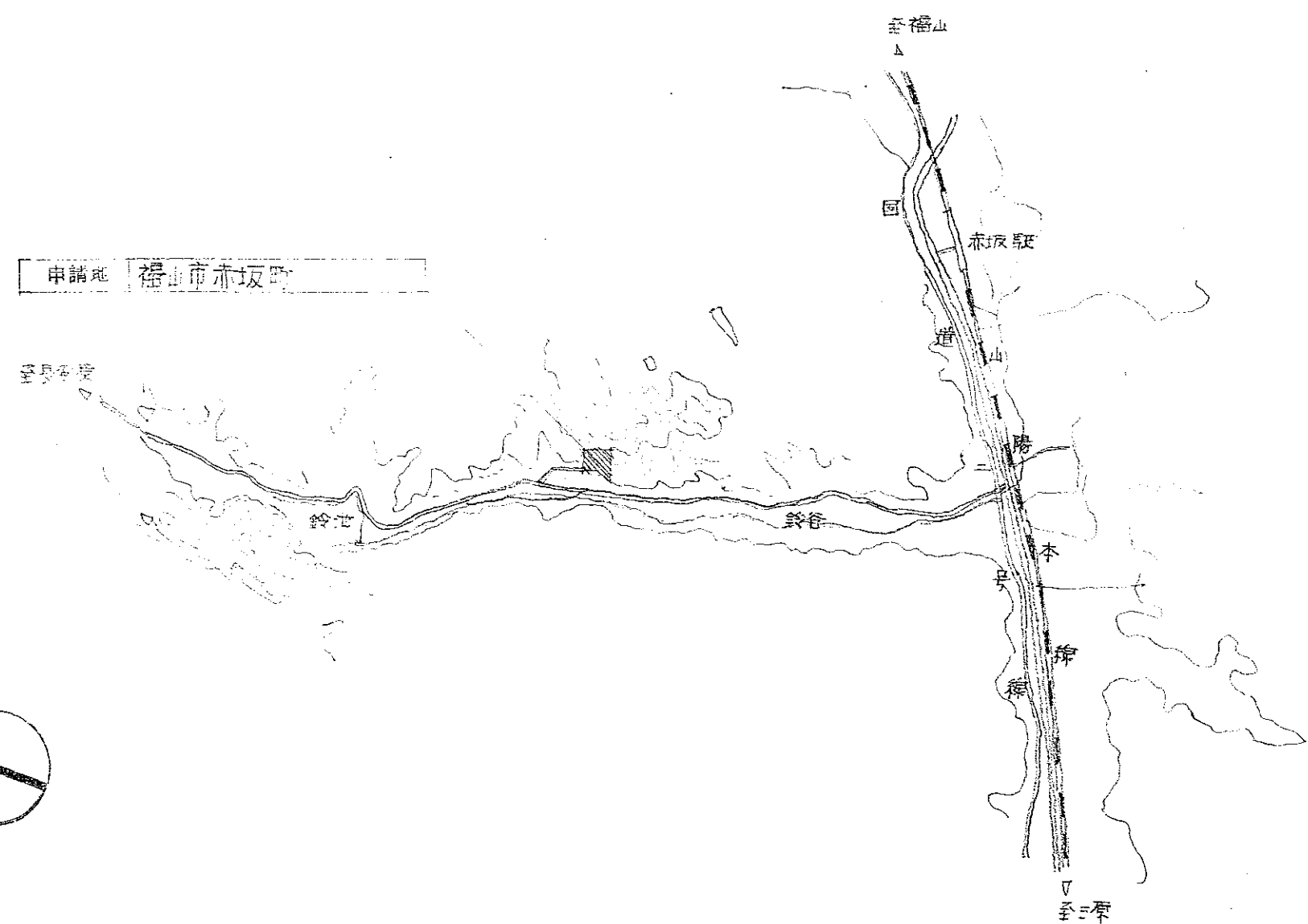
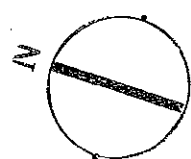
工事名称 管理棟新築工事

図面リスト

番号	図面名称
1	図面リスト
2	特記仕様書
3	配置図・付近見取図
4	平面図
5	姿図
6	在来平面図
7	平面図
8	断面図
9	展開図
10	展開図
11	天井伏図
12	ディテール
13	ディテール
14	ディテール
15	ディテール
16	平面図・建具配置図
17	建具リスト
18	基礎伏図・梁伏図・柱リスト
19	ラーメン配筋図・各配筋図
20	大梁配筋図

番号	図面名称
21	大梁配筋図
22	鉄筋配筋仕様書1
23	鉄筋配筋仕様書2
24	プロパンガスボンベ庫
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

A		B		C		D		E		F		G		H	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	
1		2		3		4		5		6		7		8	



附近見取図 NO SCALE

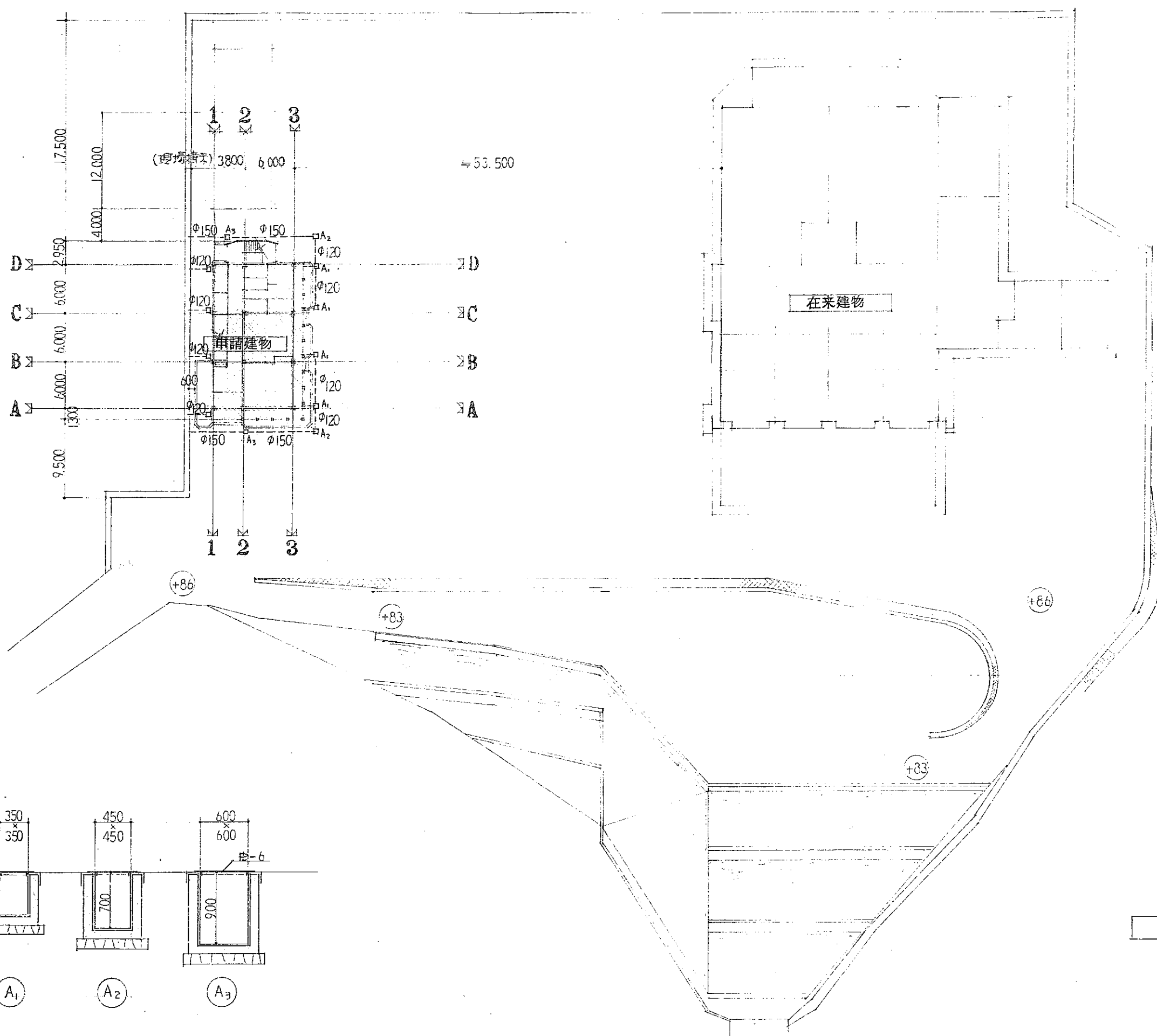
敷地面積	770.00	m ²
建物面積計算式		
管理棟建築面積 1階床面積	19.465 × 11.465 = 223.166	
	2.765 × 6.100 = 16.988	
	2 × (1.400 × 1.300) = 3.640	
	239.114	
	239.11	m ²
2階床面積	239.11	m ²
屋上床面積	2.765 × 6.100 = 16.988	
	4 × (1.400 × 1.300) = 7.280	
	14.908	
	14.91	m ²
延面積	493.13	m ² (149.17k)
直積	建築面積 延面積 12.250 × 7.160 = 87.958	m ² (26.61k)

仕上表

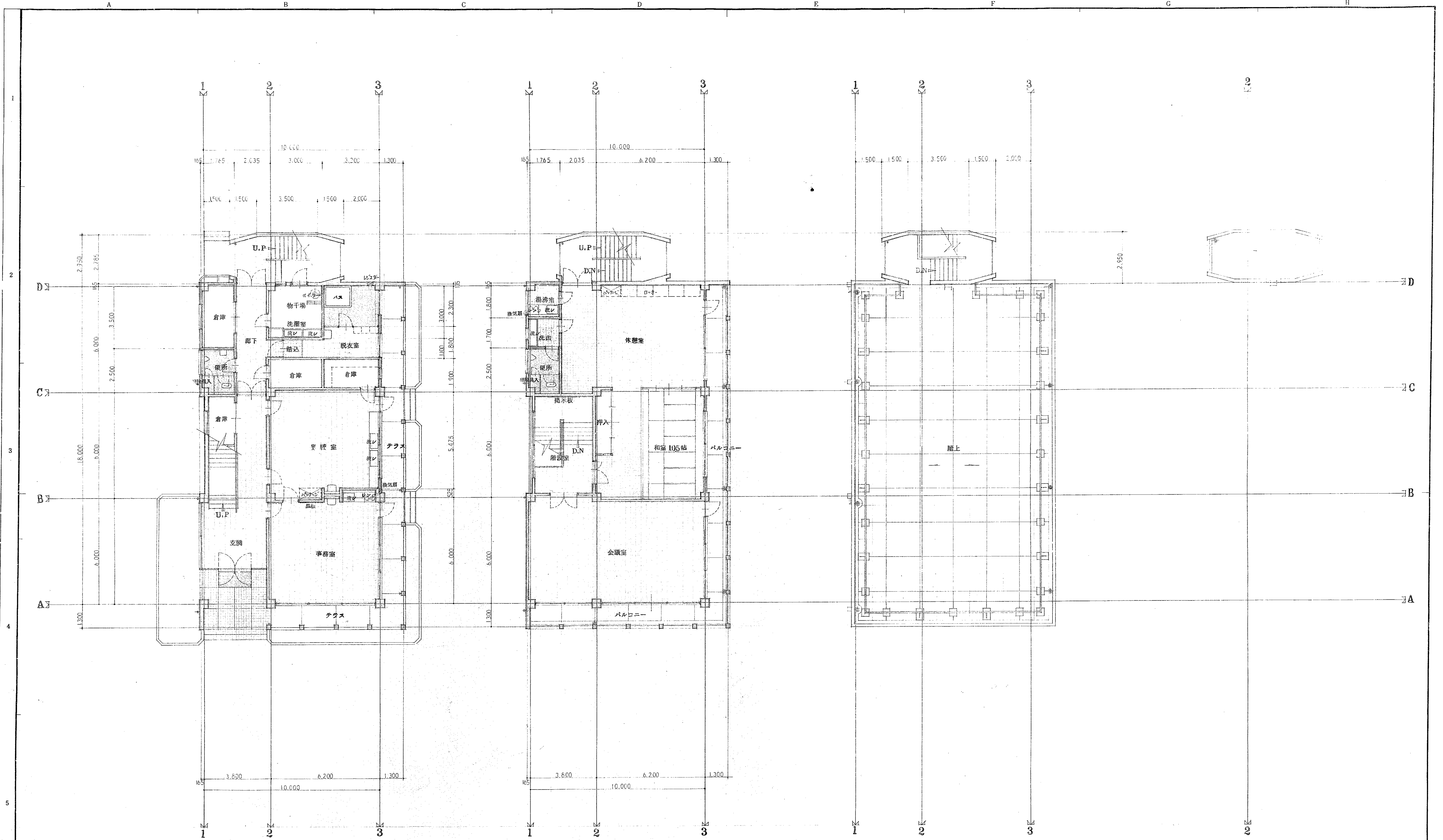
外壁 — エルタル塗り刷毛引ダイヤスキ付
建具 — アルミサッシ

屋根 ス波スレート葺
小波スレート葺り 一部ポリエステル小波板葺り
C.B.φ100 化粧板

階	室名	名称	床	巾木	腰	壁	天井	備考
1階	ホール	磁器タイル貼リ	115×115	ダイヤスキ付	ダイヤスキ付	ダイヤスキ付	フレキシブル防音板φ4% (有孔) EP	グレーチング敷板マット付、踏切文字
	倉庫	磁器タイル貼リ		エルタル塗り金網ナシビニール巾木	エルタル塗り金網ナシ(ソラコート付)	エルタル塗り金網ナシ(ソラコート付)	フネンパース 303×606×9, エルタル塗り刷毛引ダイヤスキ	
	事務室	磁器タイル貼リ		エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り金網ナシ	P.B.底地貼リ(E.P.)	
	洗面室	1		1 (1部化粧流し付)	1 (EF(A))	1 (EF(A))	フネンパース	流し台、レンジ、食器下ド付、行事黒板 1200×900
	洗面	フリンカータイル 150×150		エルタル塗り金網ナシ(V.P.)	1	1	1	流し (4石付)
	脱衣室、階段	1	磁器タイル貼リ	1	1	1	1	1
	浴室	エグイフタイル貼リ		100角タイル貼リ	100角タイル貼リ	100角タイル貼リ	バスリブ貼リ	脱衣箱 6×用
	便所	1 (磁器)		1	1	1	1	バス(ボリ)
	ボイラー室、物干場	エルタル塗り金網ナシ		エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り金網ナシ	1	物干黒板 2+
	廊下	フリンカータイル 150×150		1 (V.P.)	1 ナシ(EF(A))	1 ナシ(EF(A))	エルタル塗り刷毛引	
2階	テラス	カラクリタイル貼リ	目地切	ダイヤスキ付	ダイヤスキ付	ダイヤスキ付	フレキシブル防音板φ4% (有孔) EP	
	階段室	磁器タイル貼リ		エルタル塗り金網ナシ(V.P.), ビニール巾木	エルタル塗り金網ナシ(ソラコート付)	エルタル塗り金網ナシ(ソラコート付)	P.B.底地貼リ(プラスチック貼リ)	揚子板 1800×900
	会議室	1		1	1	1	1	
	休憩室	フリンカータイル貼リ 150×150		エルタル塗り金網ナシ(V.P.)	1 (EF(A))	1 (EF(A))	1	
	和室 10.5帖	タ・ミ		タ・ミ寄セ	1 押ミジュラクサテン	1 押ミジュラクサテン	1	
	便所	エグイフタイル貼リ (磁器)		100角タイル貼リ	100角タイル貼リ	100角タイル貼リ	杉貼板ベニヤ底地貼リ	
	湯沸室	フリンカータイル貼リ 150×150		エルタル塗り金網ナシ(V.P.) 一部100×100タイル貼リ	エルタル塗り金網ナシ(EF(A)) 一部100×100タイル貼リ H=1,800	エルタル塗り金網ナシ(EF(A))	1	
	洗面	1		1	1	1	1	
	押入	ベニヤφ55%		押入付	ベニヤφ55%	ベニヤφ55%	ベニヤφ4%	流し台、レンジ、食器下ド付
	バルコニー	エルタル塗り金網ナシ(ゴレックス防水シート下地)		エルタル塗り金網ナシ	ダイヤスキ付	ダイヤスキ付	フレキシブル防音板φ4% (有孔) EP	流し (4石付)
屋上	階段室	防水エルタル塗り金網ナシ		1	エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り金網ナシ	エルタル塗り刷毛引ダイヤスキ付	2段
	屋上	ゴレックス防水シート エルタル塗り金網ナシ						



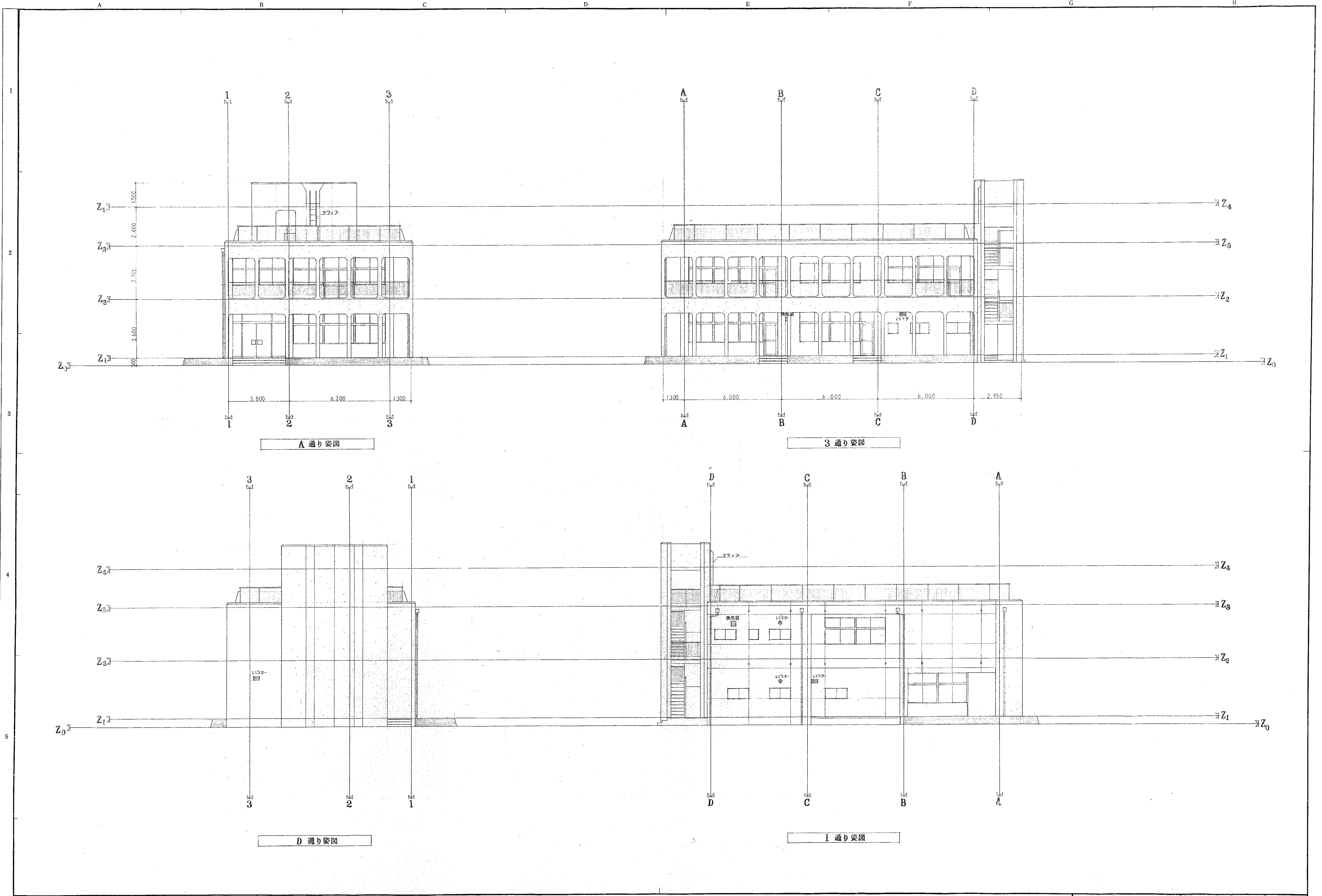
配置図 1.500

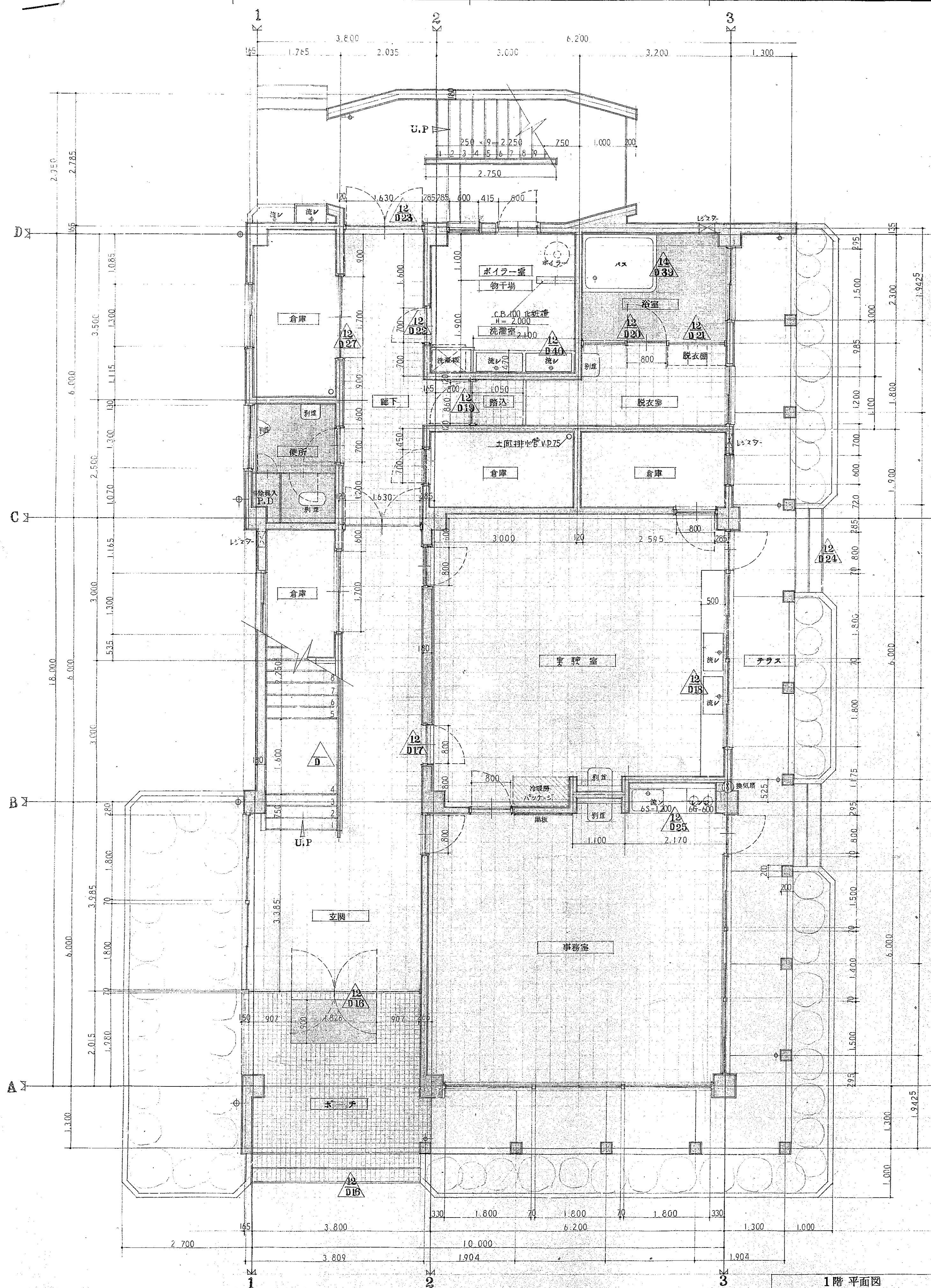


1階平面図

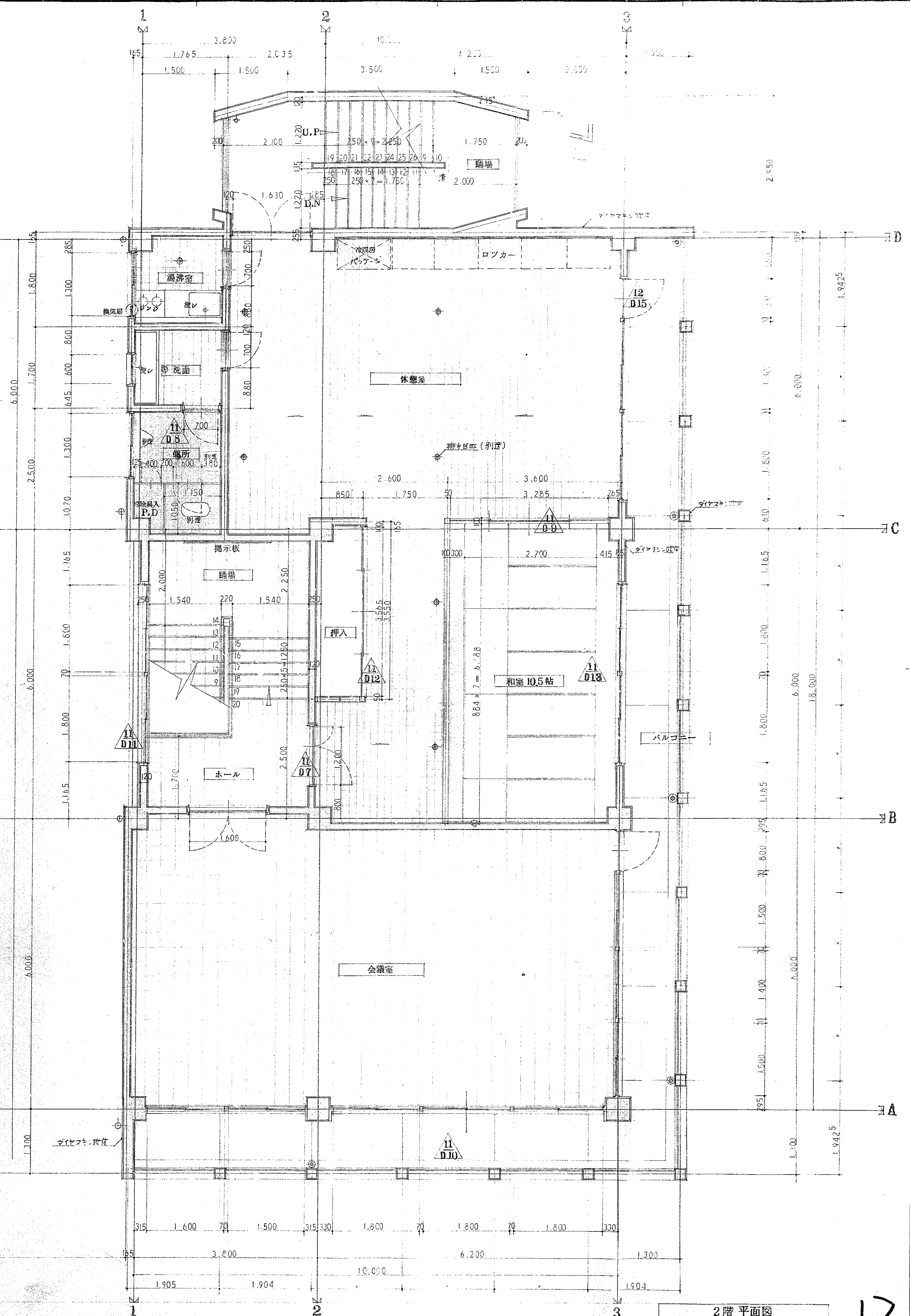
2階平面図

屋上平面図





1階平面図



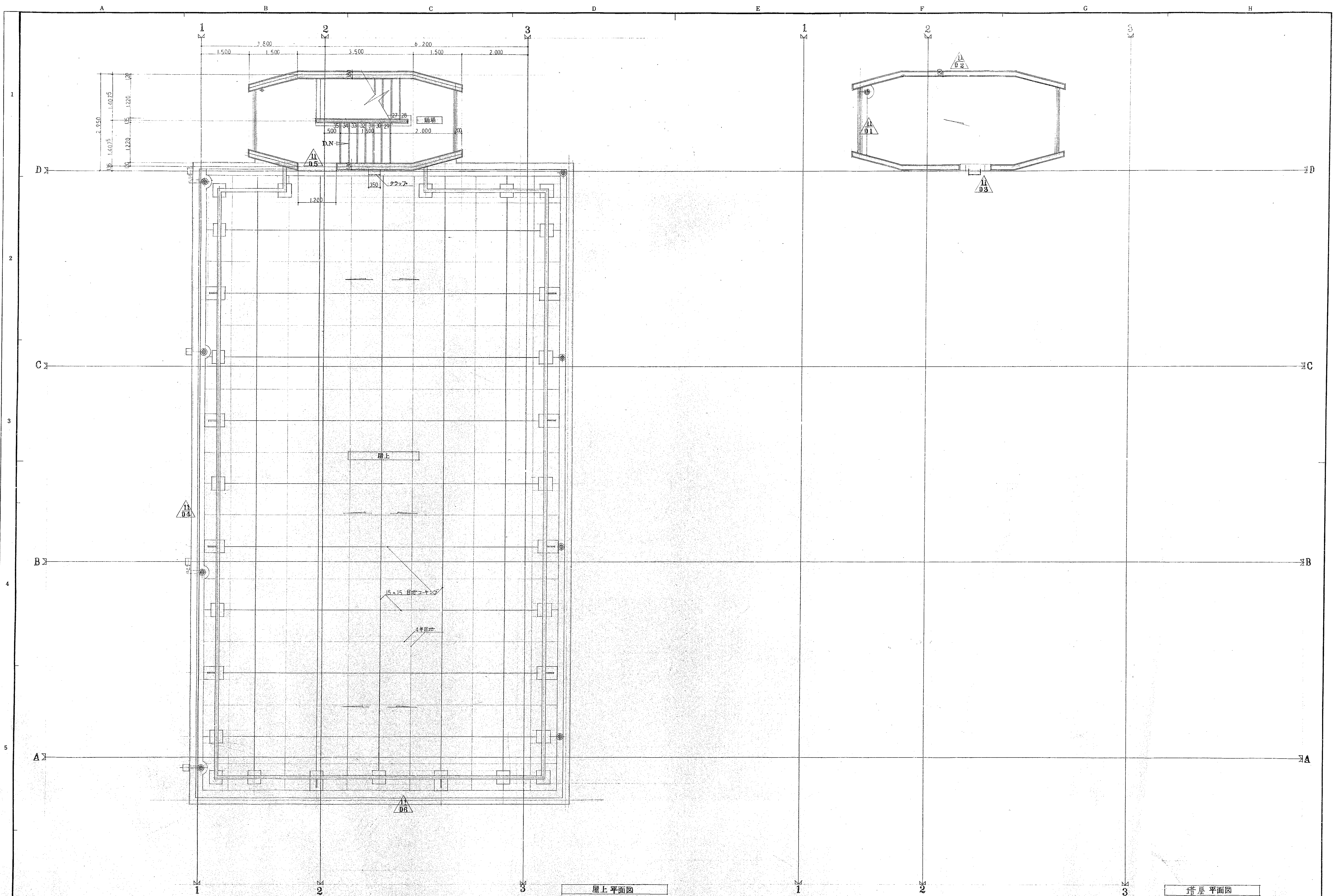
2階平面図

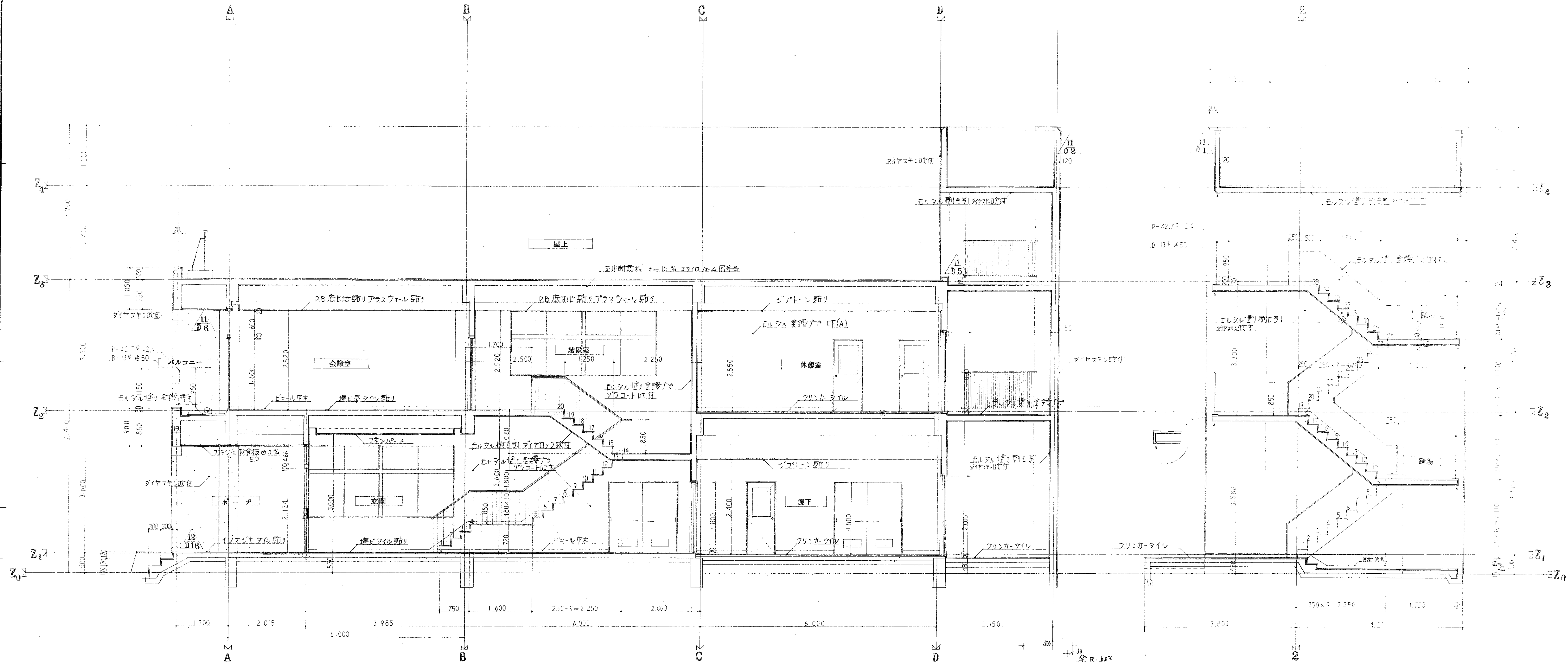
年 月 日 係員 係長 課長
福山市建設局土木建築部建築課

福山市建設局管理課 新築工事設計図
在来平面図
一級建築士事務所 株式会社 鈴木工務店
福山市九ノ内1丁目4番1号 TEL. (0849) 8022-1011

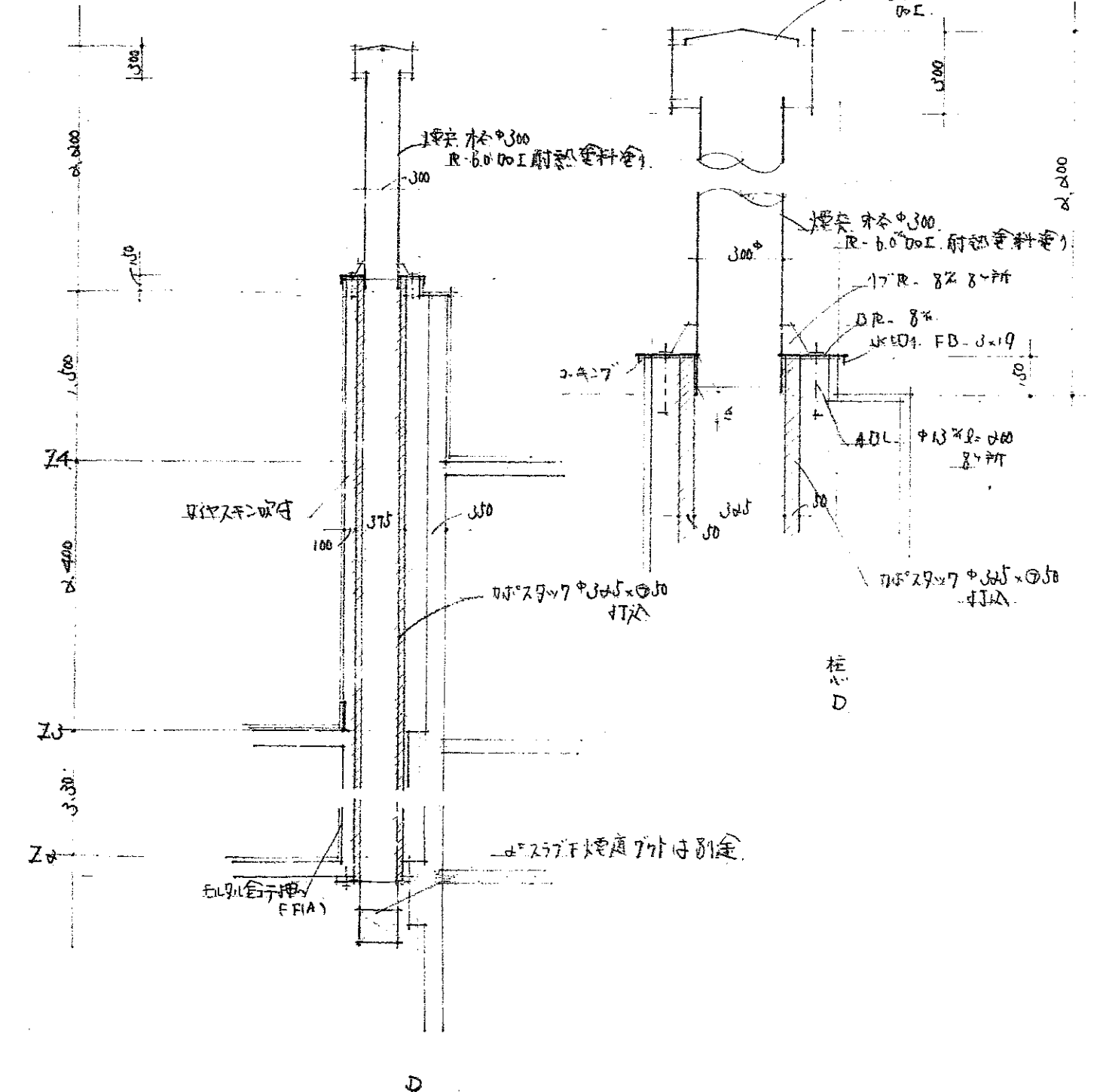
図番 1.50

5

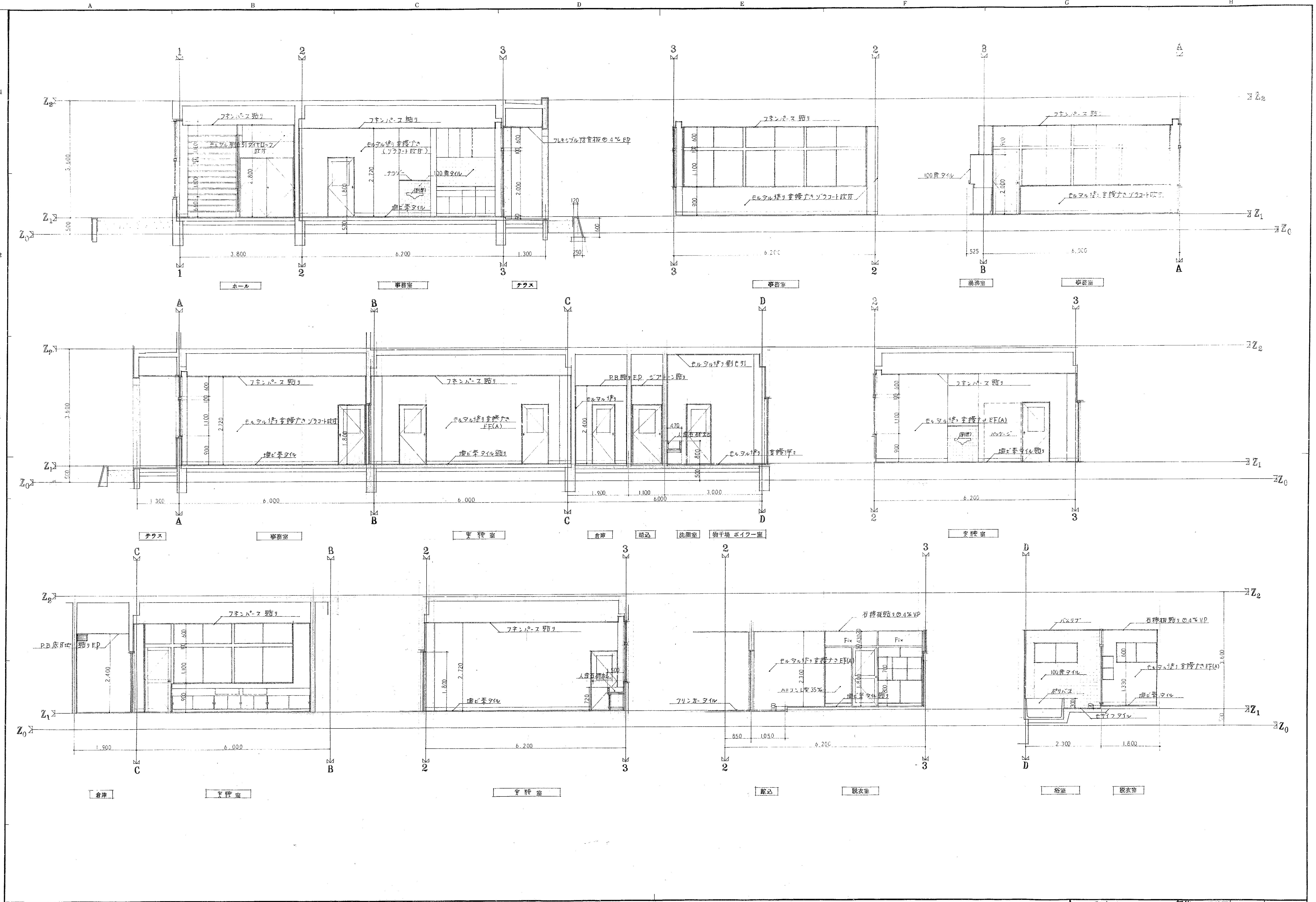




断面図

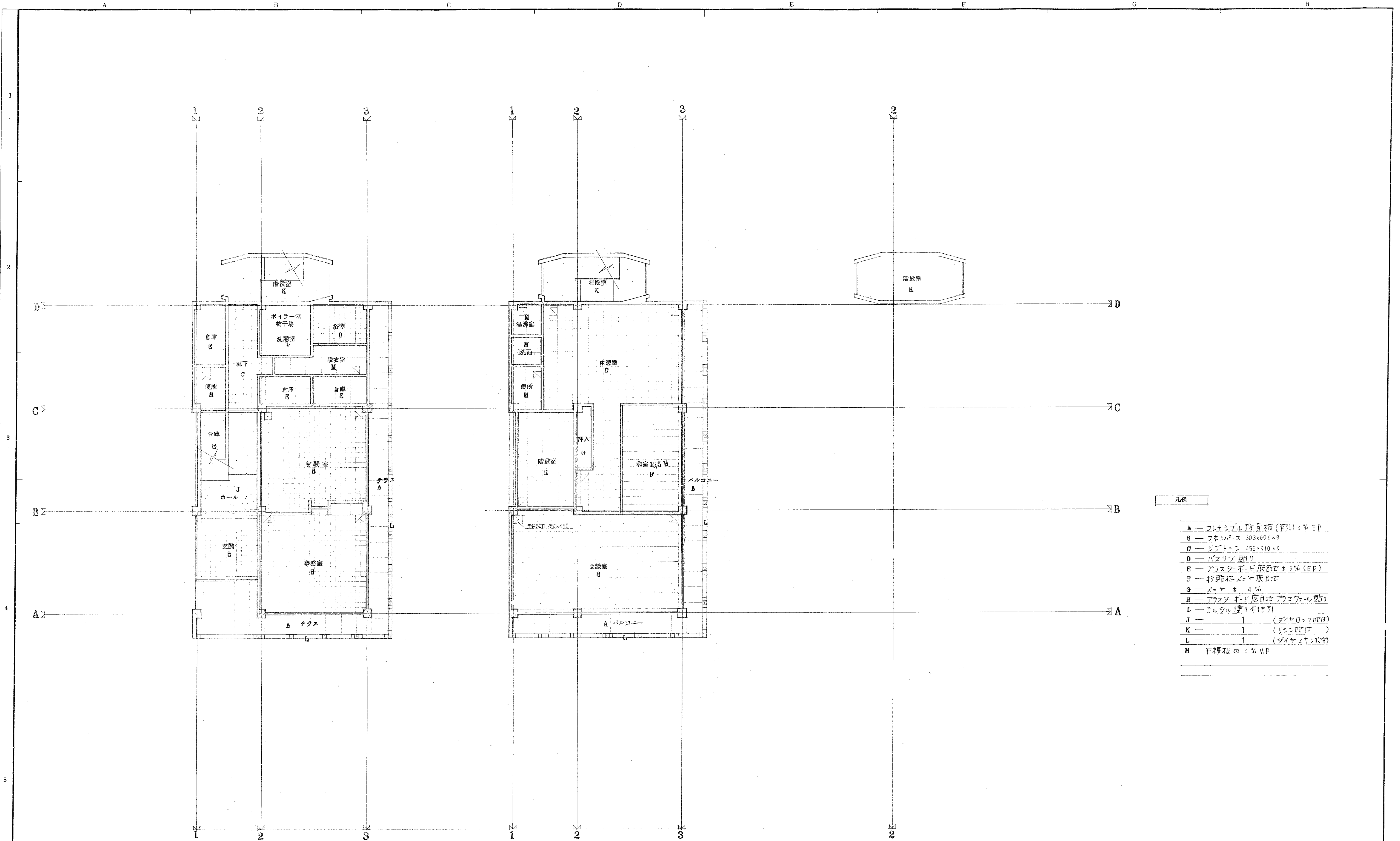


断面図





福山市西部環境管理課		新築 工事設計図	縮尺	図番
展開図			1.50	9
一般建築士事務所	株式会社	鈴木工務店	設計 担当	
福山由九ノ内1丁目4番1号 TEL (0869) 662-1011				



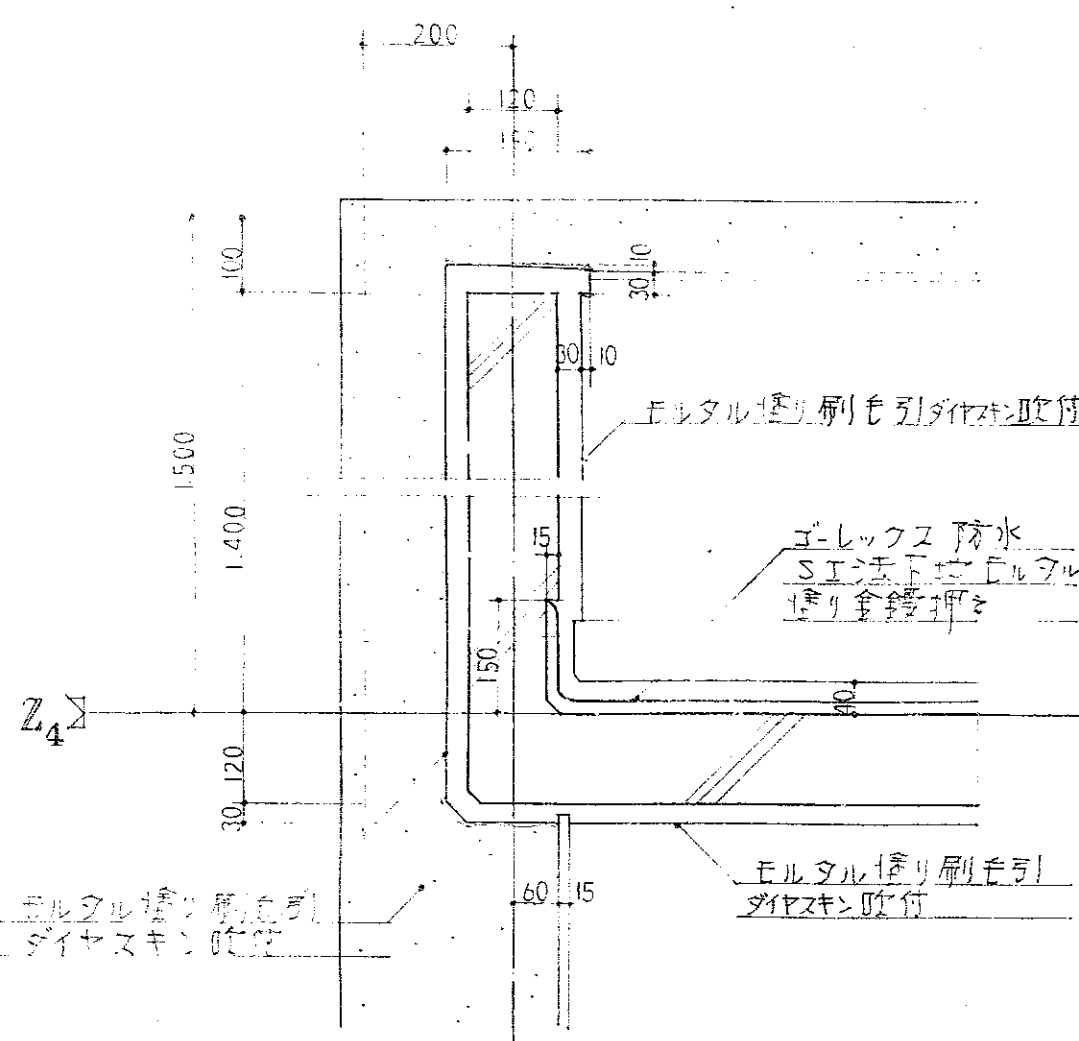
- 凡例
- A—フレキシブル防音板(耐)4%EP
 - B—フネンバース 303×606×9
 - C—ジントーン 455×910×9
 - D—バスリフ 耐リ
 - E—プラスターボード底面地0.9% (EP)
 - F—杉野板メーヤ底面地
 - G—メーヤ 4%
 - H—プラスターボード底面地プラスフルール耐リ
 - I—フルタル耐リ耐リ耐リ
 - J—1 (ダイヤロップ0.9%)
 - K—1 (リシン0.9%)
 - L—1 (ダイヤスキ0.9%)
 - M—石粉板0.4% V.P.

1階 天井伏図

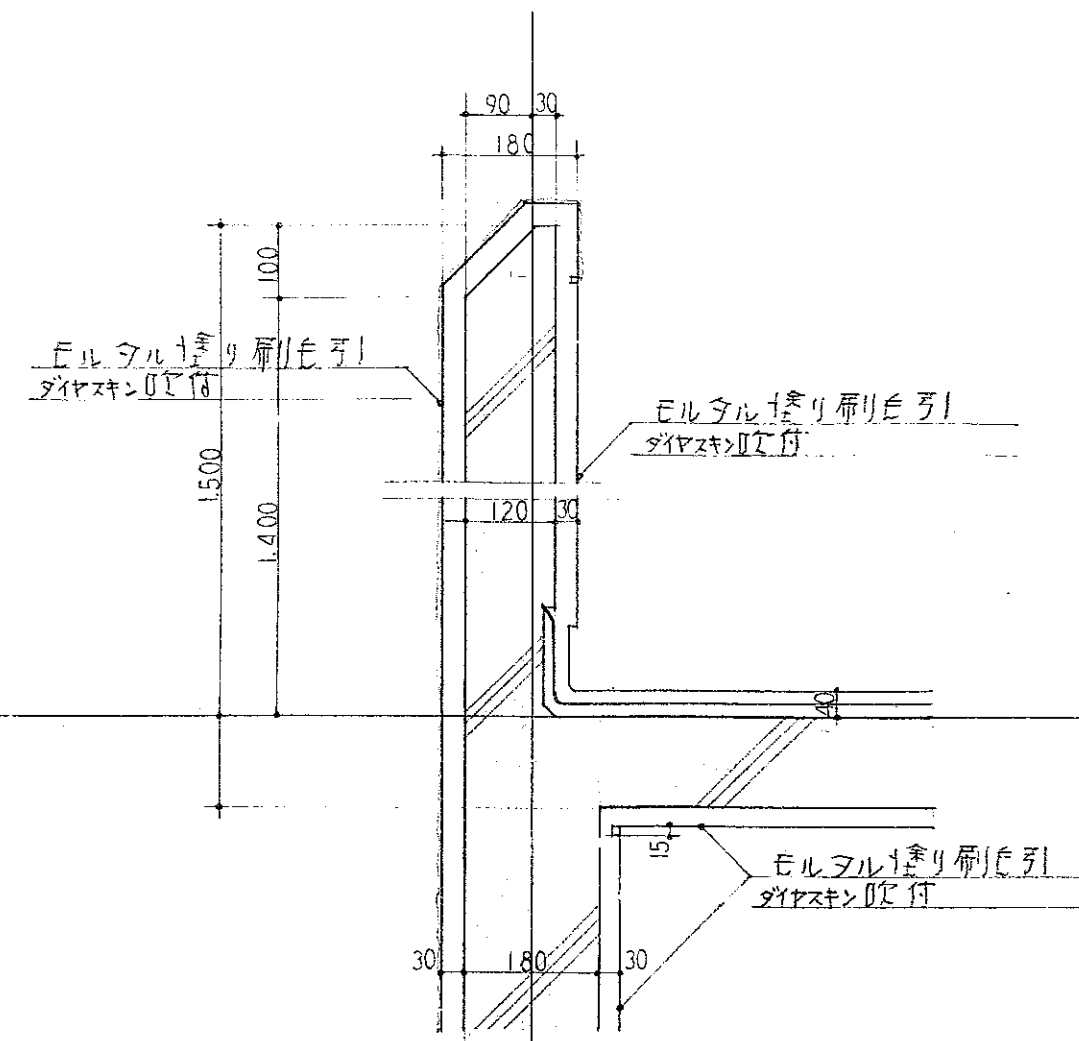
2階 天井伏図

屋上 天井伏図

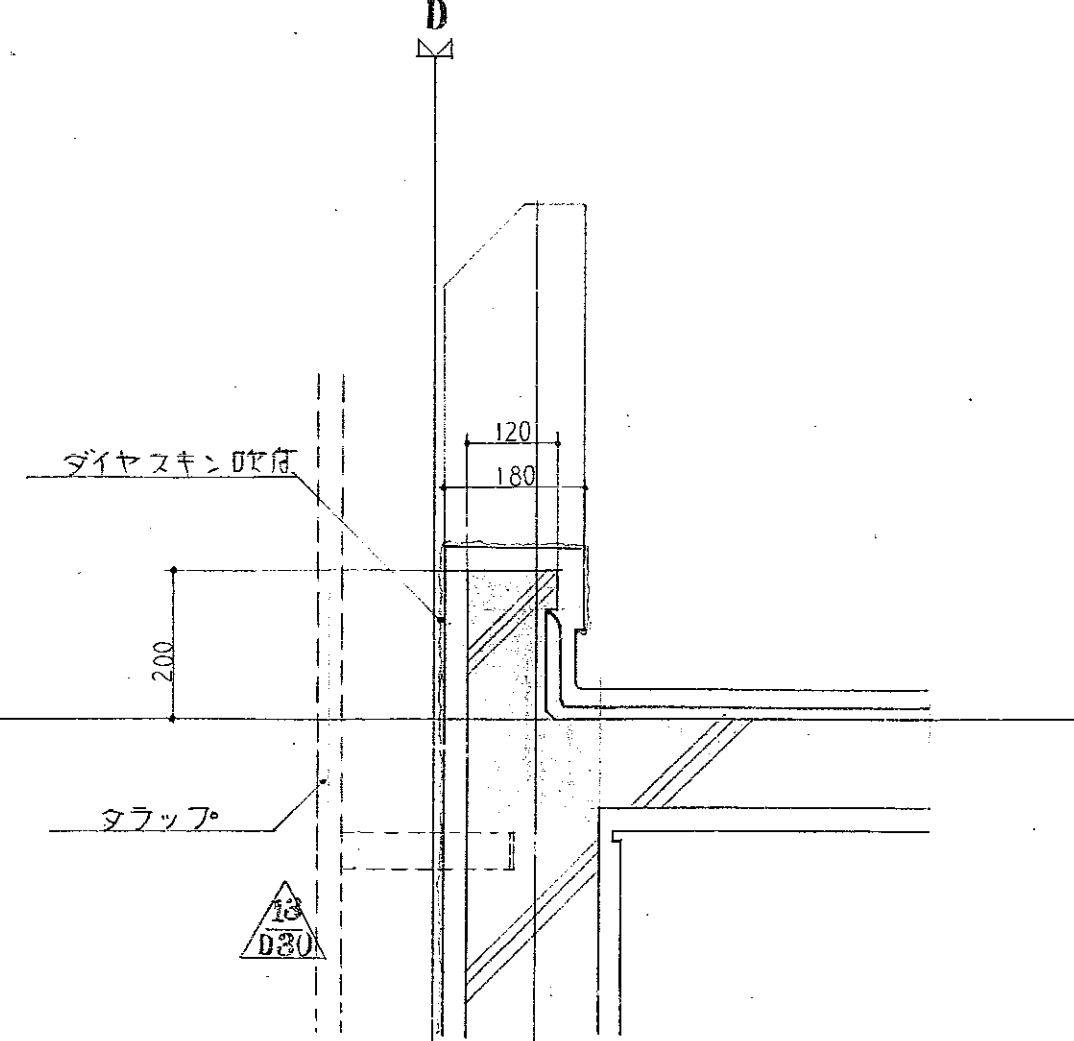
0-1 塔屋內景



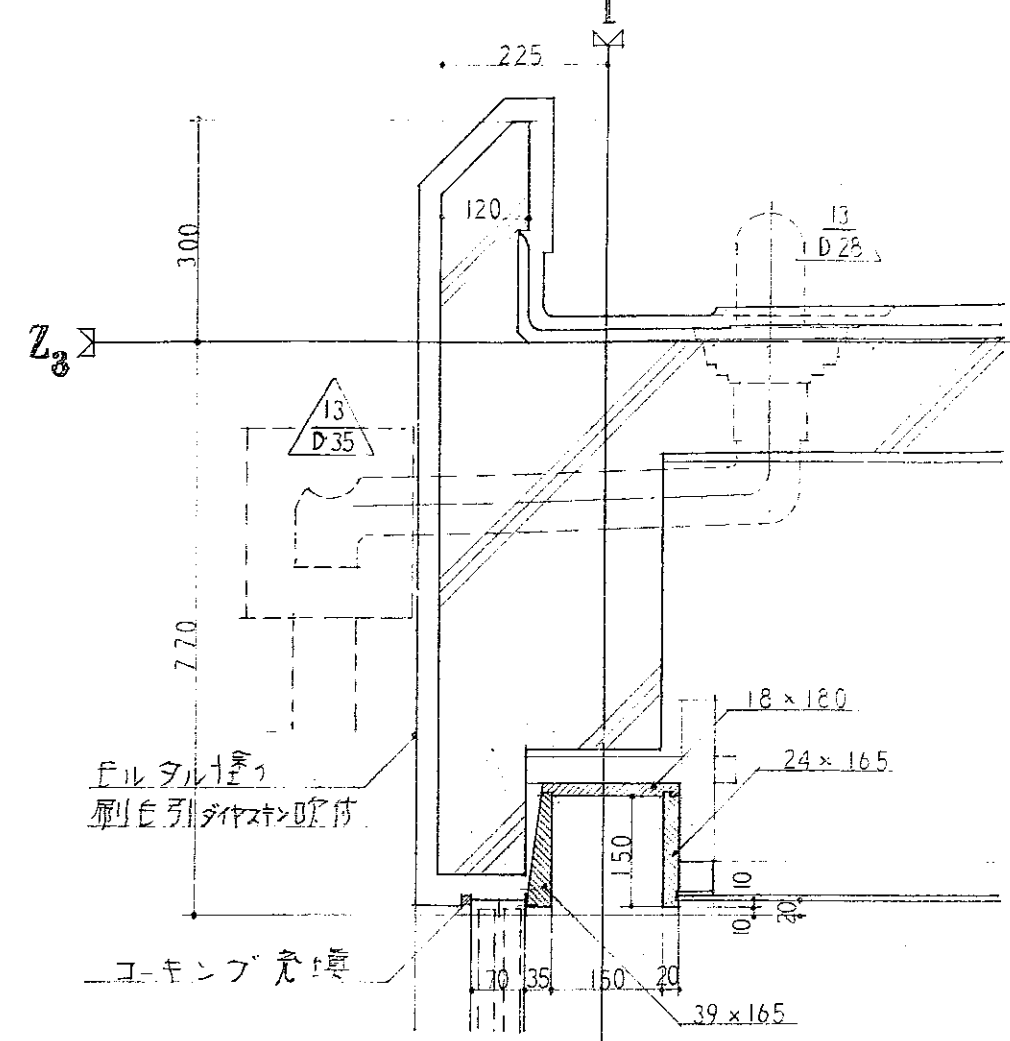
3-2 塔屋 立上りパラペット



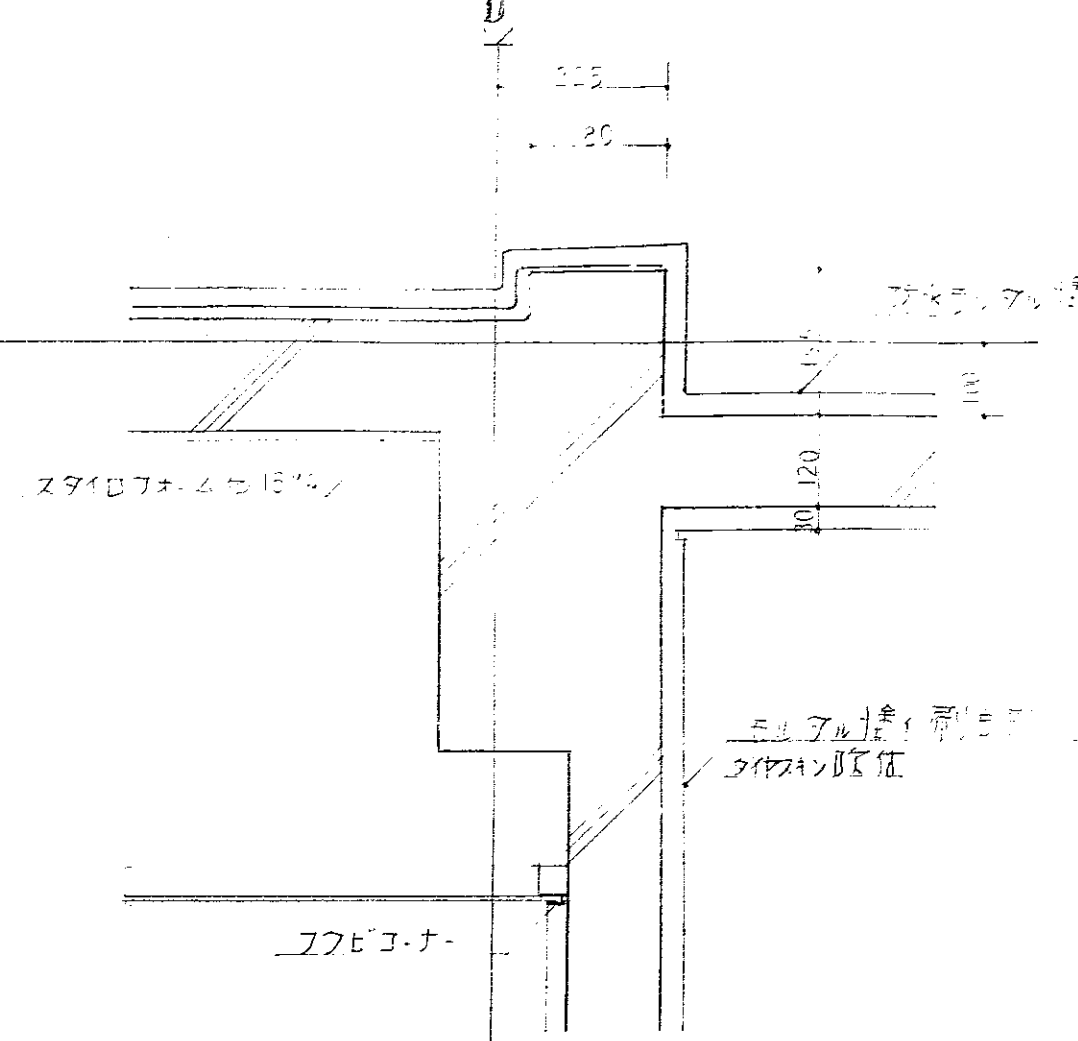
0-3 令左 (タラップ⁰位置)



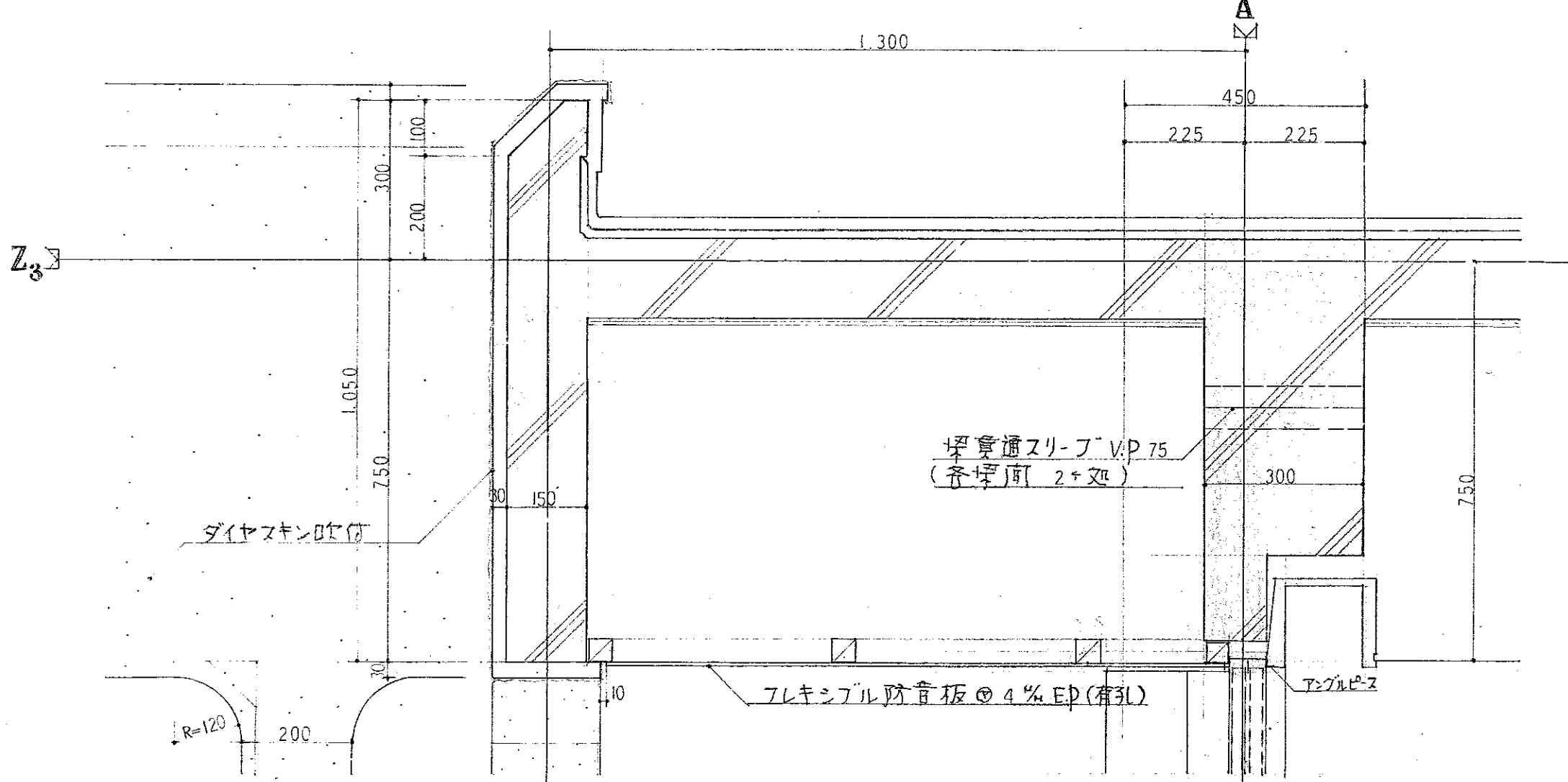
D-4 屋上パラペット、カーテンボックス



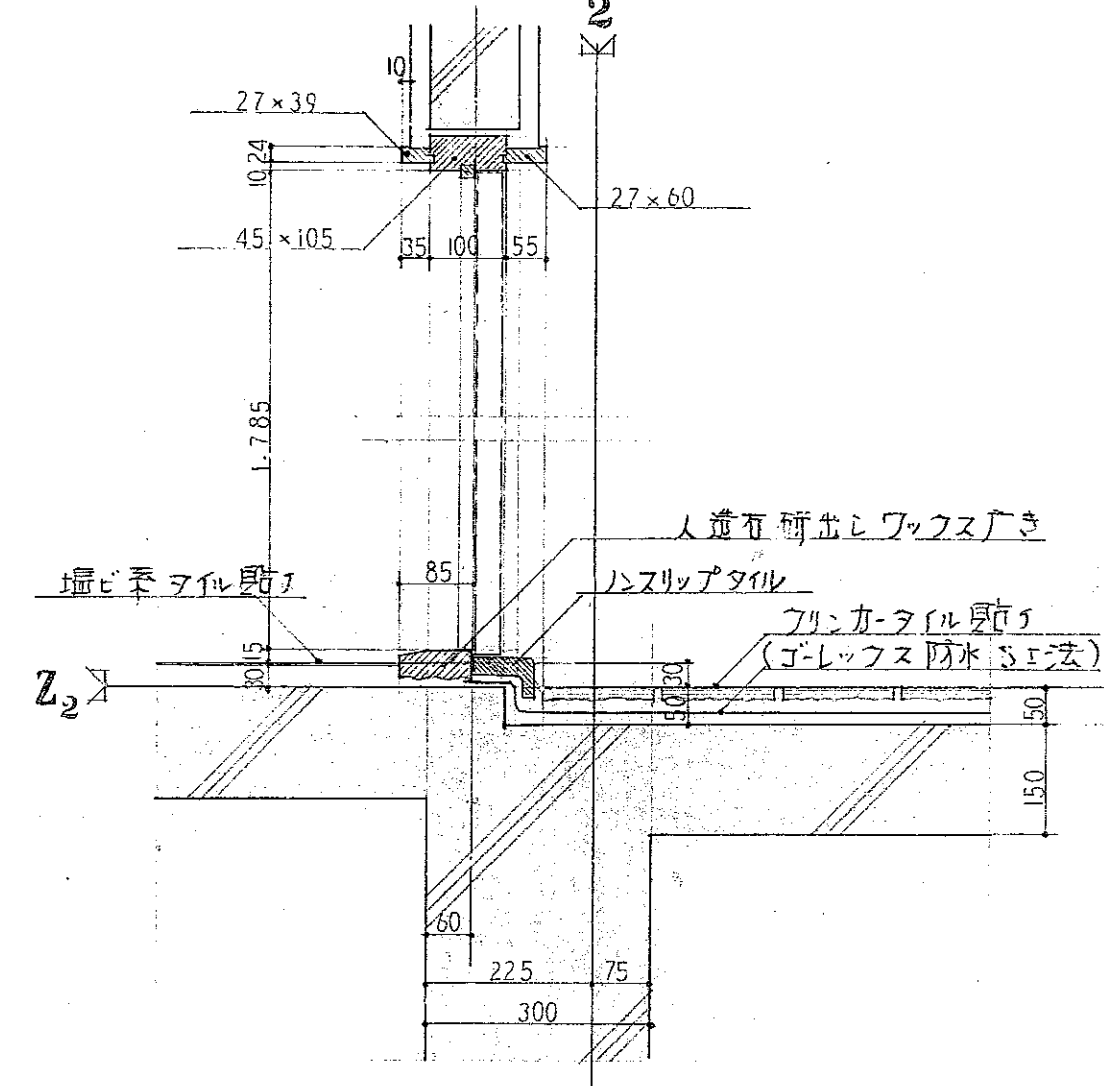
3-5 | 屋頂、新築



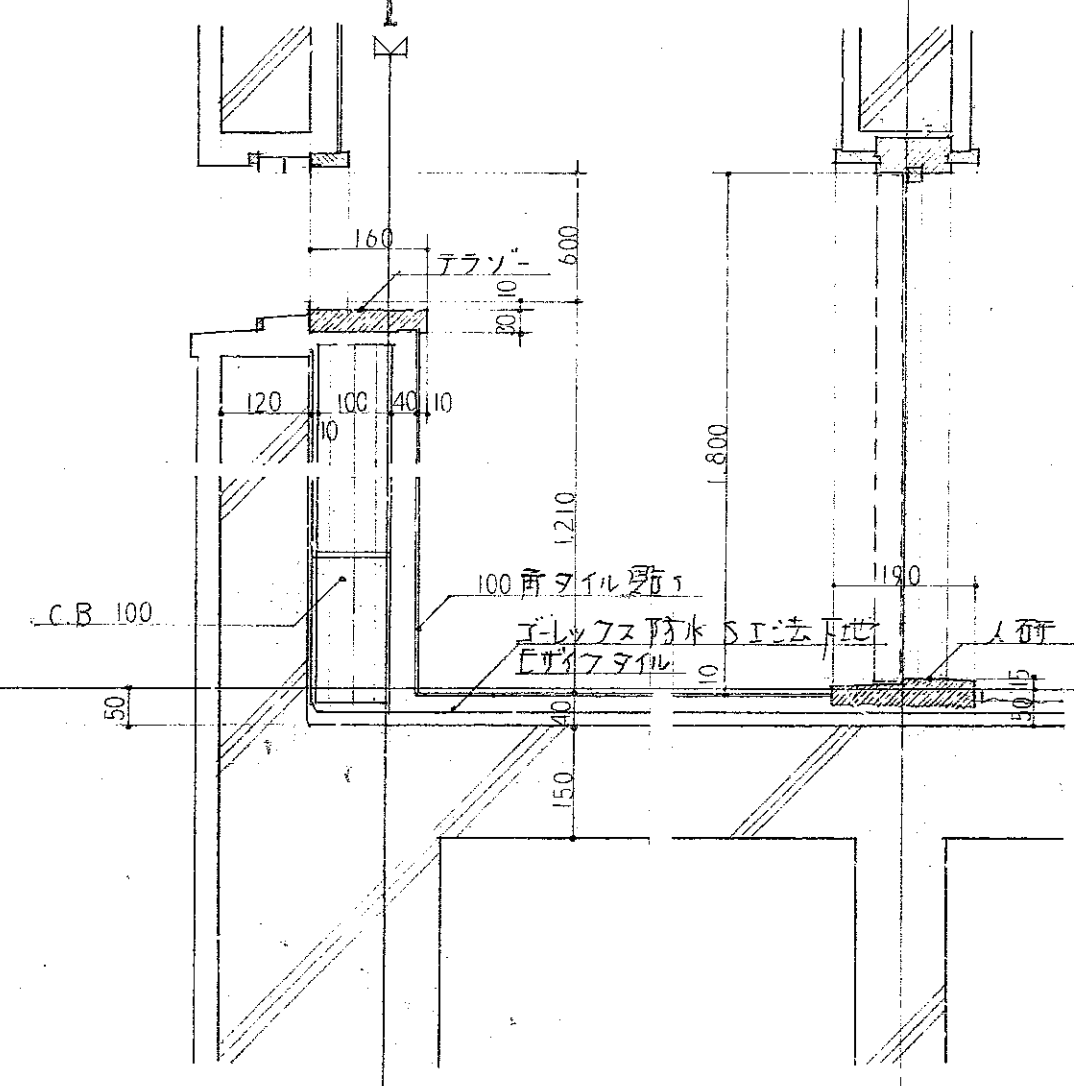
2-6 屋上パラペット廻り



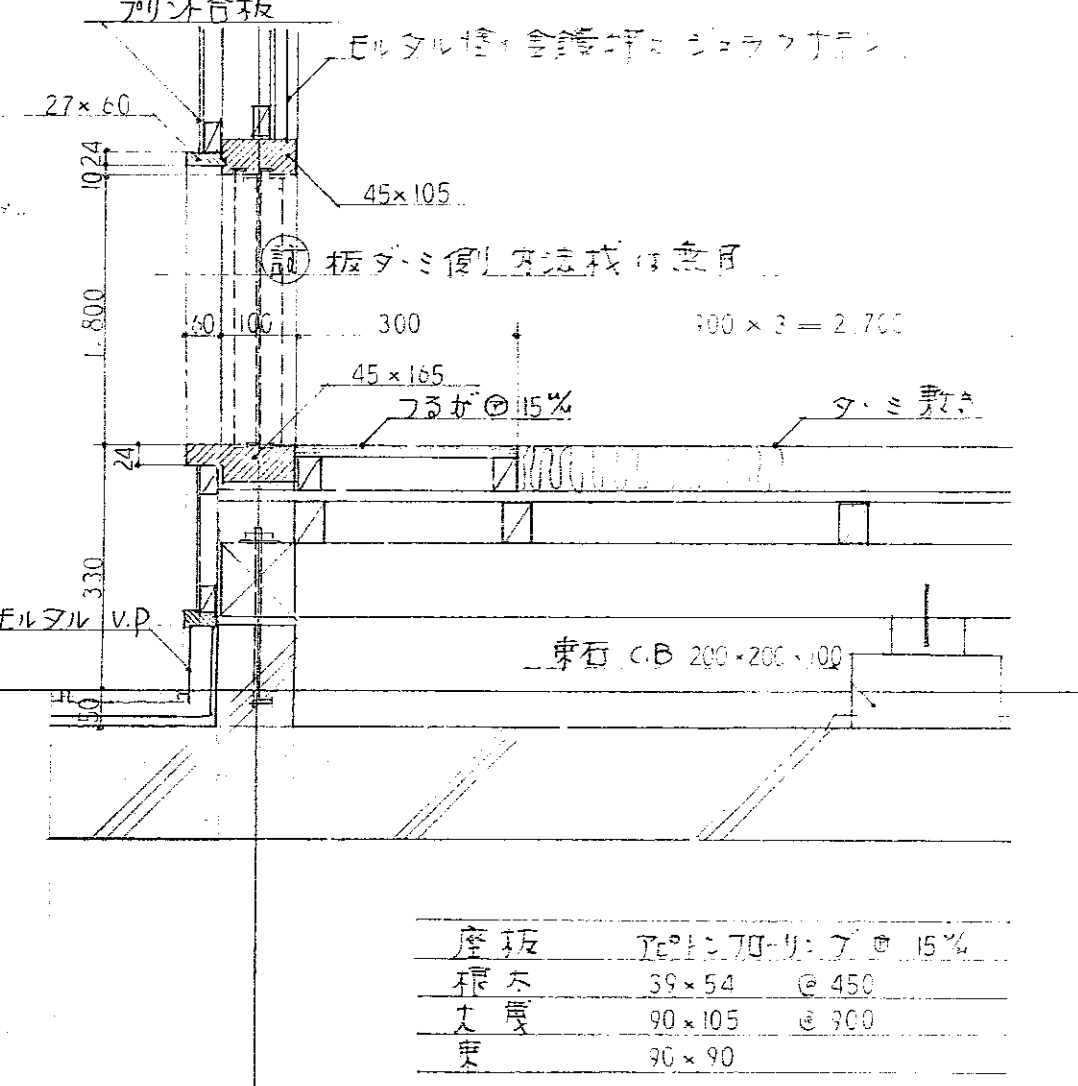
D-7 階段室~休憩室出入口



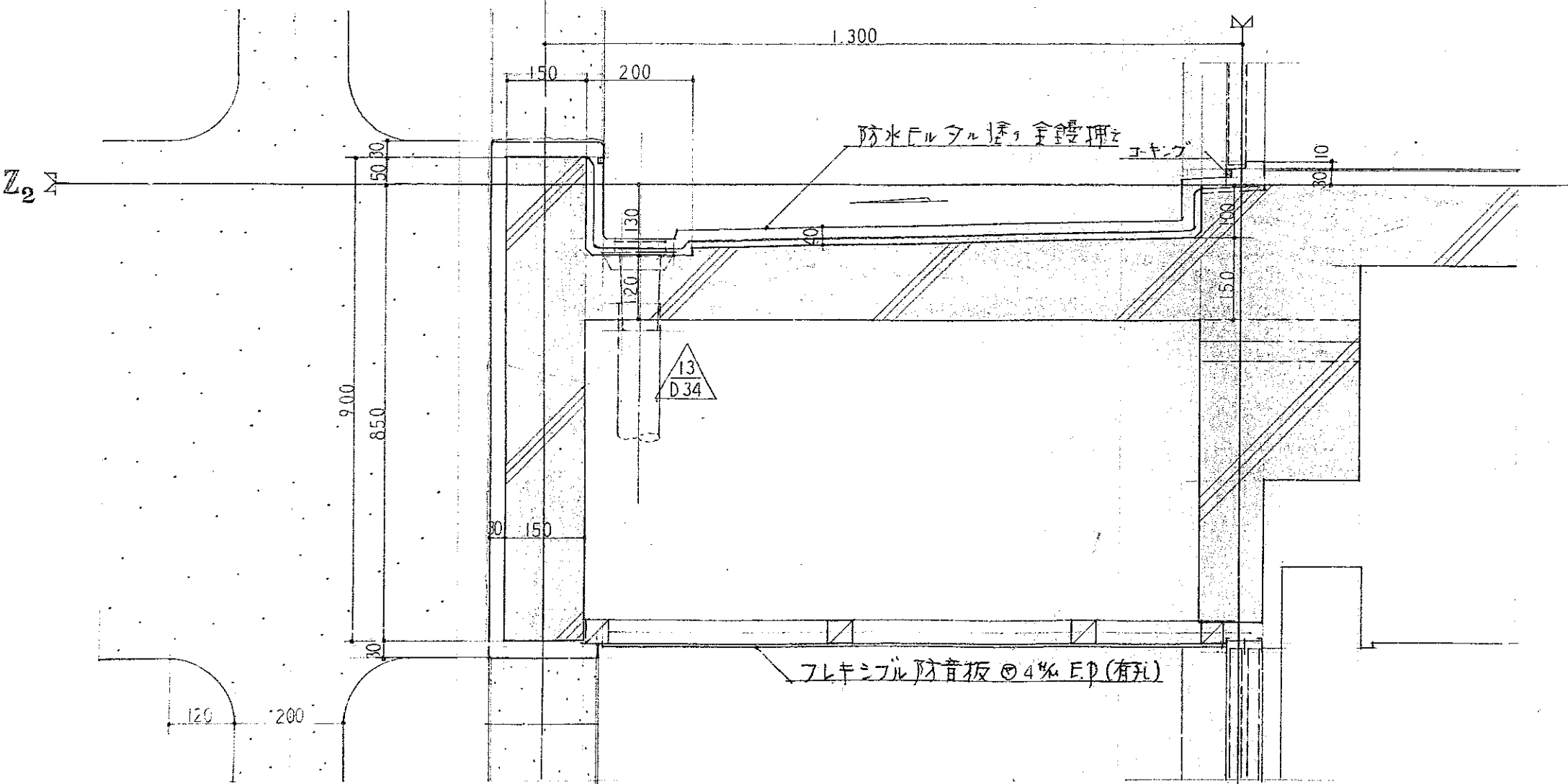
0-8 便所



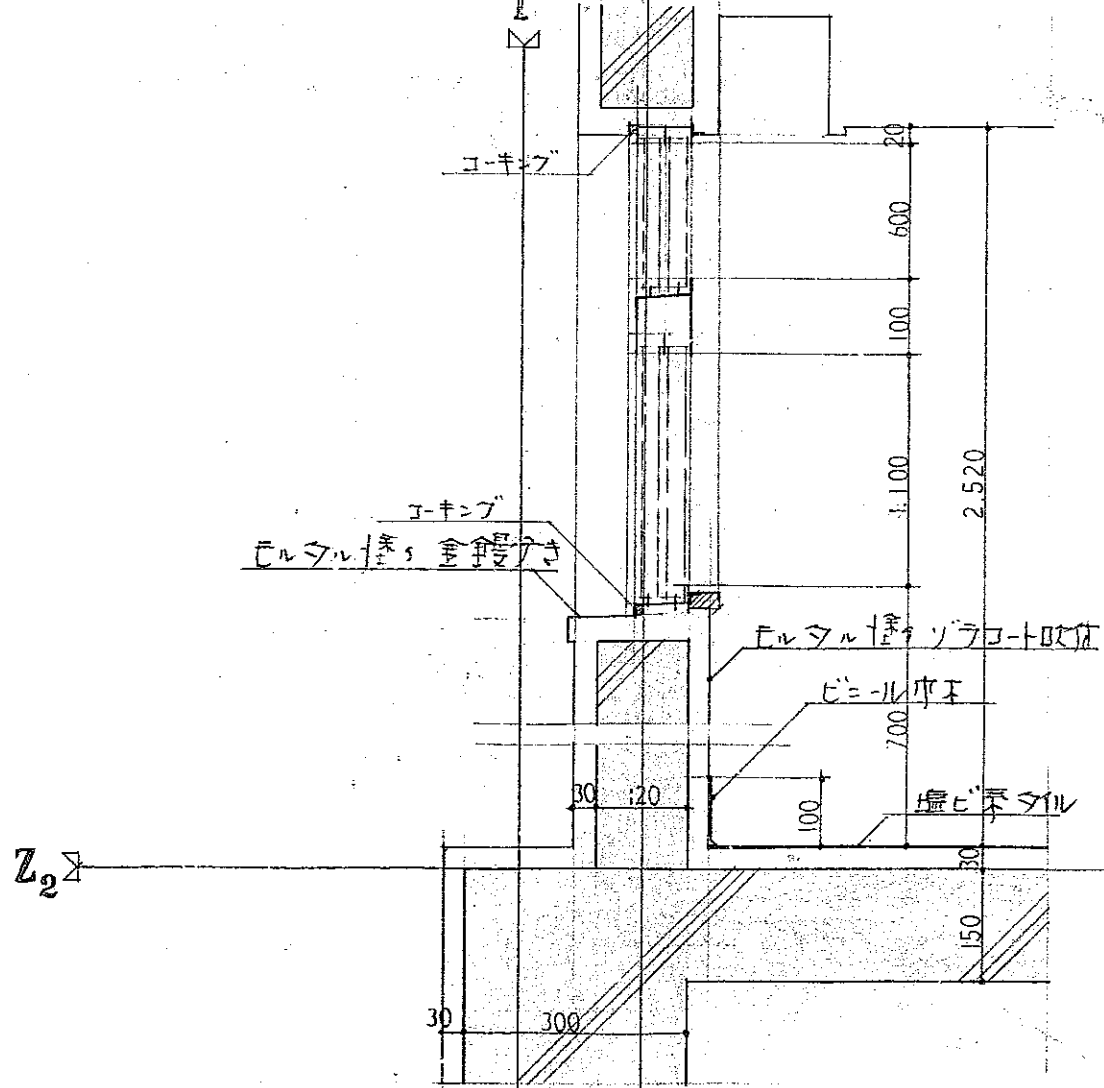
D-9 休閒亭 (和亭 10.5 呎)



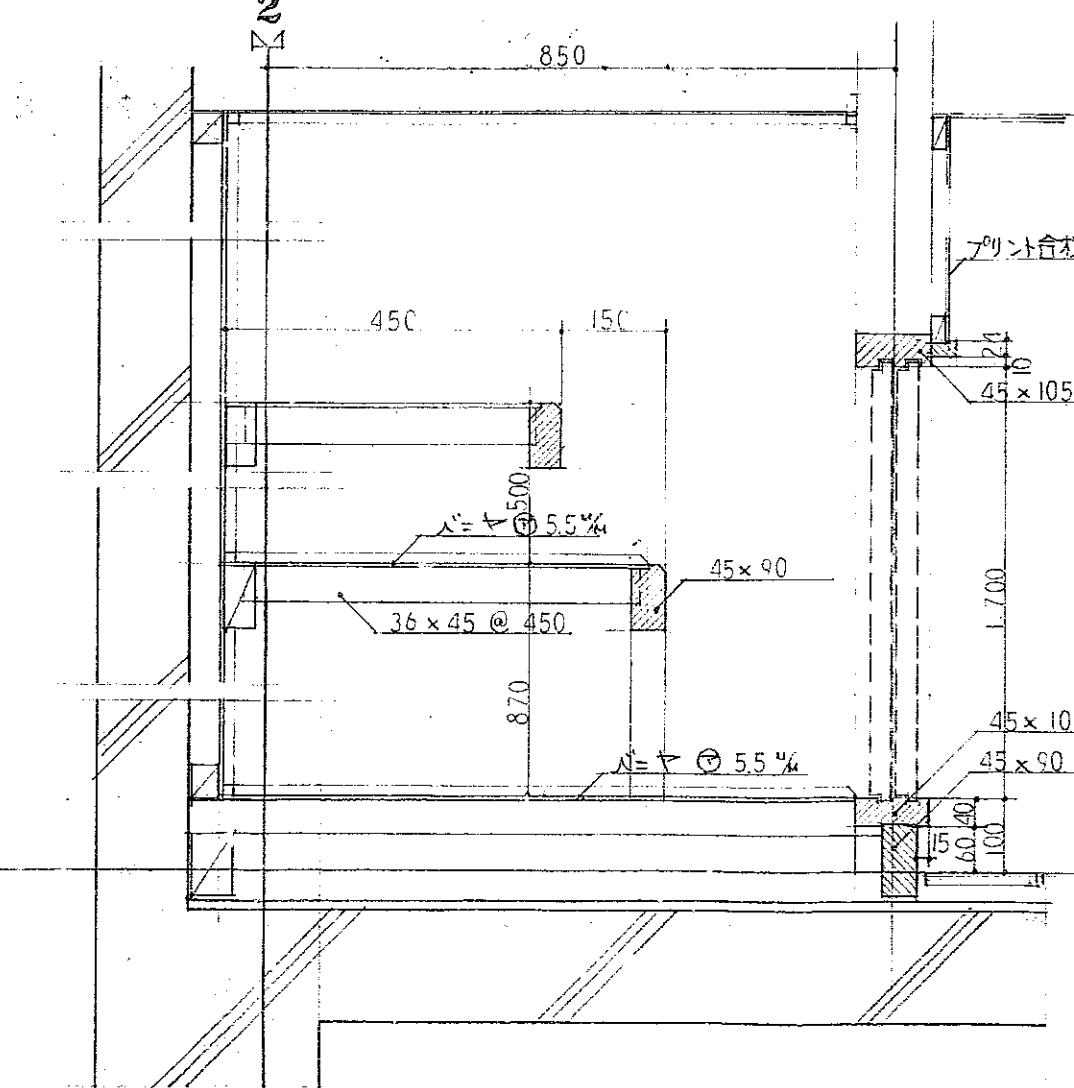
0-10 2階バルコニー廻り



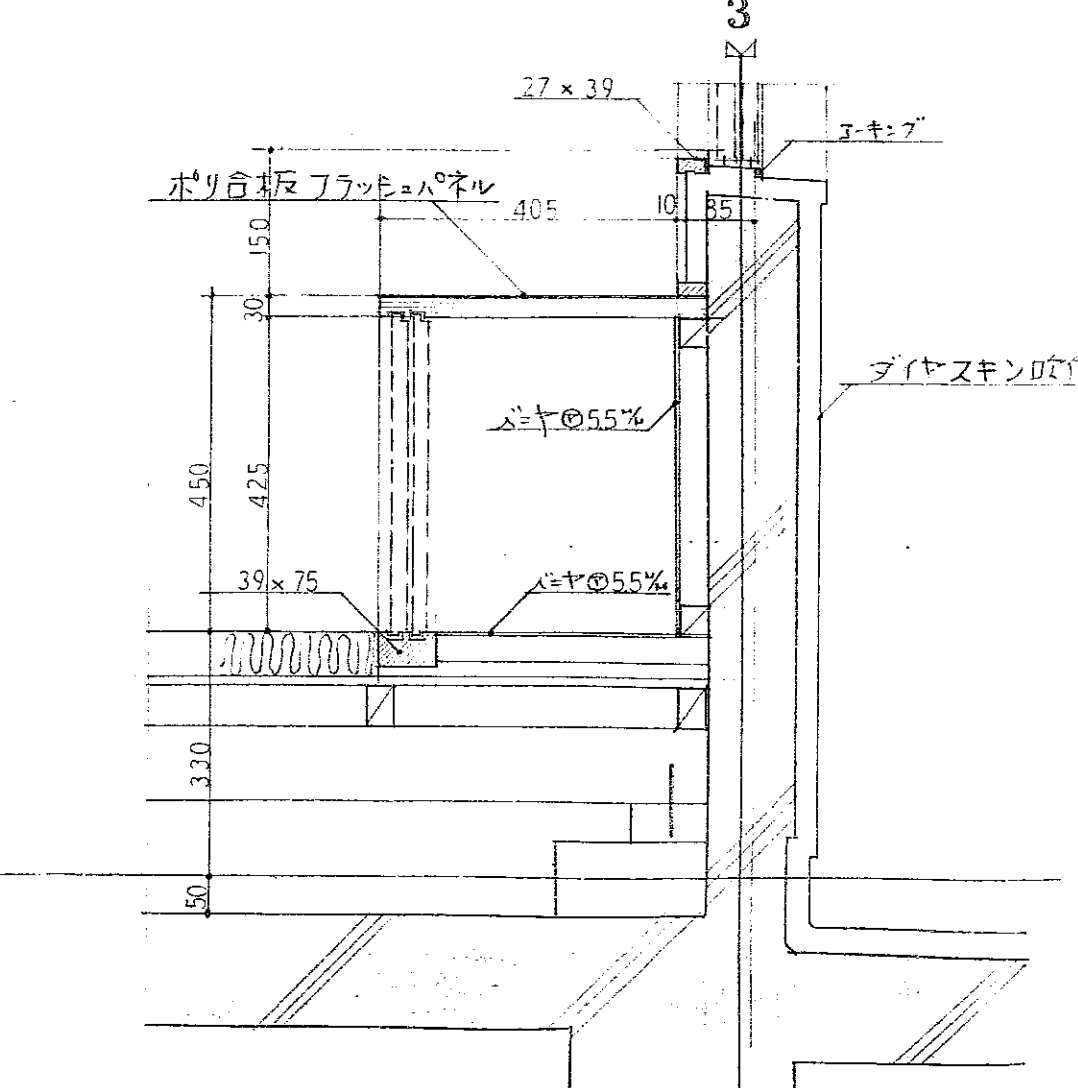
D-11 階段室(壁障)廻り



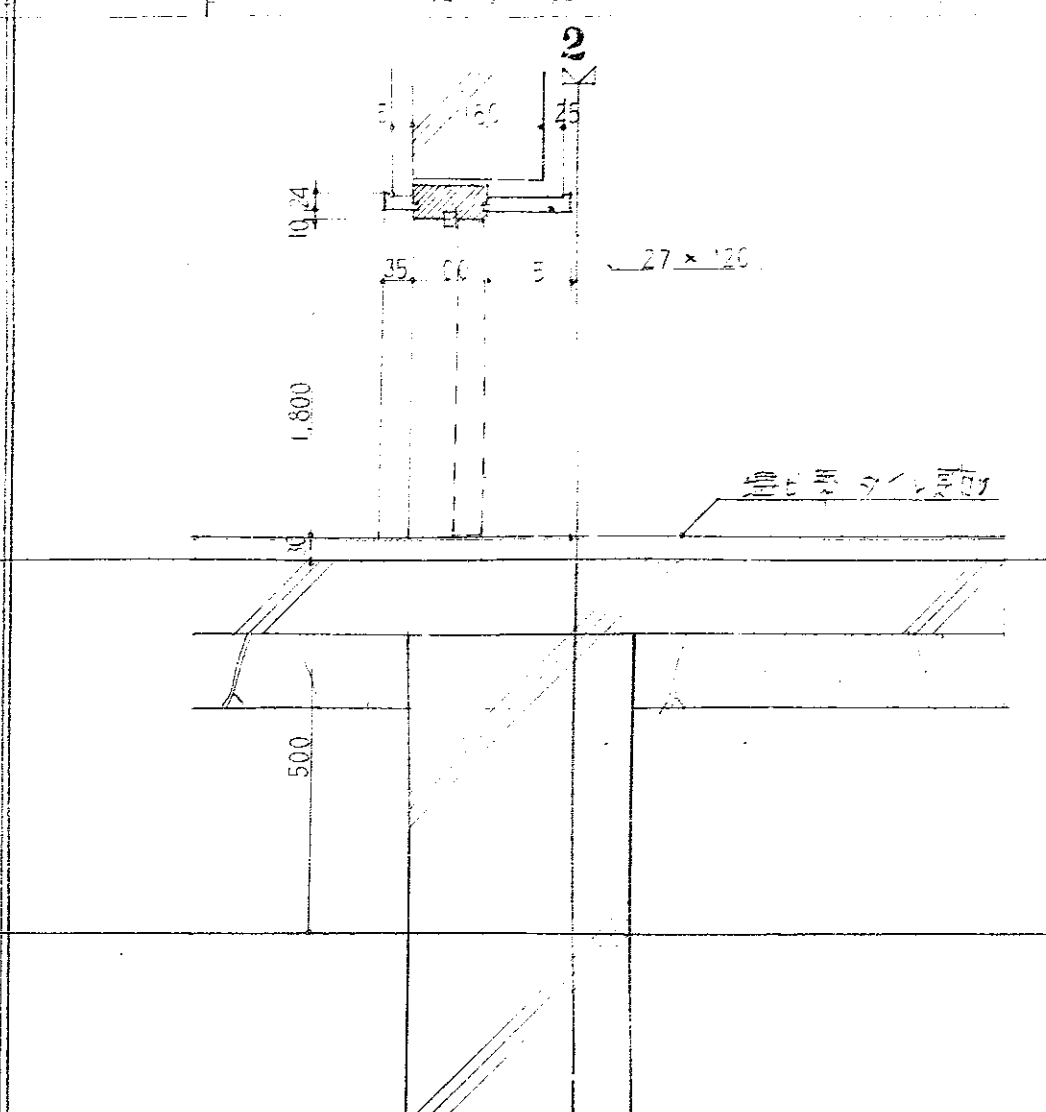
D-12 休憩室 (押込)



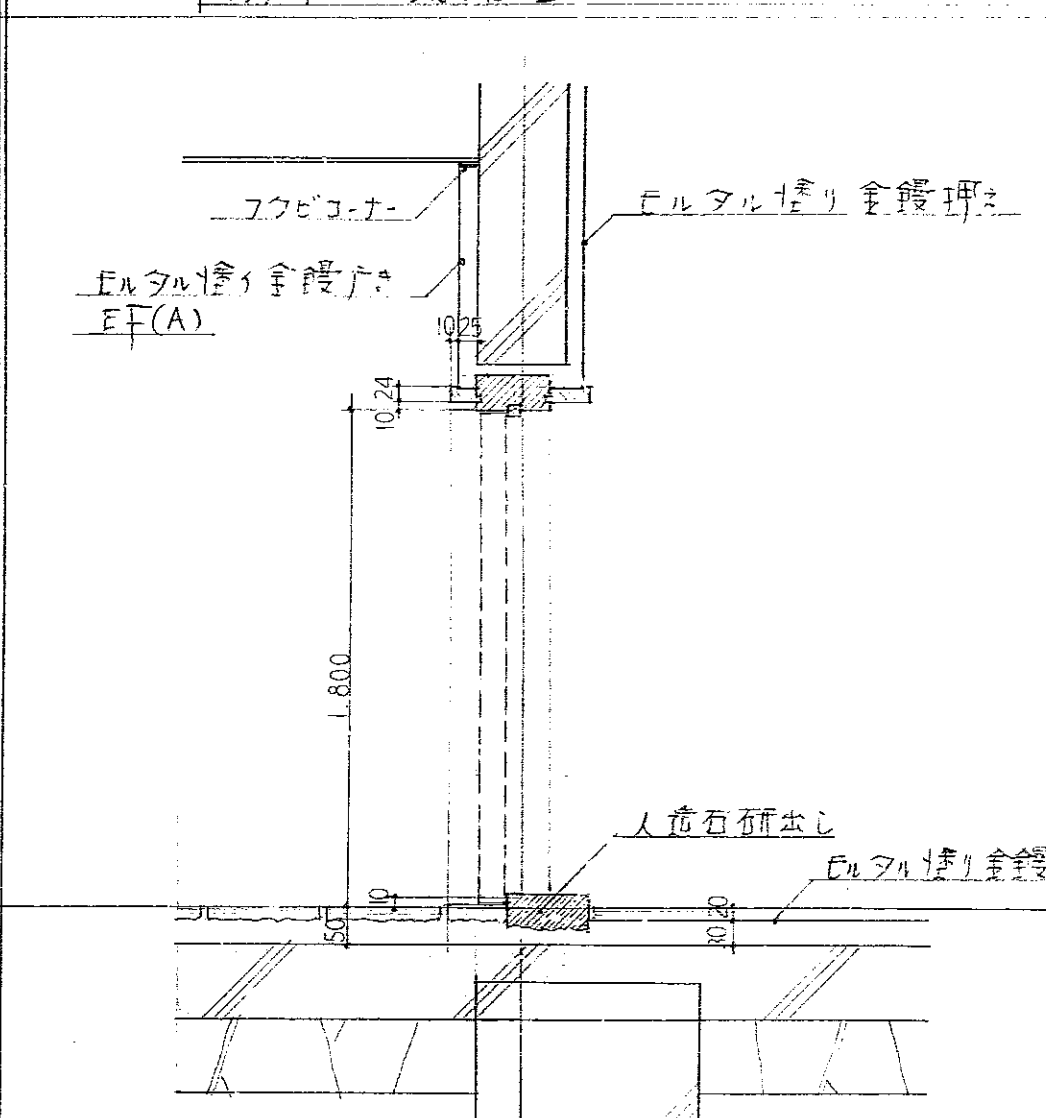
D-13 初室10.5帖 (地袋)



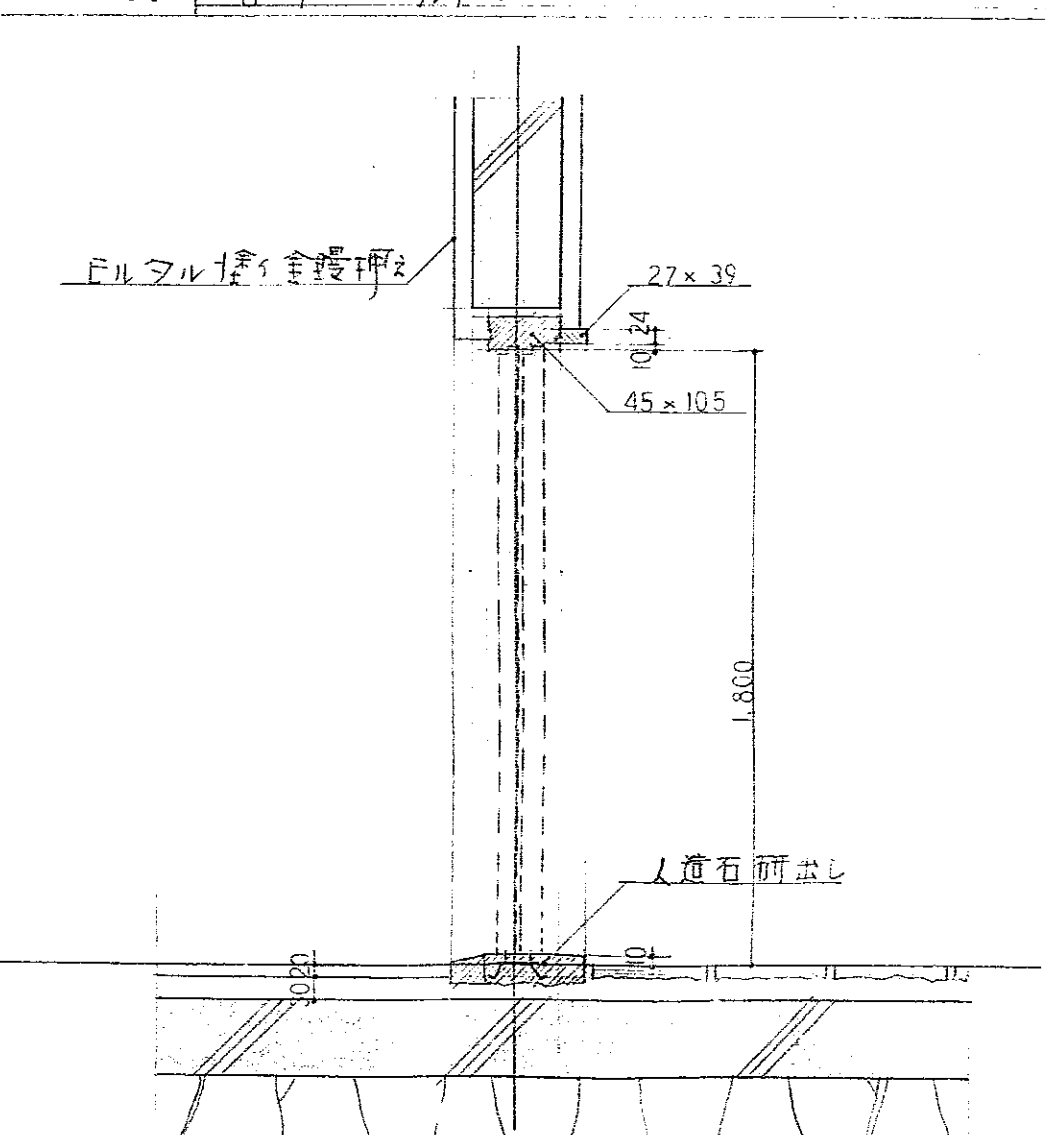
D-17 玄 三 之 實 驗 三



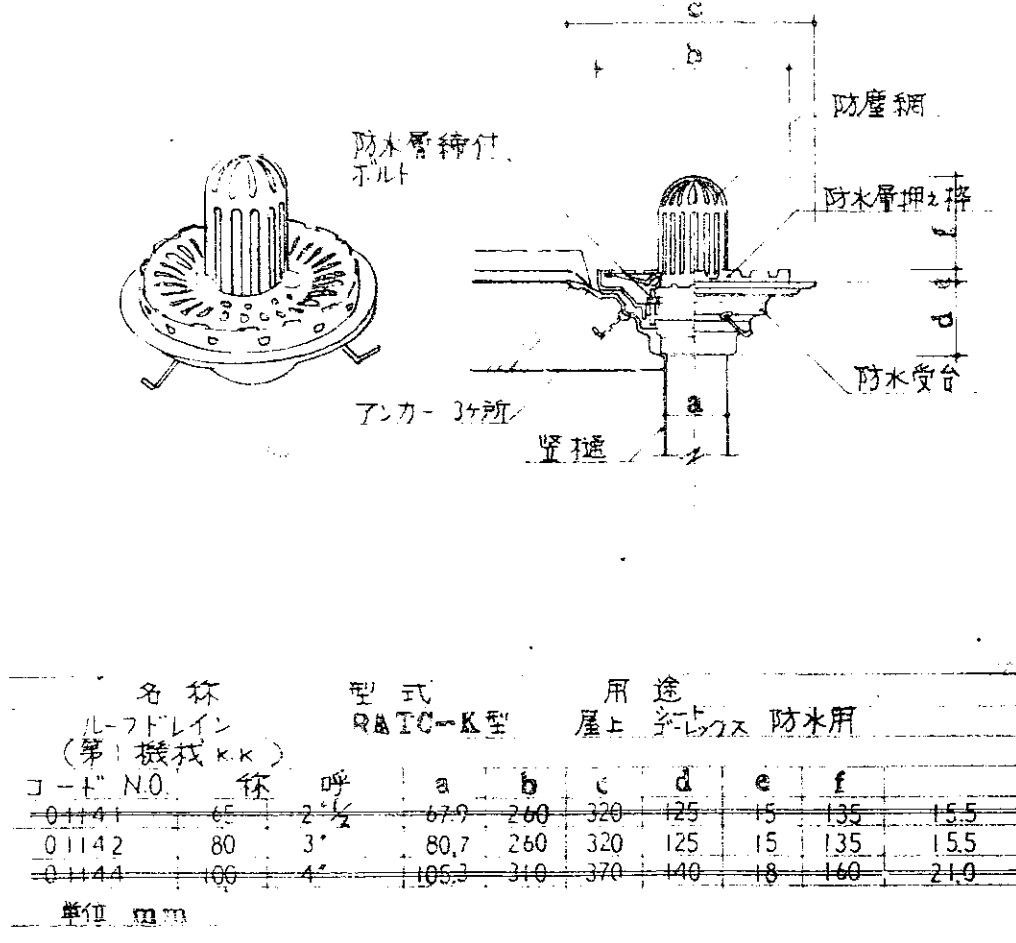
0-22 廊下一流澤寧



D-27 倉庫 - 廊下

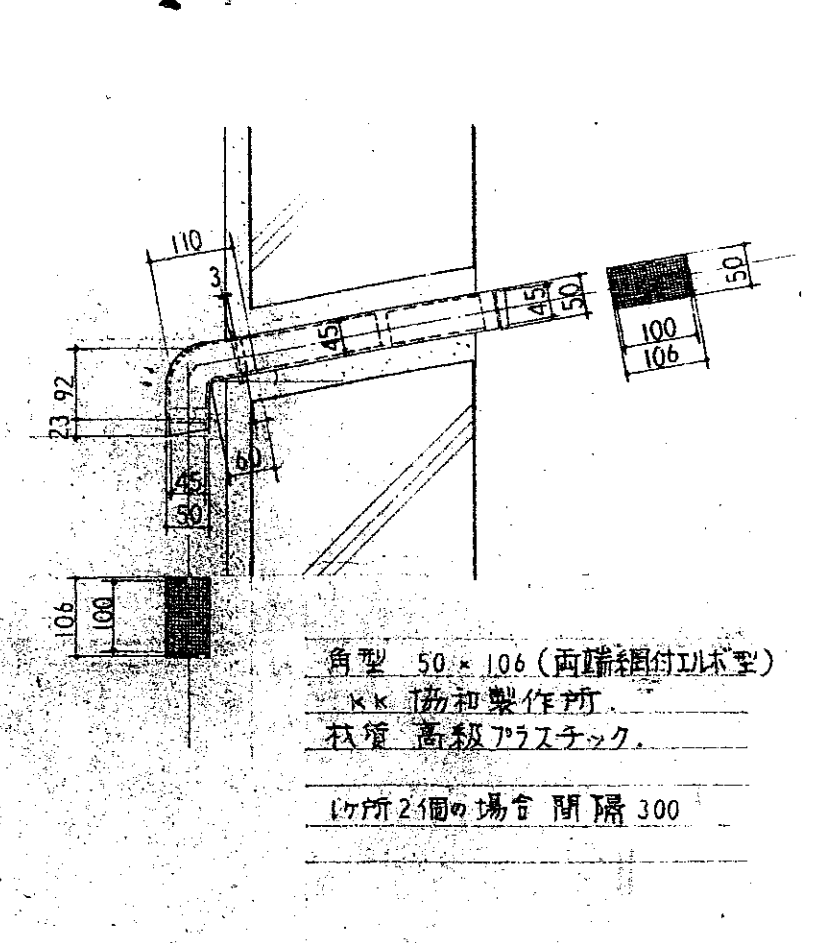


D-28 ルーフトレイン



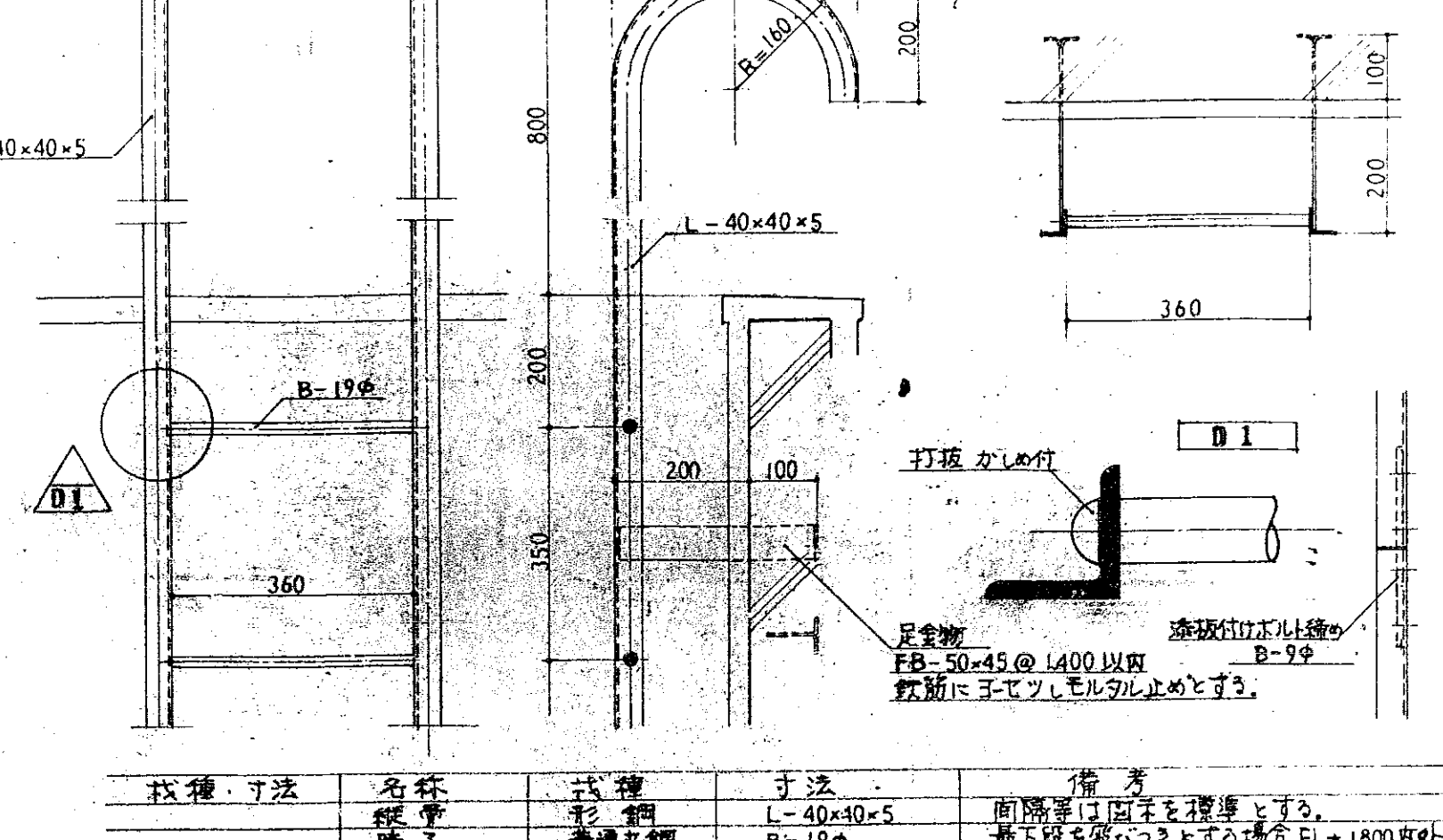
D-29 天井裏換気口(プラスチック製)

1:10



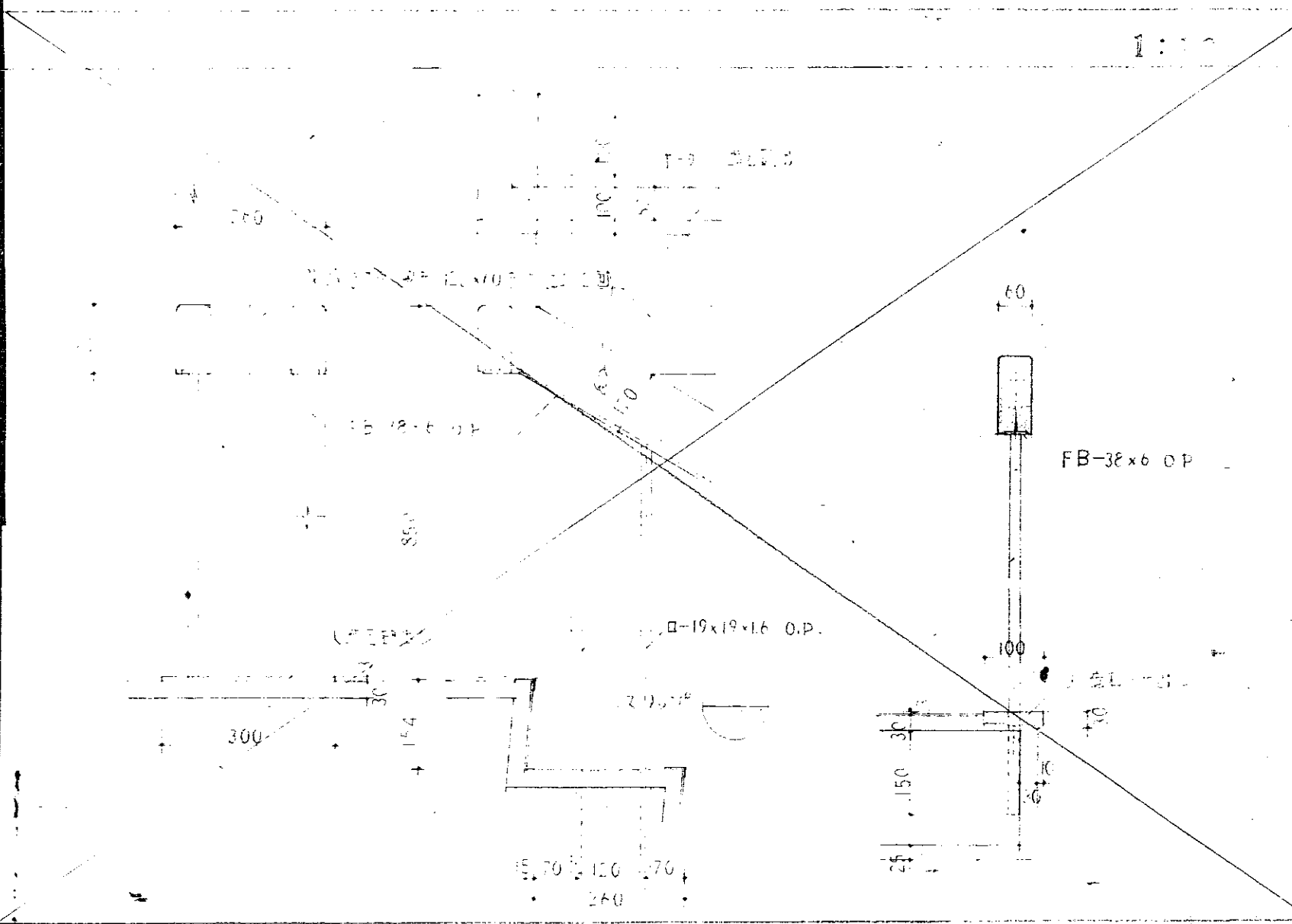
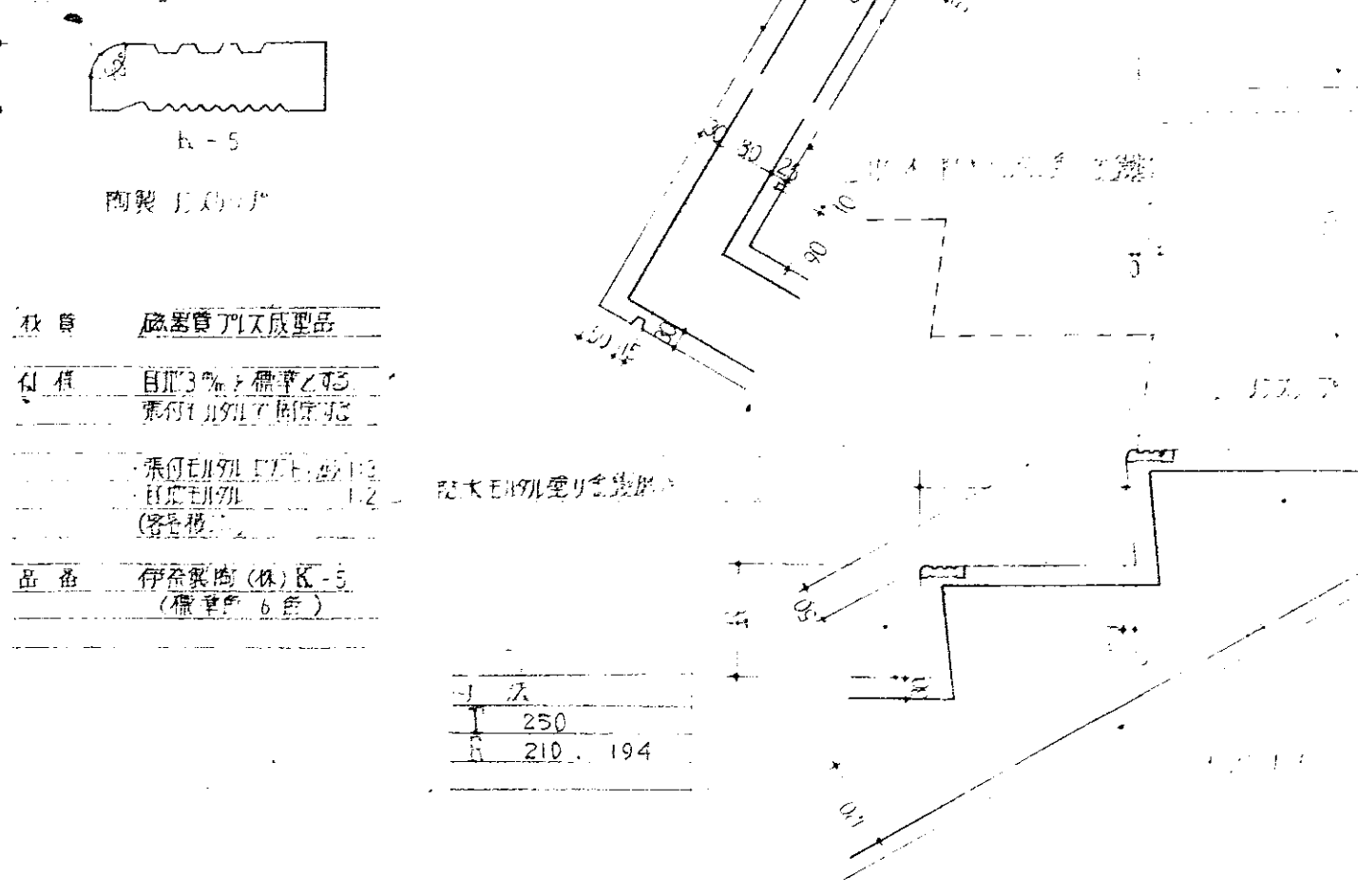
D-30 屋上タラップ

1:10



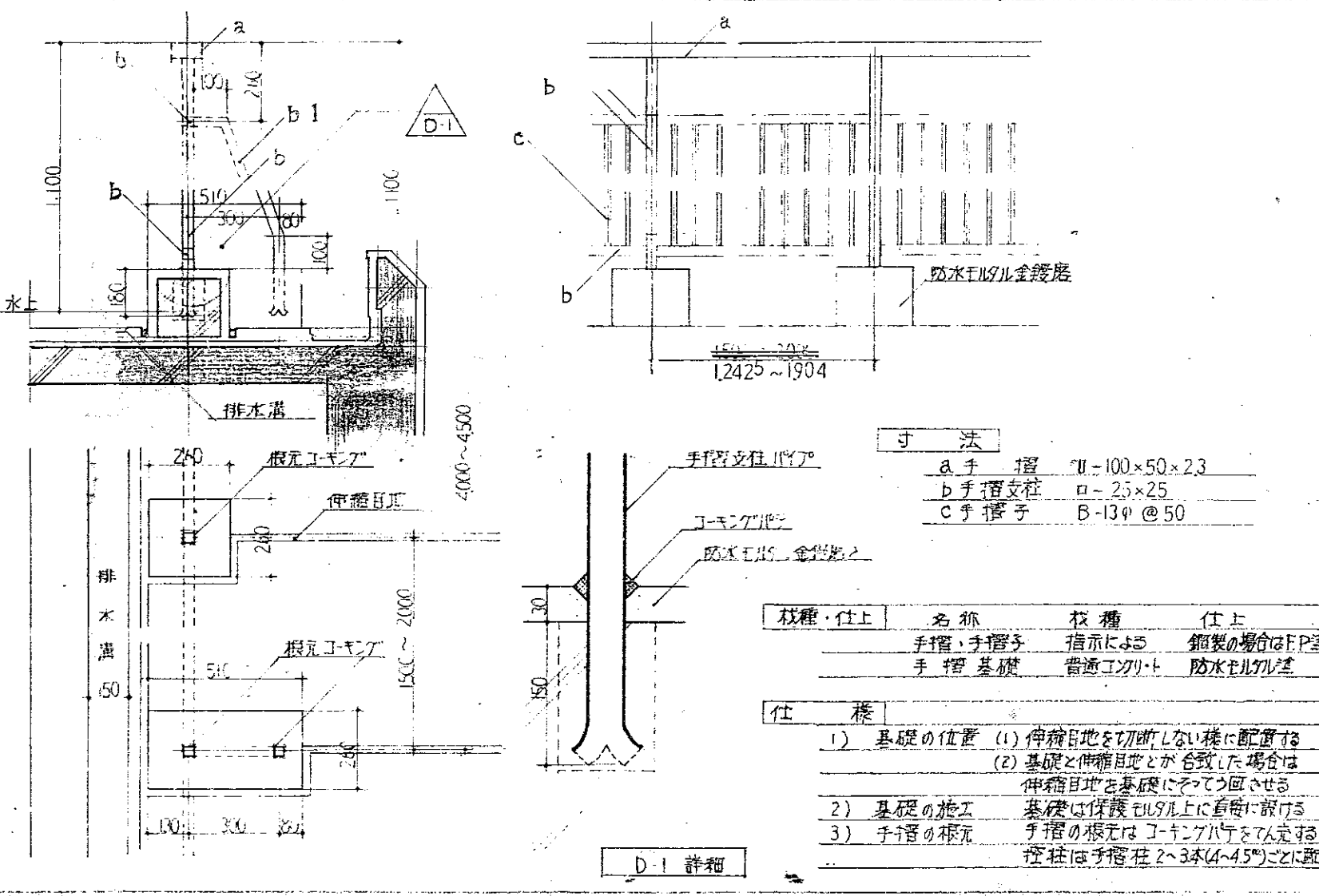
D-31 屋外階段

1:5

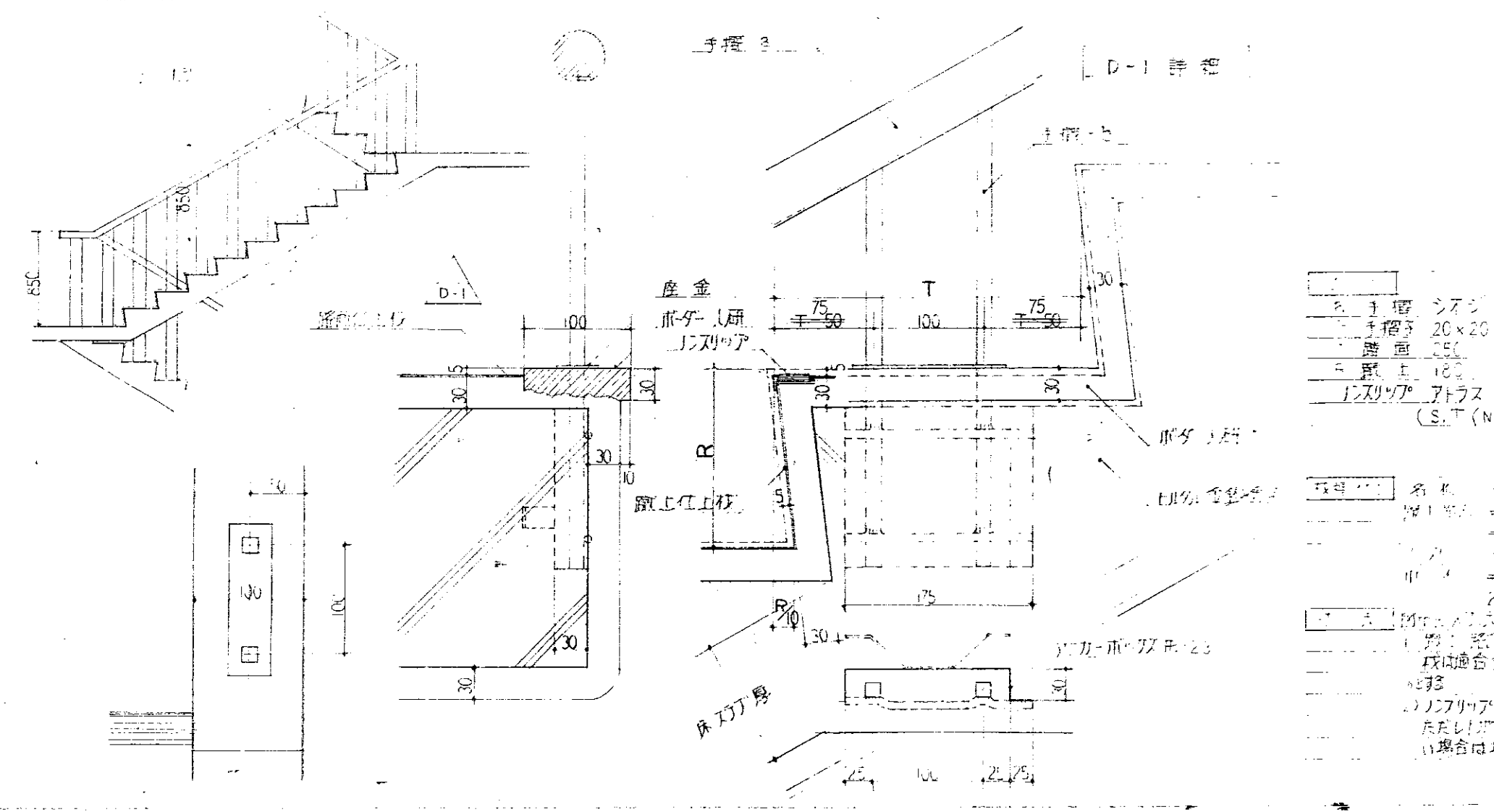


D-32 屋上テラス基礎

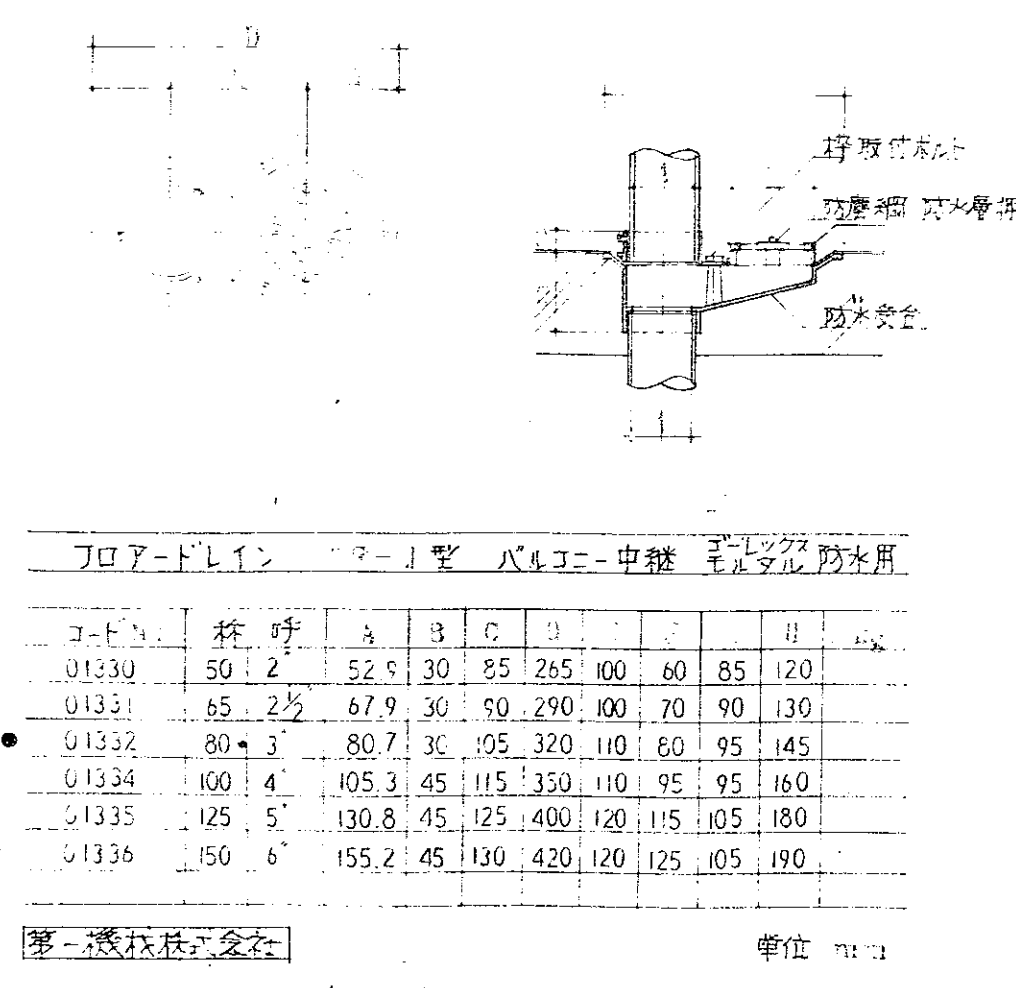
1:5 1:20



D-33 階段手摺

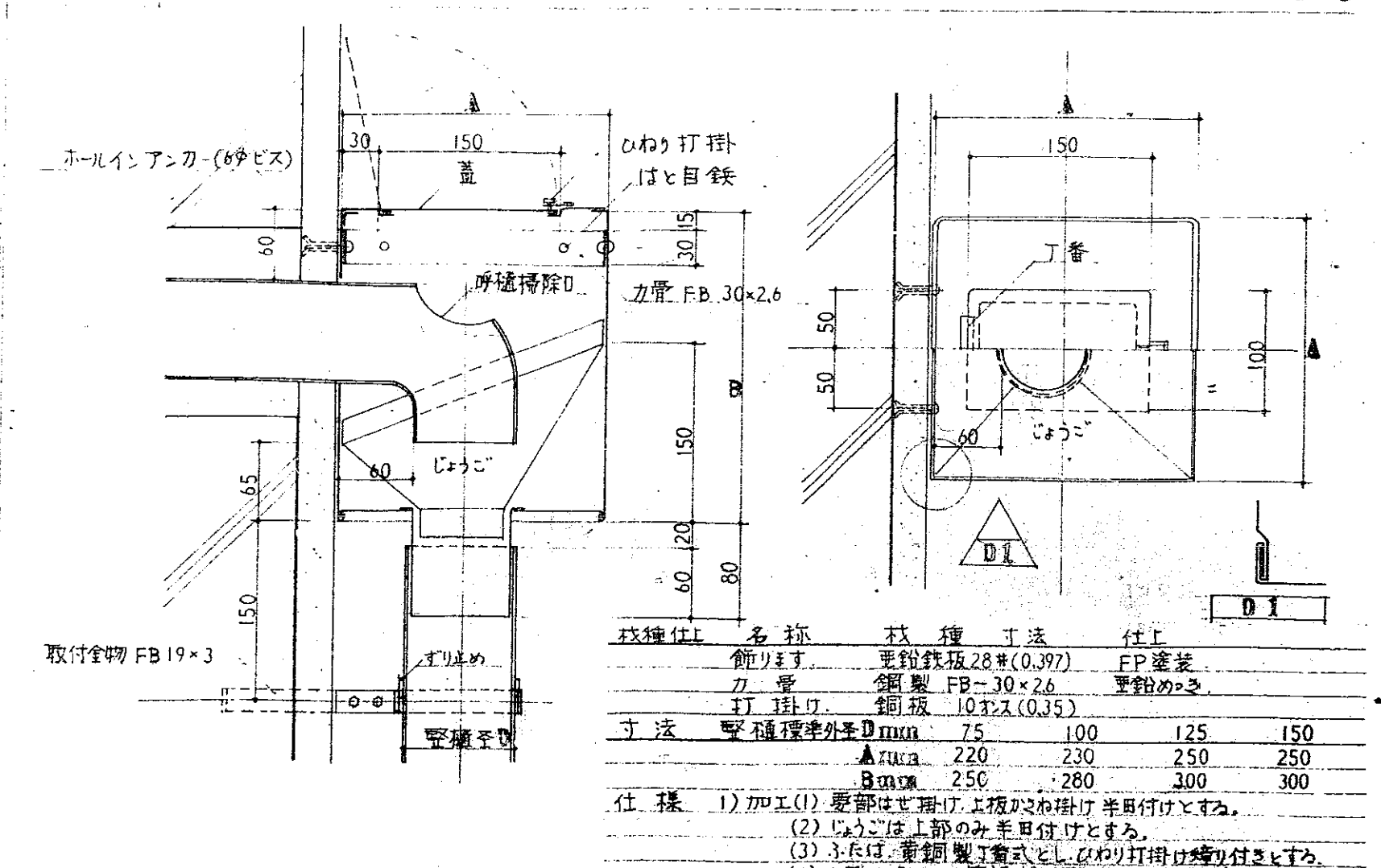


D-34 フロアドレイン



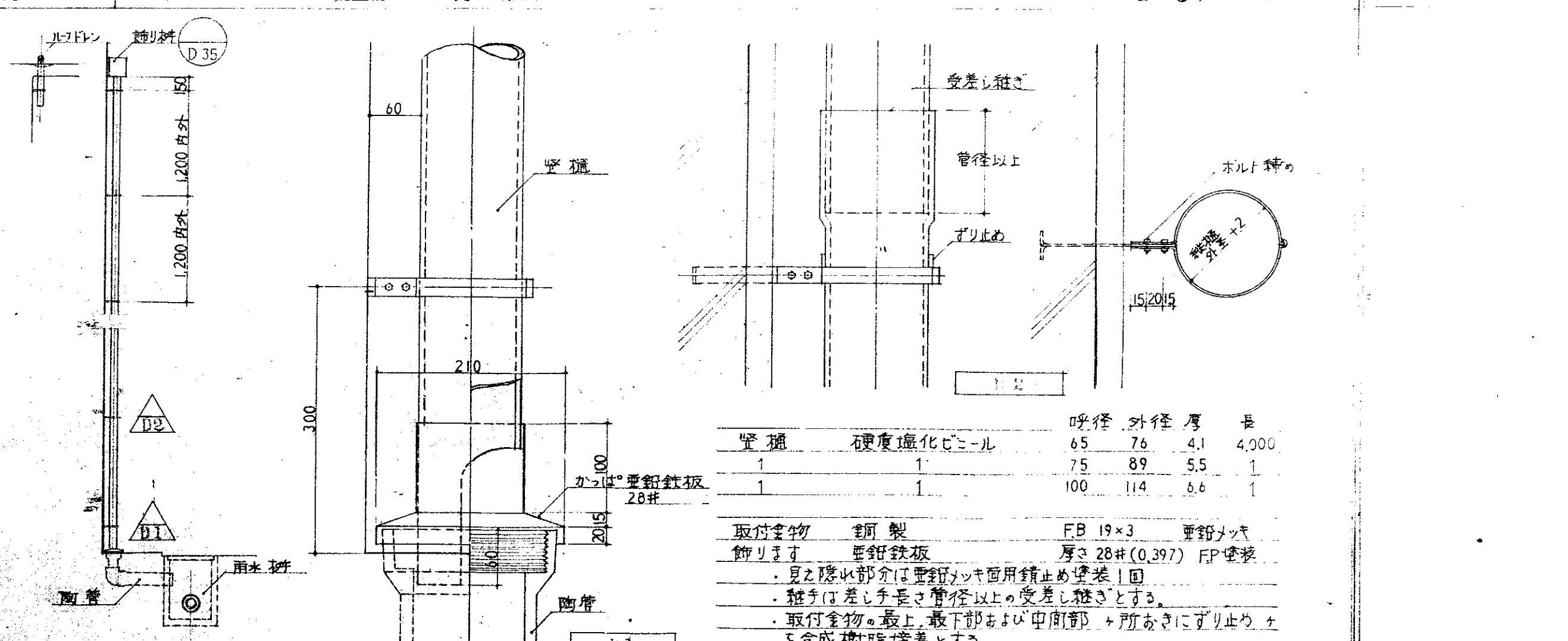
D-35 飾ります

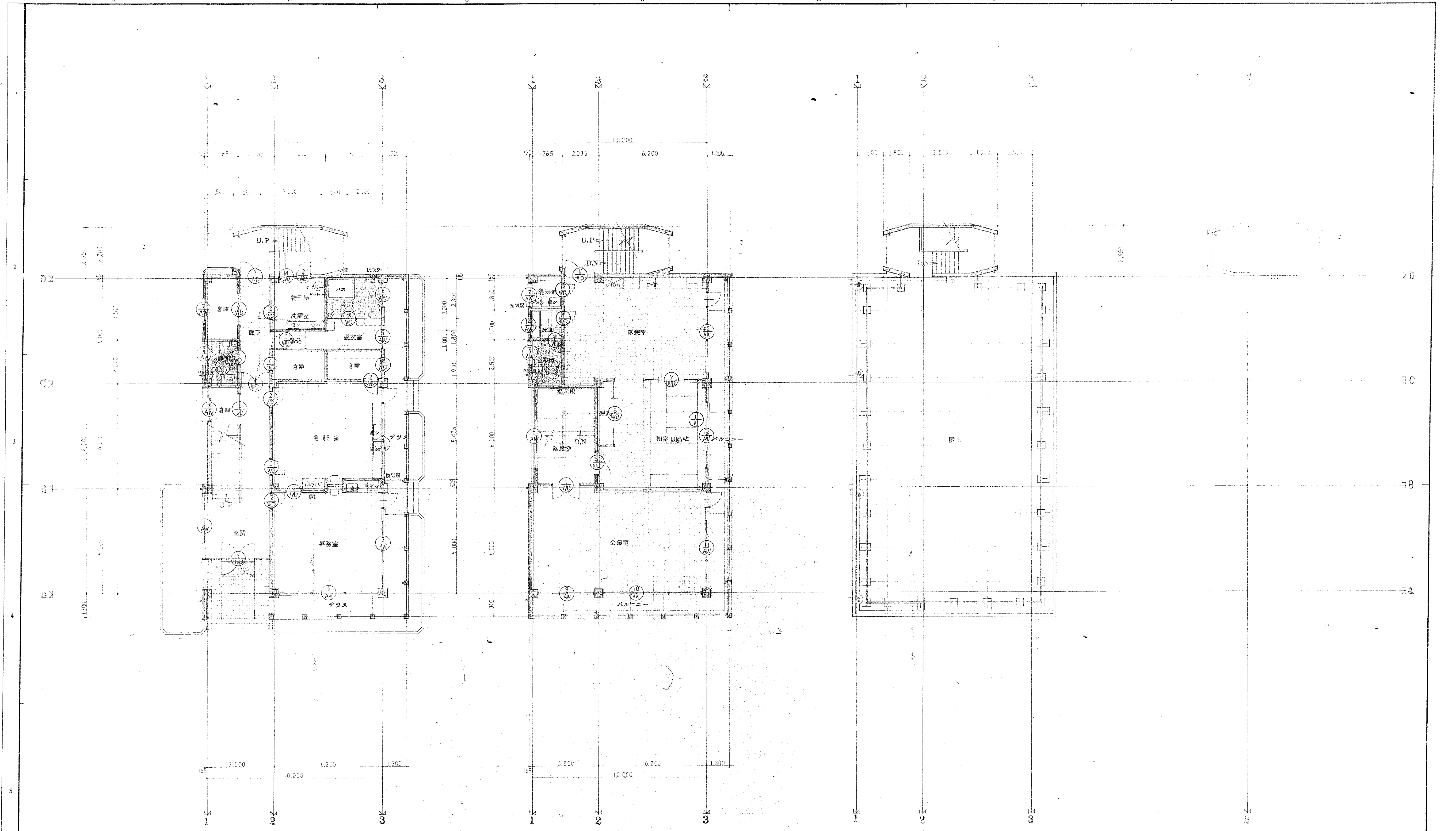
1:5



D-36 縦樋

1:50 1:5

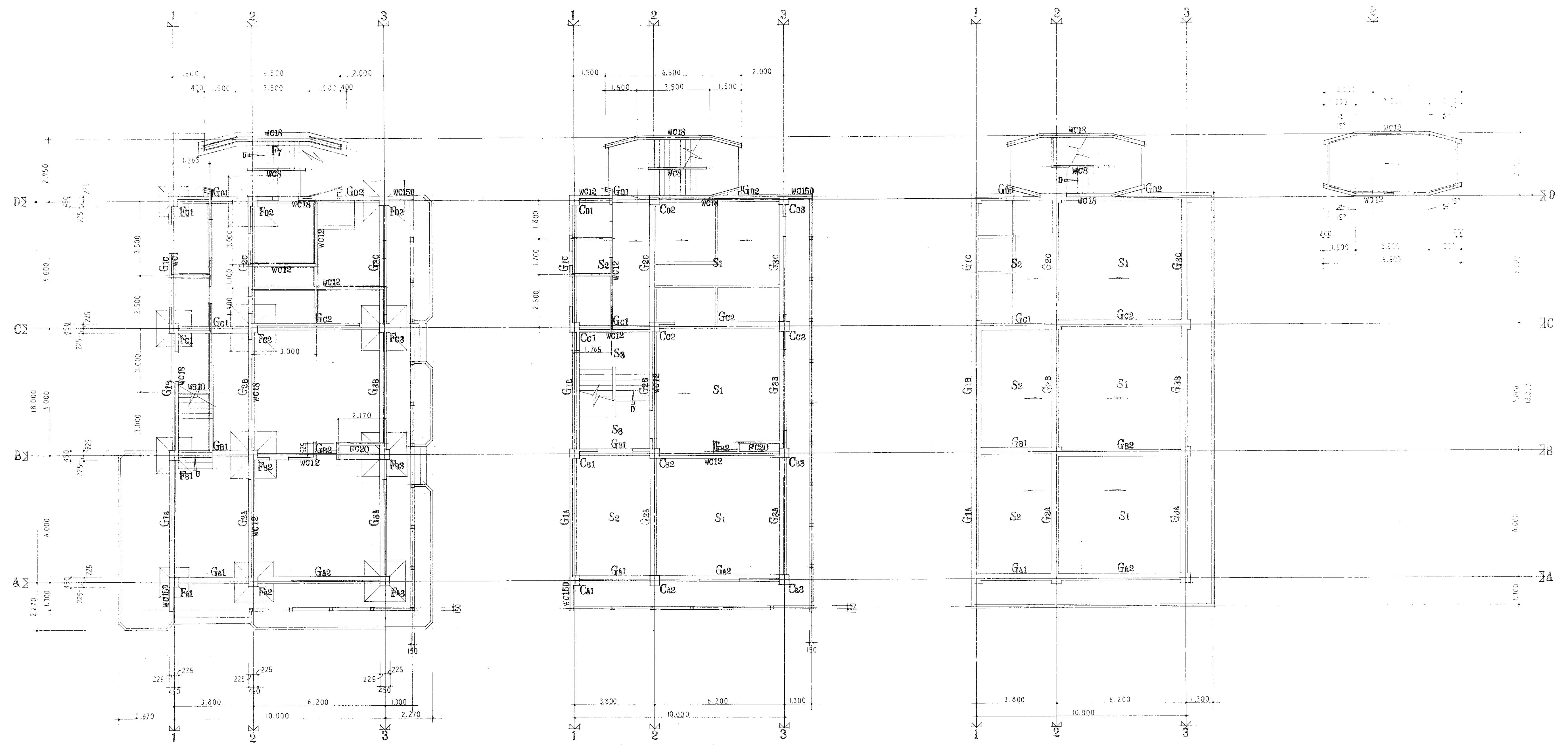




1階平面図

2階平面図

屋上平面図



基礎伏図

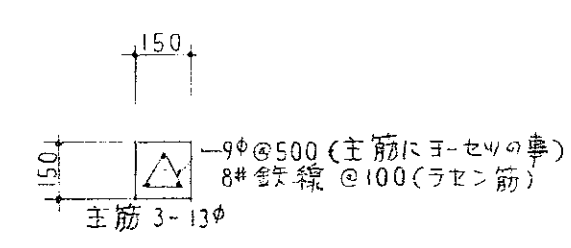
2階梁伏図

屋階梁伏図

PH梁伏図

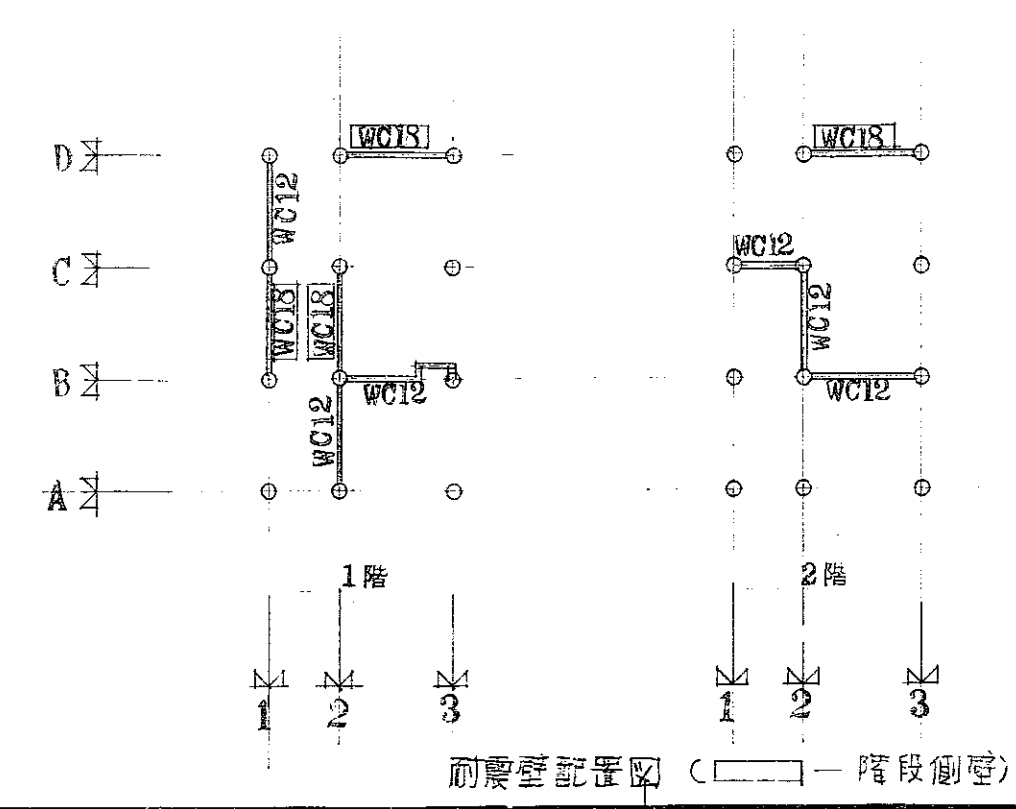
柱リスト

階	断面	配筋図
1階	CA1~CA3 CB1~CB3 CC1~CC3 CD1~CD3	450×450
2階	X Y Z H DH	D22 ^φ D13 ^φ 2 1 2 1 4 4 5 ^φ 125 9 ^φ 600



飾り柱配筋図 1:20

F1	Fb2	2,400×2,400
F2	Fb2・Fc2	2,200×2,200
F3	Fb3・Fc3	2,100×2,100
F4	Fb2・Fb3・Fc3	1,900×1,900
F5	Fb1・Fc1	1,700×1,700
F6	Fb1・Fc1	1,400×1,400



耐震壁配置図 (一階段側壁)

年 月 日 係長 係長 係長

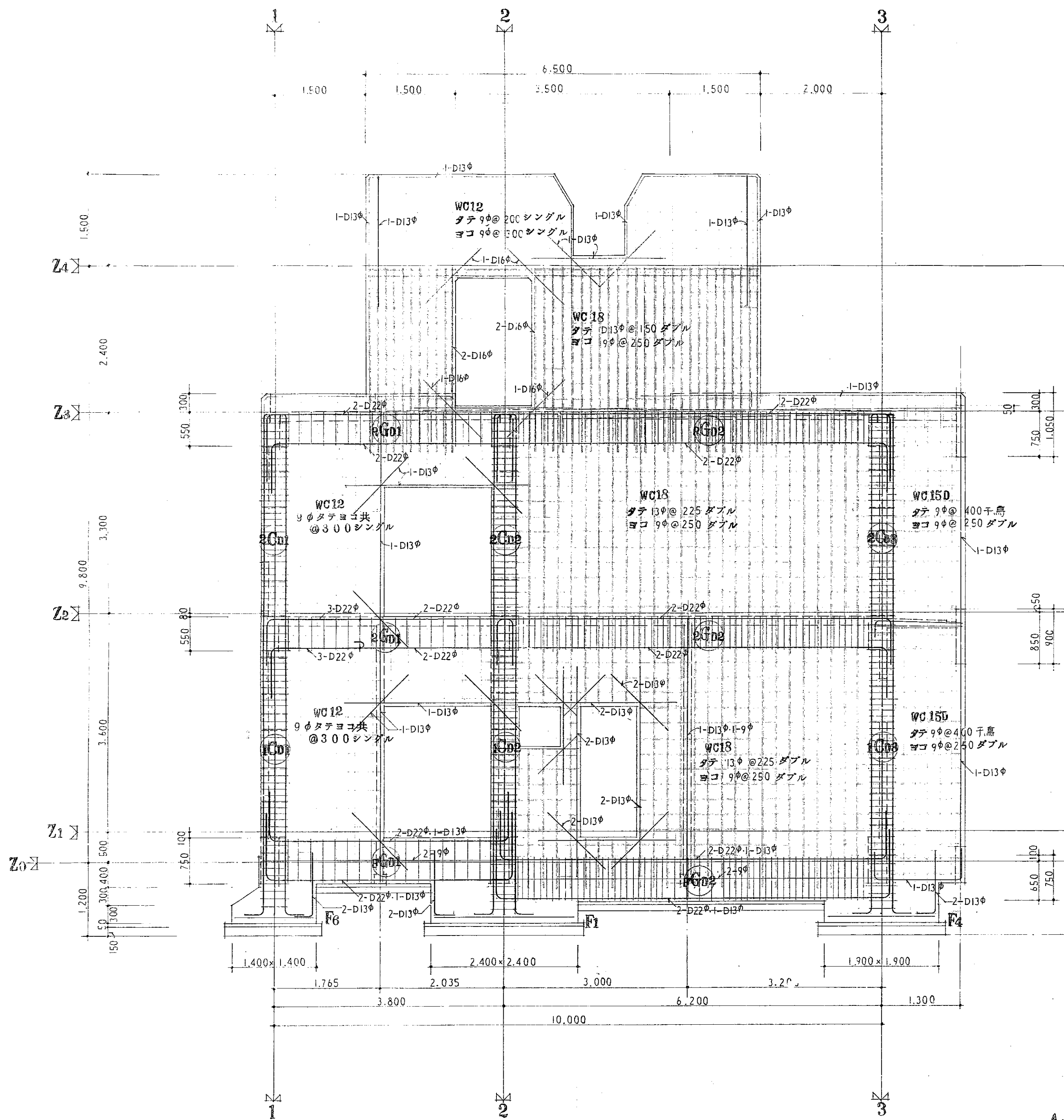
福山市建設局土木建築部建築課

福山市建設局建築管理課 新築工事設計図

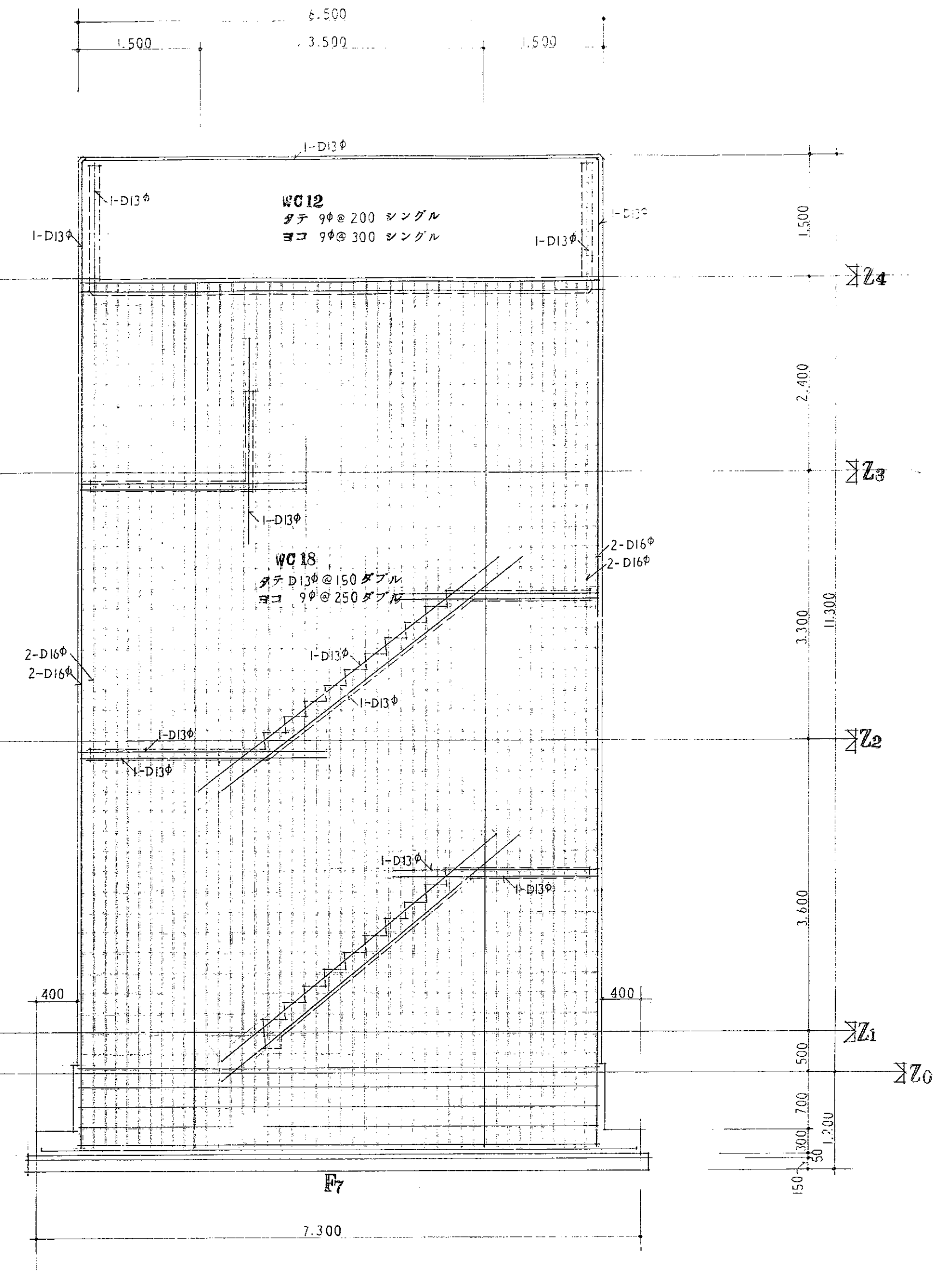
基礎伏図 梁伏図 柱リスト

1:100

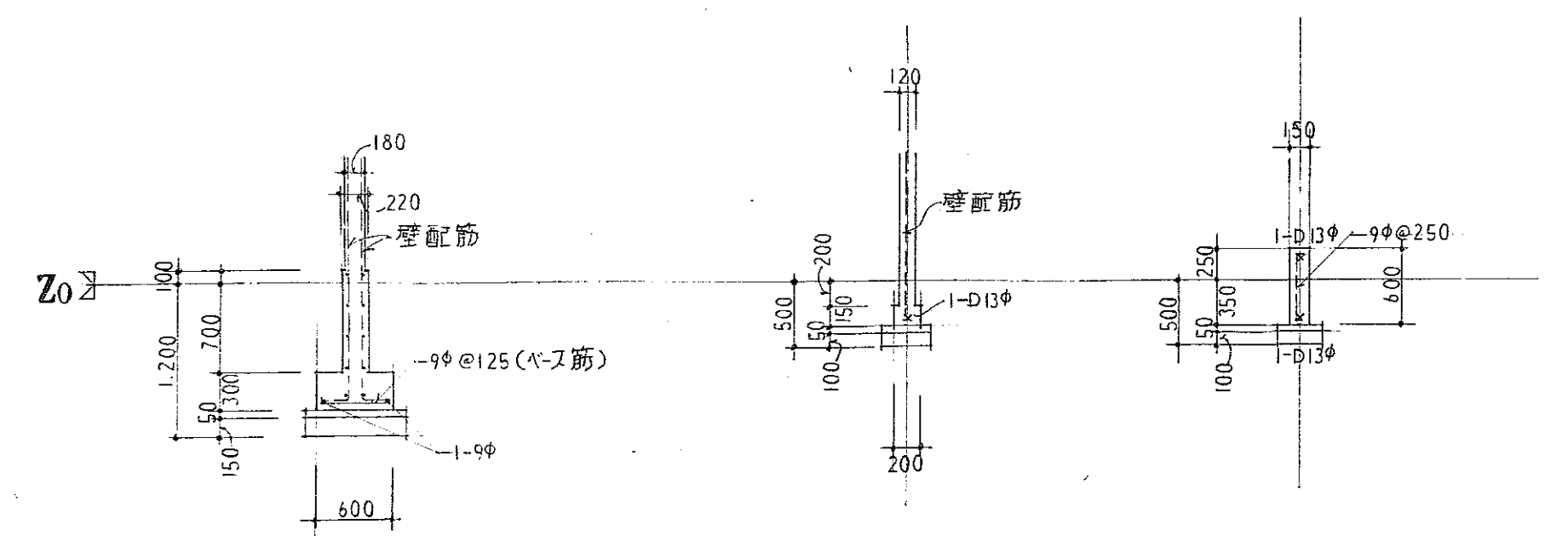
17



D 通りラーメン配筋図



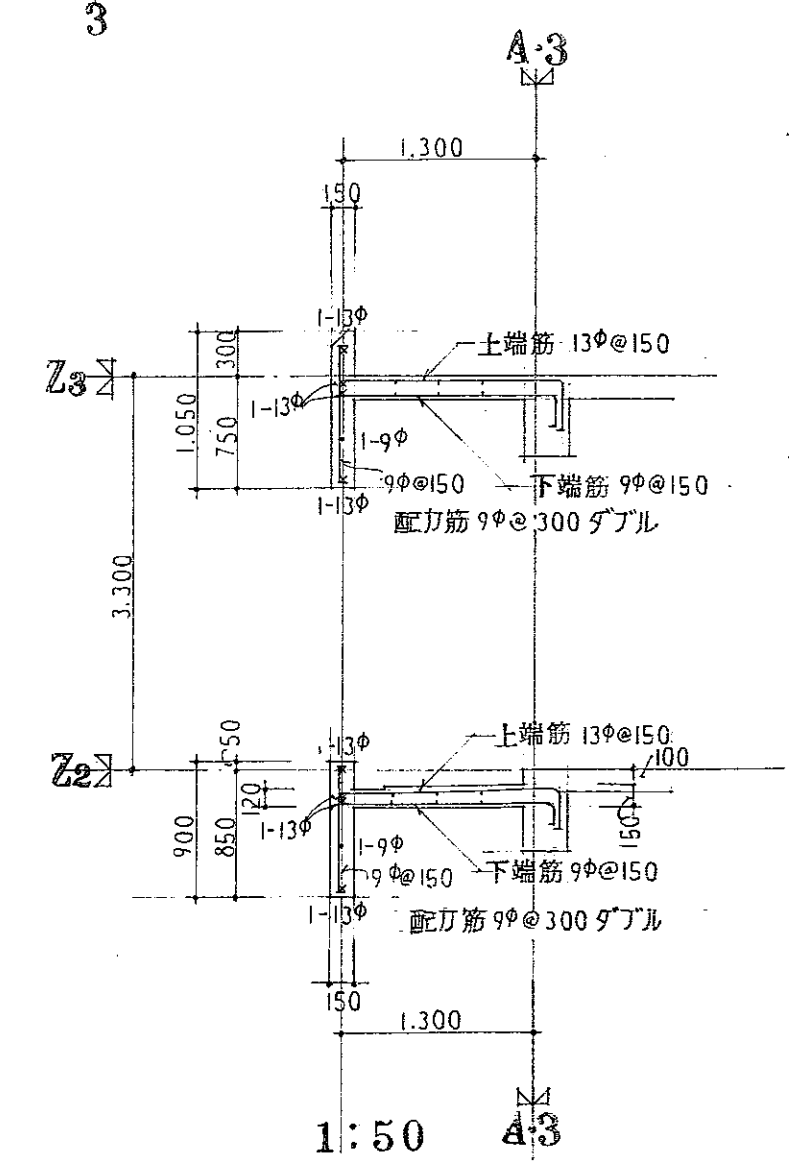
屋外階段側壁配筋図



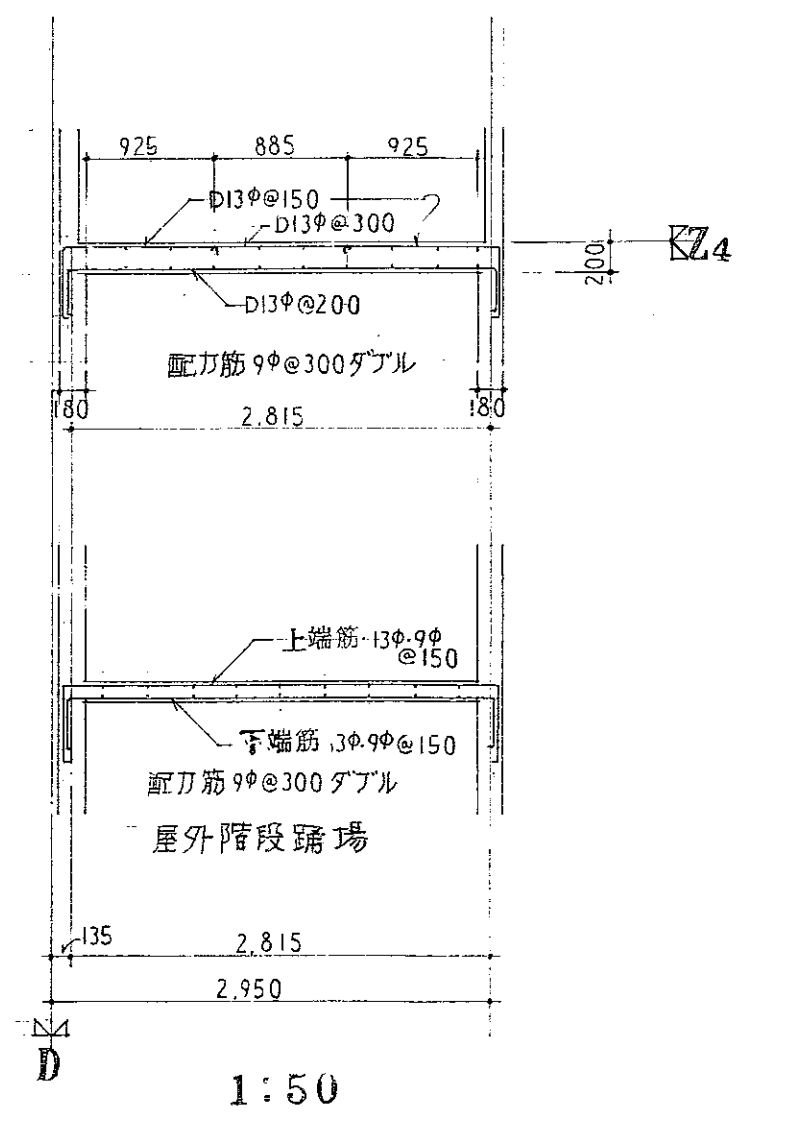
屋外階段側壁基礎配筋図 1:50

一般壁布基礎配筋図 1:50

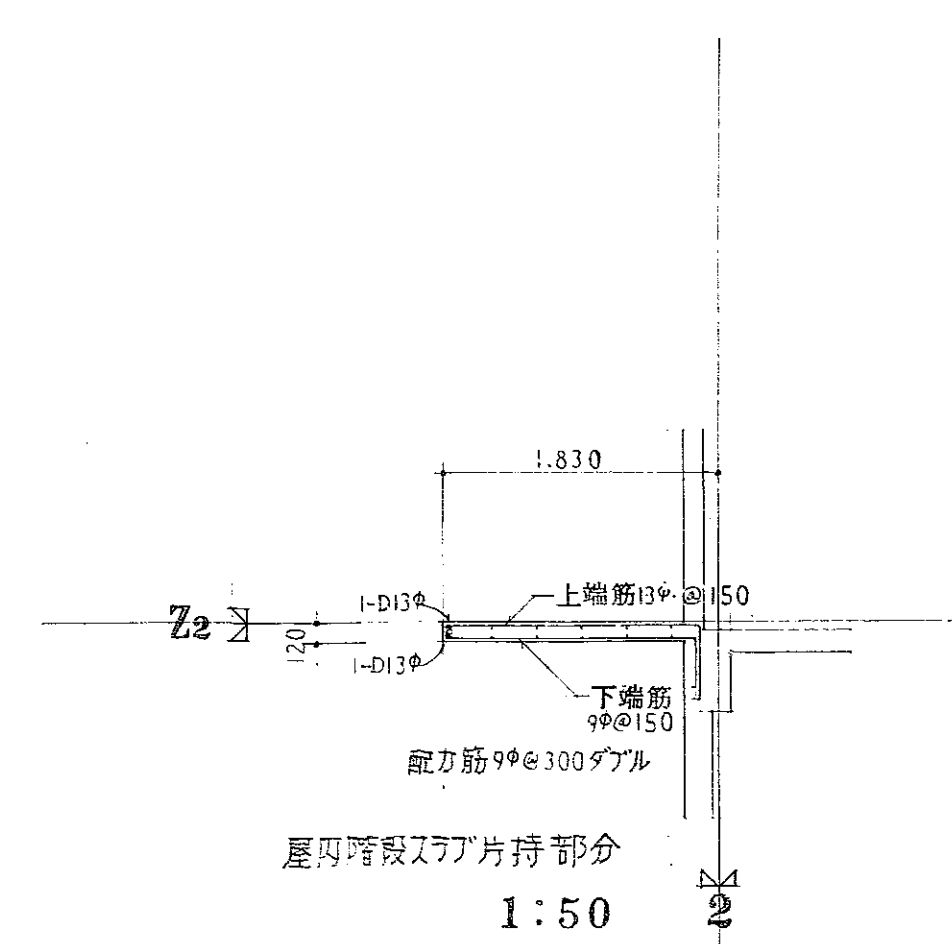
飾り柱布基礎配筋図 1:50



1:50 4:3



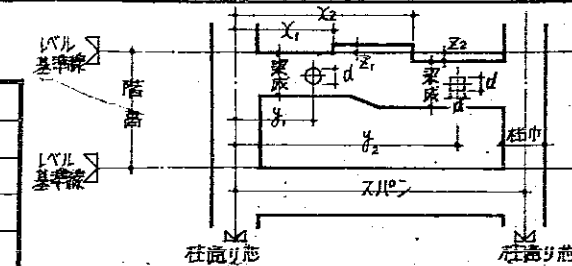
1:50



1:50

階	A 通りラメン				B 通りラメン				C 通りラメン			
	1	2	3		1	2	3		1	2	3	
R	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
2	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
3	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
4	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
5	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	
	成 スリブ	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450		3.800 G ₀₁	6.200 G ₀₂	450	

階	通り スパン 幅	1 通りラーメン				2 通りラーメン				3 通りラーメン			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1F	柱	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
	成												
	レベル												
	スリーブ												
2F	柱	300				300				300			
	成	550				550				550			
	レベル												
	スリーブ												
3F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
4F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
5F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
6F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
7F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
8F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
9F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
10F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
11F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												
12F	柱	300				300				300			
	成	750				750				750			
	レベル												
	スリーブ												



レベル	$X_1 - \bar{X}_1$	$X_2 - \bar{X}_2$
スリープ	$X_1 / d^{\otimes}$	$X_2 / d^{\otimes}$

注) ただし特記なき場合は基準レベルとする

注) スリープ後 100未満のものは記入しない

注) 肋骨 特設店の場合

DLH		DLH
98	98	98
1000	1000	1000

三 月 二 日

福山市建設部管理棟		新築工事設計図	縮尺
大梁配筋図			
一級建築士事務所 株式会社 鈴木工務店			

5-1 折曲げ標準
1-1 末端部 (普通コンクリート)

曲げ角度	使用箇所	折曲げ図		SR 24	SR 30 SD 30	SD 35 SD 40
180°	13°以上の主筋の折曲げ 13°以下の主筋		r	$\geq 1.5d$	$\geq 2.0d$	$\geq 2.5d$
			b	$\geq 10.28d$	$\geq 11.85d$	$\geq 15.0d$
135°	13°以下の主筋の折曲げ		r	$\geq 1.5d$	$\geq 2.0d$	—
			b	$\geq 8.71d$	$\geq 9.89d$	—
90°	13°以下の主筋の折曲げ		r	$\geq 1.5d$	$\geq 2.0d$	—
			b	$\geq 7.14d$	$\geq 7.93d$	—

1-2 中間部 (普通コンクリート)

曲げ角度	使用箇所	折曲げ図		SR 24	SR 30 SD 35	SD 40
90°	主筋の折曲げ		r	$\geq 6d$	$\geq 8d$	—
90°以下	主筋の折曲げ		r	$\geq 6d$	$\geq 8d$	—

注 d = 鉄筋の公称直径 r = 曲げ内径 b = フック部分の長さ

5-2 定着及び継手

鉄筋	コンクリート強度	フック	S ₁	S ₂
SR 24	FC ≥ 180	有	40 d	35 d
	FC < 180	有	50 d	45 d
SD 30	FC ≥ 180	有	35 d	25 d
SD 35	FC ≥ 210	有	50 d	40 d
SD 40	FC ≥ 210	有	50 d	40 d

- 注 1) S₁は長期引張力に対して算出した継手定着の長さ。
2) S₂は長期引張力及び短期引張力に対して算出した継手定着の長さ。
3) フックのある場合のS₁には、フック部分の長さを含む。
4) 鉄筋径の異なる場合(継手にあいて)は径の小さい方を使用する。

5-3 隣り合う継手の位置及び鉄筋の間隔

3-1 隣り合う継手の位置

フックのある場合 a $\geq 1.5d$ かつ a ≥ 25 mm	(1)	(2)
フックのない場合 a $\geq 1.5d$ かつ a ≥ 25 mm		
圧着の場合 a ≥ 100 mm		

3-2 鉄筋の間隔

鉄筋と鉄筋のあき a は原則として下記の方法以上とする。

- a $\geq 1.5d$
a ≥ 25 mm
a $\geq$ 粗骨材の最大径の 1.25 倍

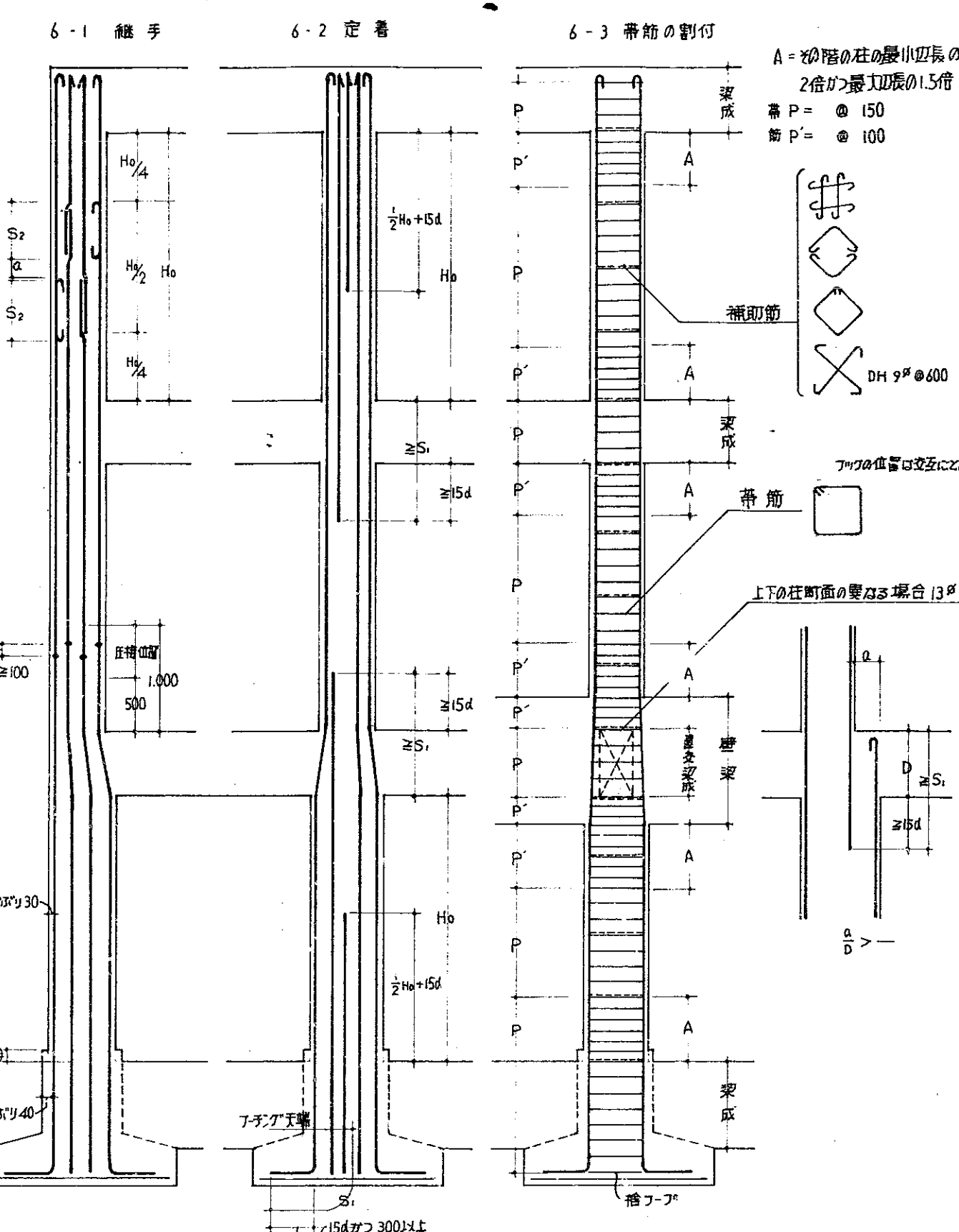
5-4 鉄筋のかり厚さ

部材	部材名	コンクリート強度に準じた場合の最小かり厚さ (mm)	備考
土に接しない部分	床、部材壁以外の壁	20	30 (屋外に接する部分を除く)
	柱、梁、部材壁	30	40 (屋外に接する部分を除く)
土に接する部分	柱、梁、壁、床	40	壁の内面は 50 mm
	基礎	60	箱コンクリートは除く

5-5 鉄筋の表示記号

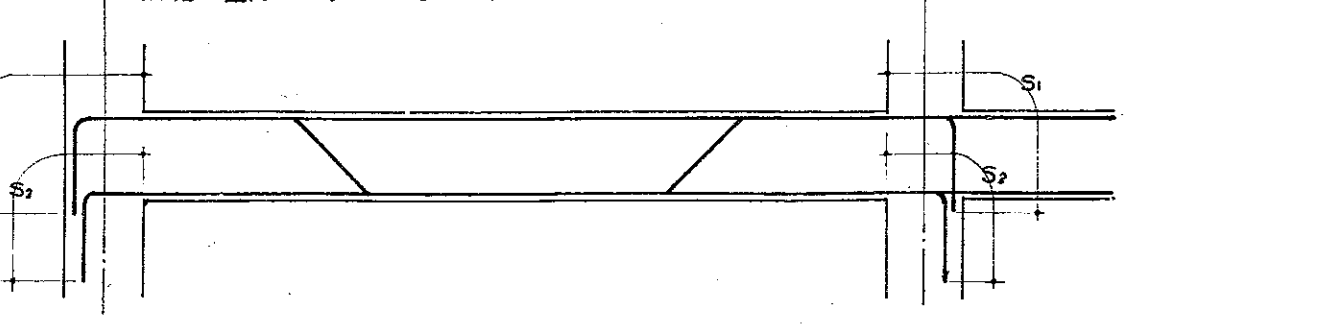
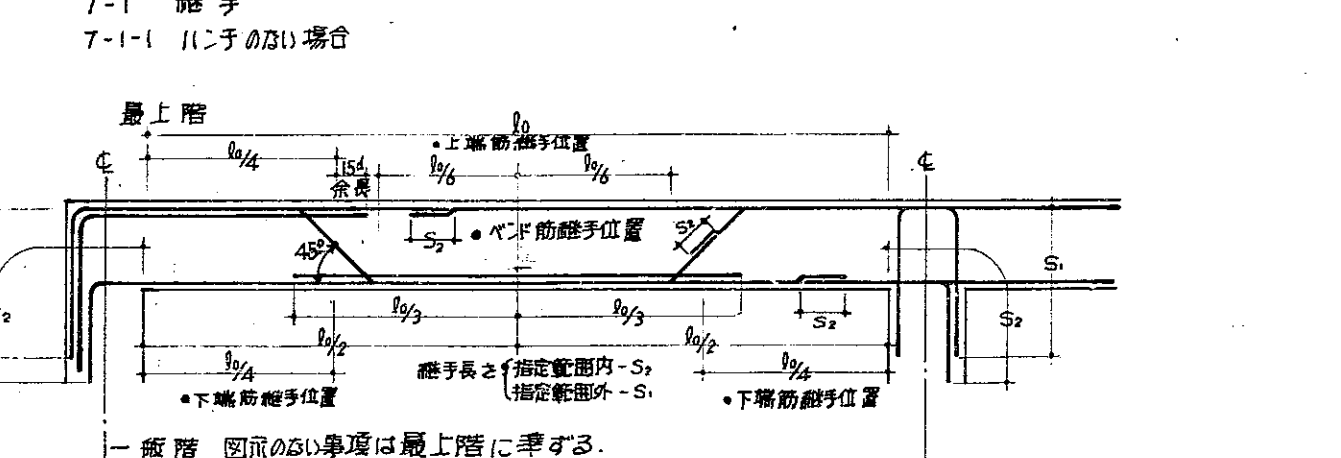
記号	丸鋼	9°	13°	16°	19°	22°	25°	28°	32°
記号	D10°	D13°	D16°	D19°	D22°	D25°	D28°	D32°	
	x	o	o	o	o	o	o	o	o

5-6 柱

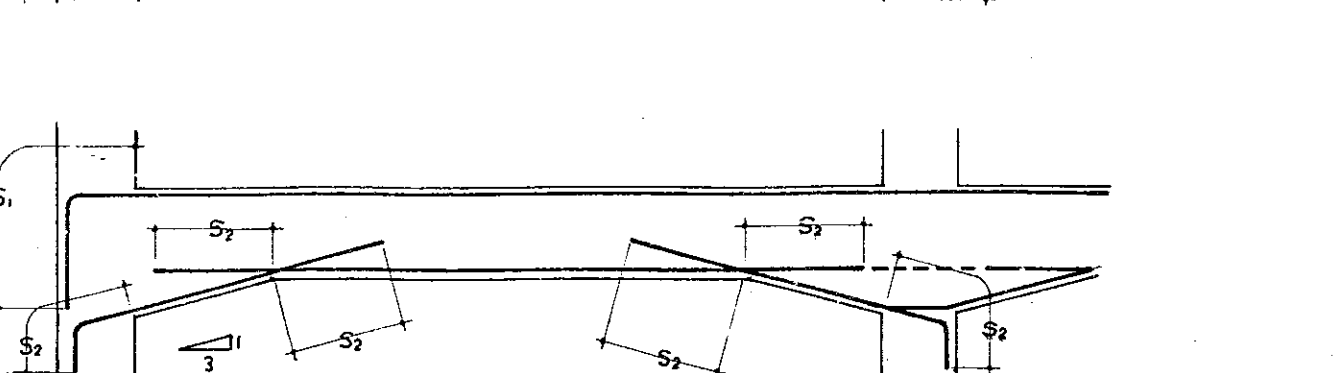
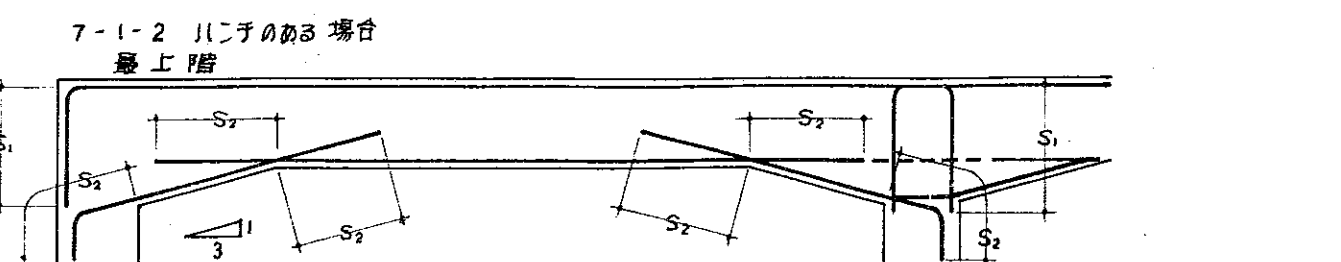


- 注 1) 継手はAの部分に1.5倍の長さになるようにする。
2) 帯筋はAの部分に1.5倍の長さになるようにする。
3) 帯筋はAの部分に1.5倍の長さになるようにする。
4) 帯筋はAの部分に1.5倍の長さになるようにする。

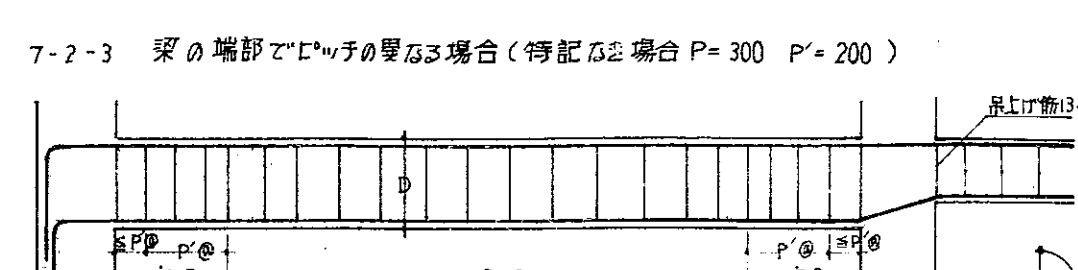
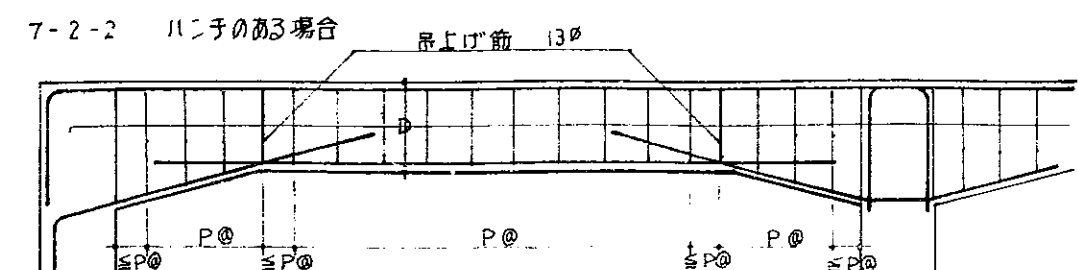
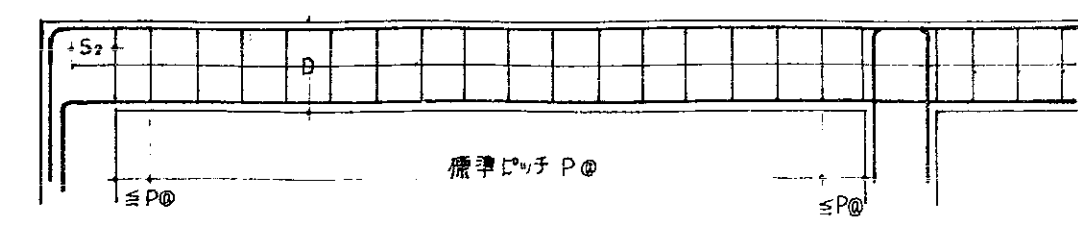
5-7 大梁



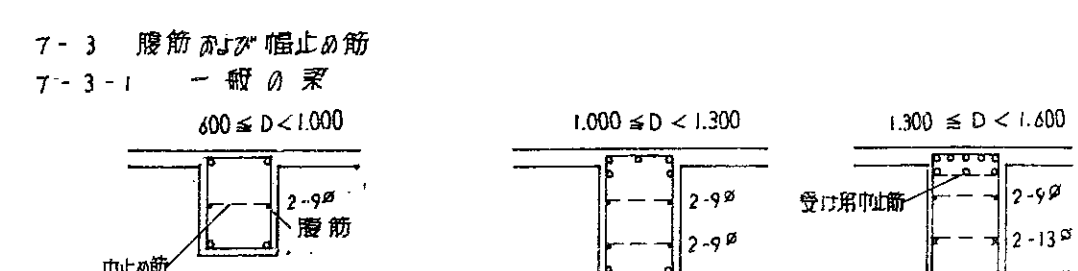
- 注 1) 引し通し鉄筋以外は原則として柱内に定着する。ただし、柱内に定着する場合は柱の中心軸を以て定着する。
2) 梁筋と柱内に定着する場合は柱の中心軸を以て定着する。



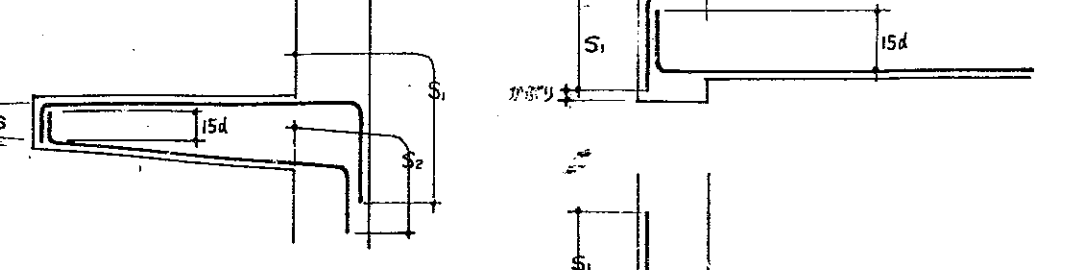
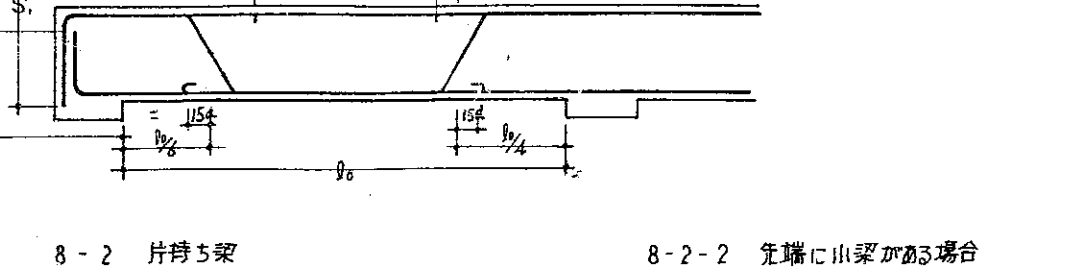
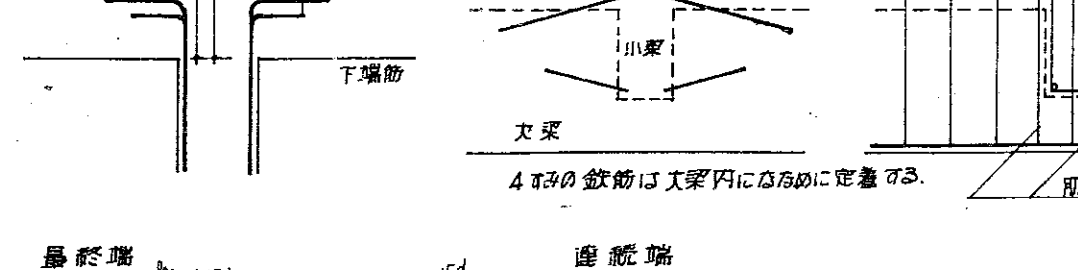
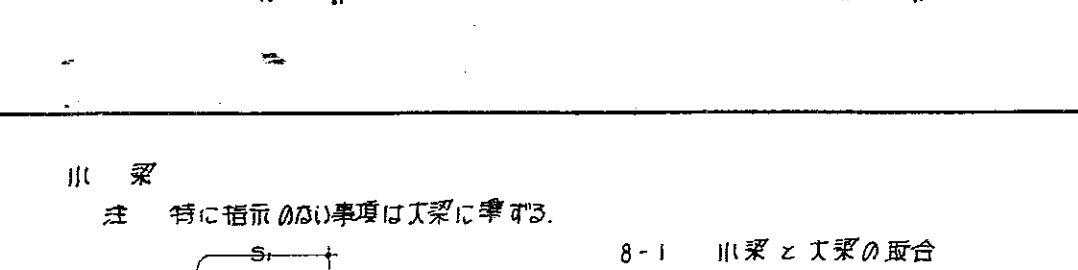
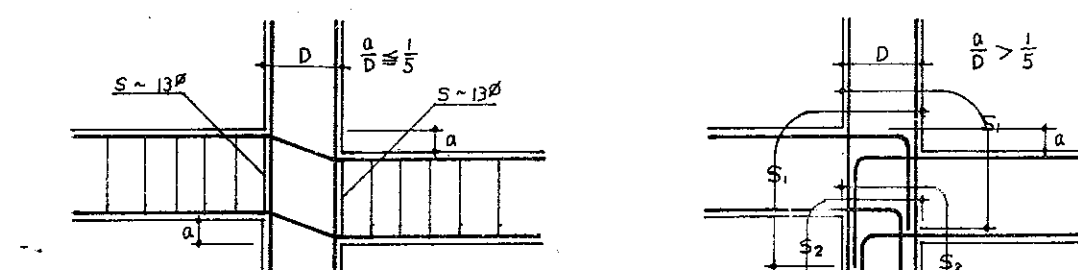
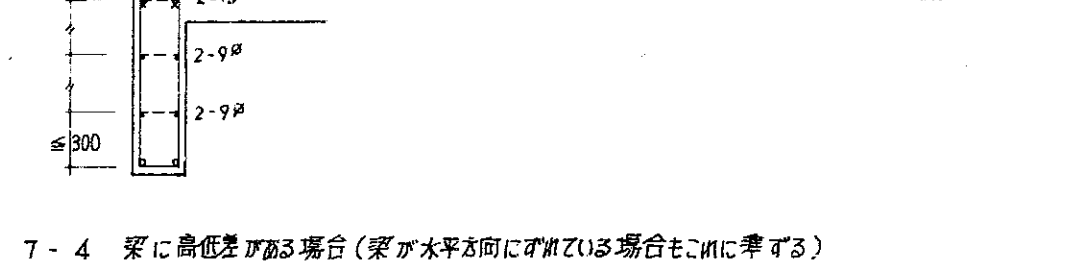
- 注 1) 引し通し鉄筋以外は原則として柱内に定着する。ただし、柱内に定着する場合は柱の中心軸を以て定着する。
2) 梁筋と柱内に定着する場合は柱の中心軸を以て定着する。

7-2 梁筋の割付
7-2-1 ハンチのない場合

- 注 1) あはし筋は右図のものを使用する。
2) あはし筋の標準ピッチは 250 以下、但し、柱中梁は本記と同様の寸法で補強する場合は (2) の 250 以下とする。
3) 主筋が SD30、SD35、SD40 の場合は、はり端よりはりの最大径の長さの範囲のあはし筋のピッチは 200 以下とする。
4) あはし筋の割付は、補強を調整する。



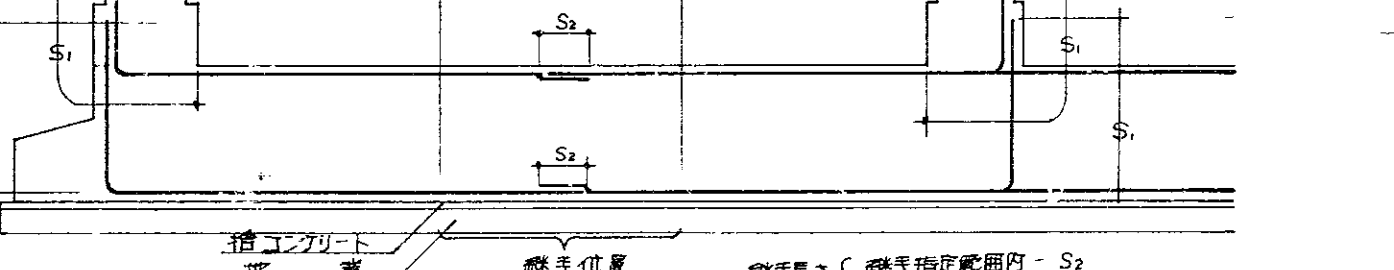
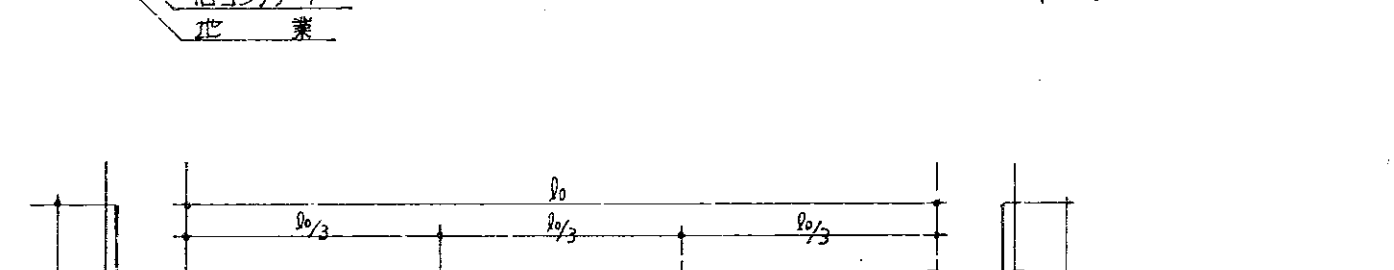
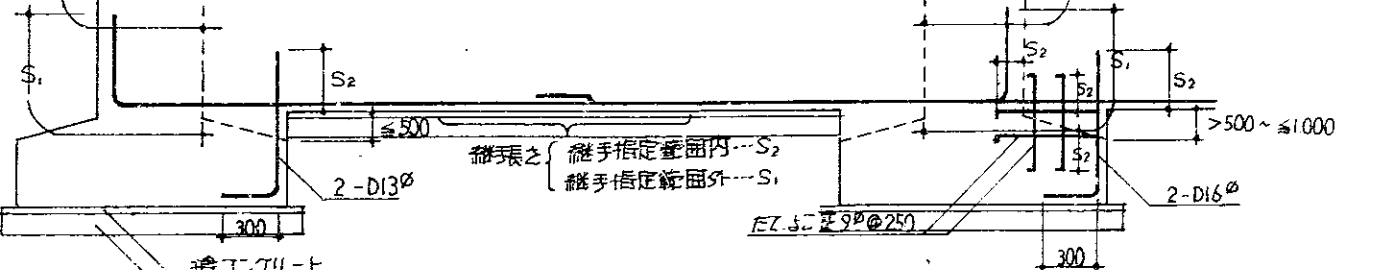
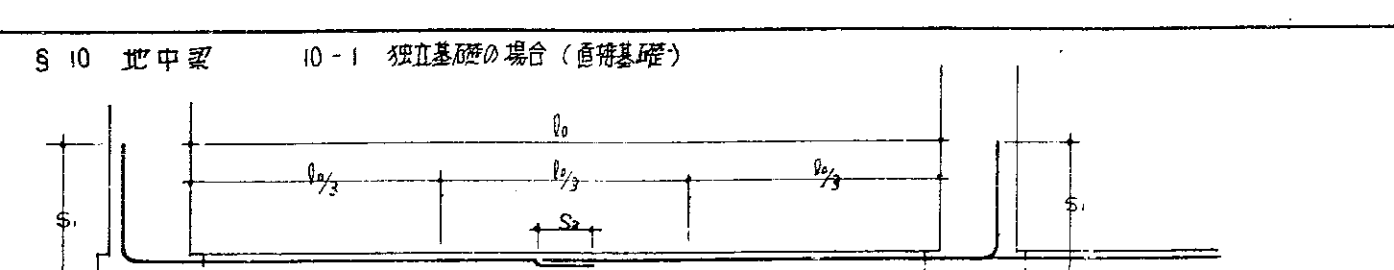
- 注 1) 幅止り筋は 9° @ 1,000 mm 以内とする。
2) 2 階配筋の場合は、梁筋 3 本ごとに幅止り筋 9° を入れる。
3) 壁梁の場合は、スラブ上端筋の位置に 2-13° を入れる。



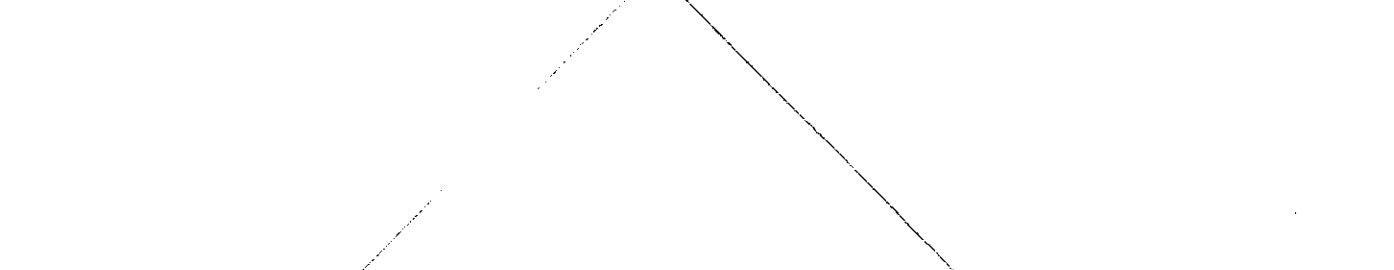
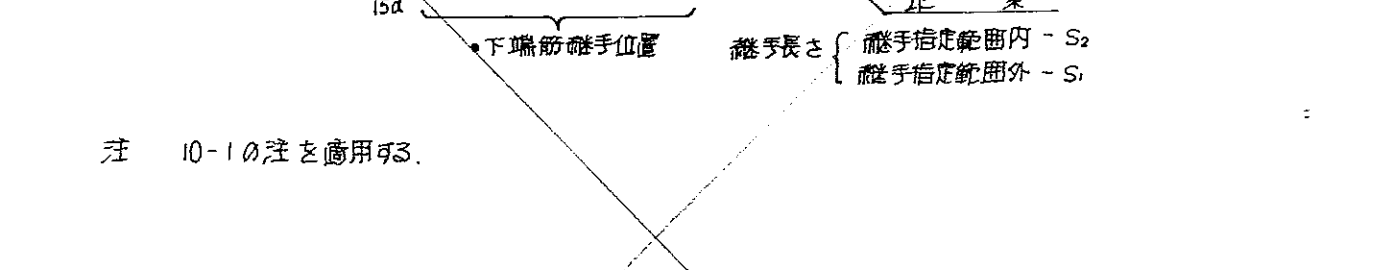
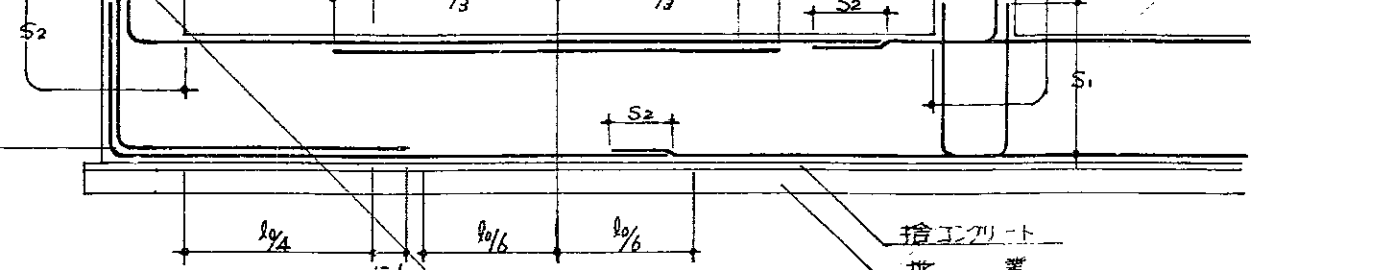
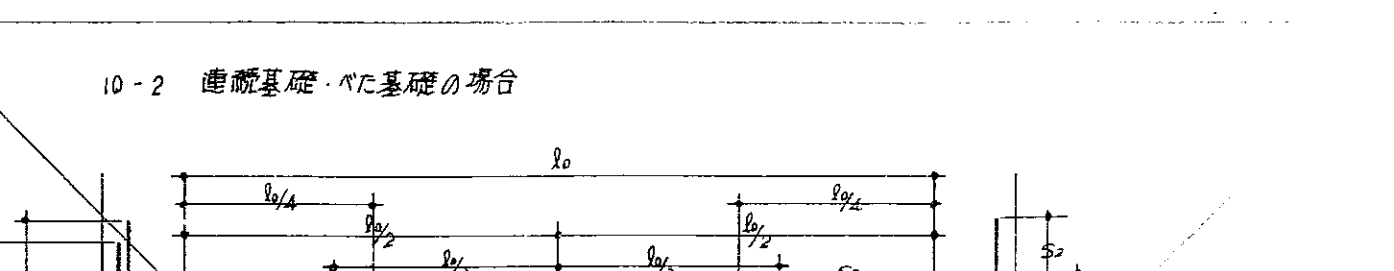
- 注 1) 図示のない事項は、大梁に準ずる。
2) 外側の主筋は、小梁内に定着する。
3) 上端筋の定着長は、梁筋の最大径の長さの範囲に定着する。

5-9 梁の貫通孔の補強
梁の貫通孔の補強は、この基準配筋による。孔の形状は、梁の配筋図に指定する。孔の径は、梁の径の 1/3 以下とする。

適用範囲	孔の径	配筋図	補強方法
$\phi \leq 100$	2-2-9° たて 2-2-9° よこ 2-2-9° よこ S.T.P. 1-2-9°		1) 孔の径が 100 mm 以下の場合は、補強筋を指定する。ただし、孔の径が 150 mm 以上となる場合は、補強筋を指定する。 2) 孔が円形でない場合は、等面積の円孔に換算して補強する。
$100 < \phi \leq 200$	2-2-13° たて 2-2-13° よこ 2-2-13° よこ S.T.P. 1-2-9°		4) 孔が並列するときは、その中心間隔は孔の径の 2 倍以上とする。 5) 孔の補強筋の名称および定着長は、下図に示す。
$200 < \phi \leq 300$	2-2-16° たて 2-2-16° よこ 2-2-13° よこ S.T.P. 1-2-9°		6) 鉄筋内角部を折る場合は、その径は、その内径とする。
$300 < \phi \leq 400$	2-2-19° たて 2-2-19° よこ 2-2-16° よこ S.T.P. 1-2-9°		



- 注 1) 図示のない事項は、大梁に準ずる。ただし、変形鉄筋の場合は、フックを付けない。
2) 独立基礎で地中梁にスラブがついている場合は、大梁の準用とする。
3) 地中梁の下端には、厚さ 60 mm 出 100 mm の箱コンクリートを行う。
4) 出隅の主筋の定着には、フックを付ける。

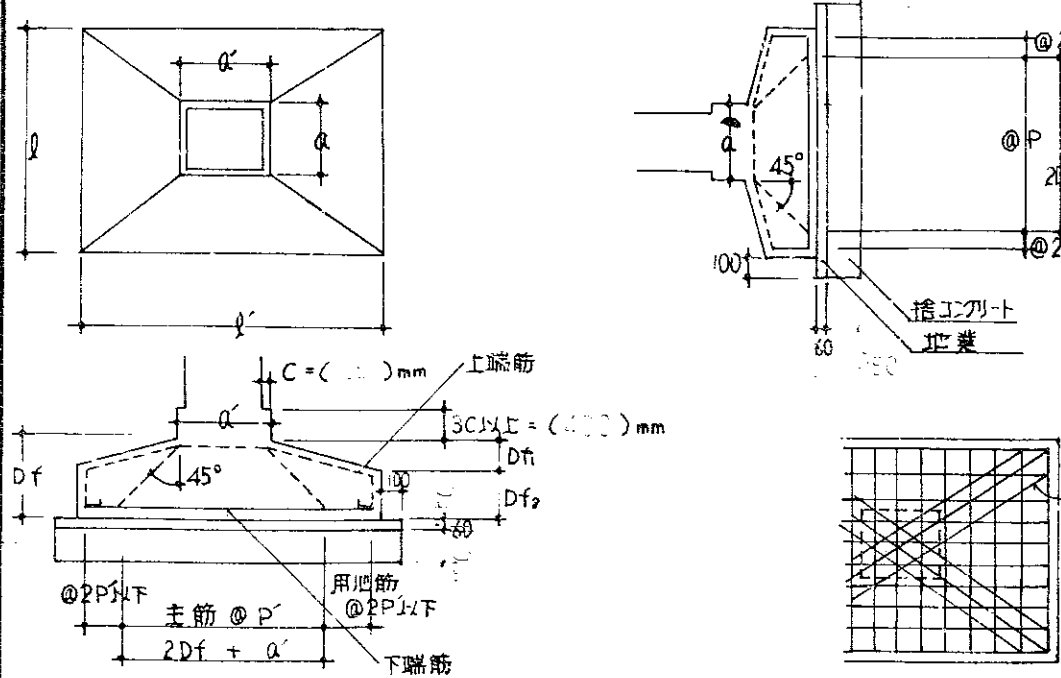


- 注 10-1 の注を適用する。

鉄筋はコンクリート配筋仕様（ランニング） 2

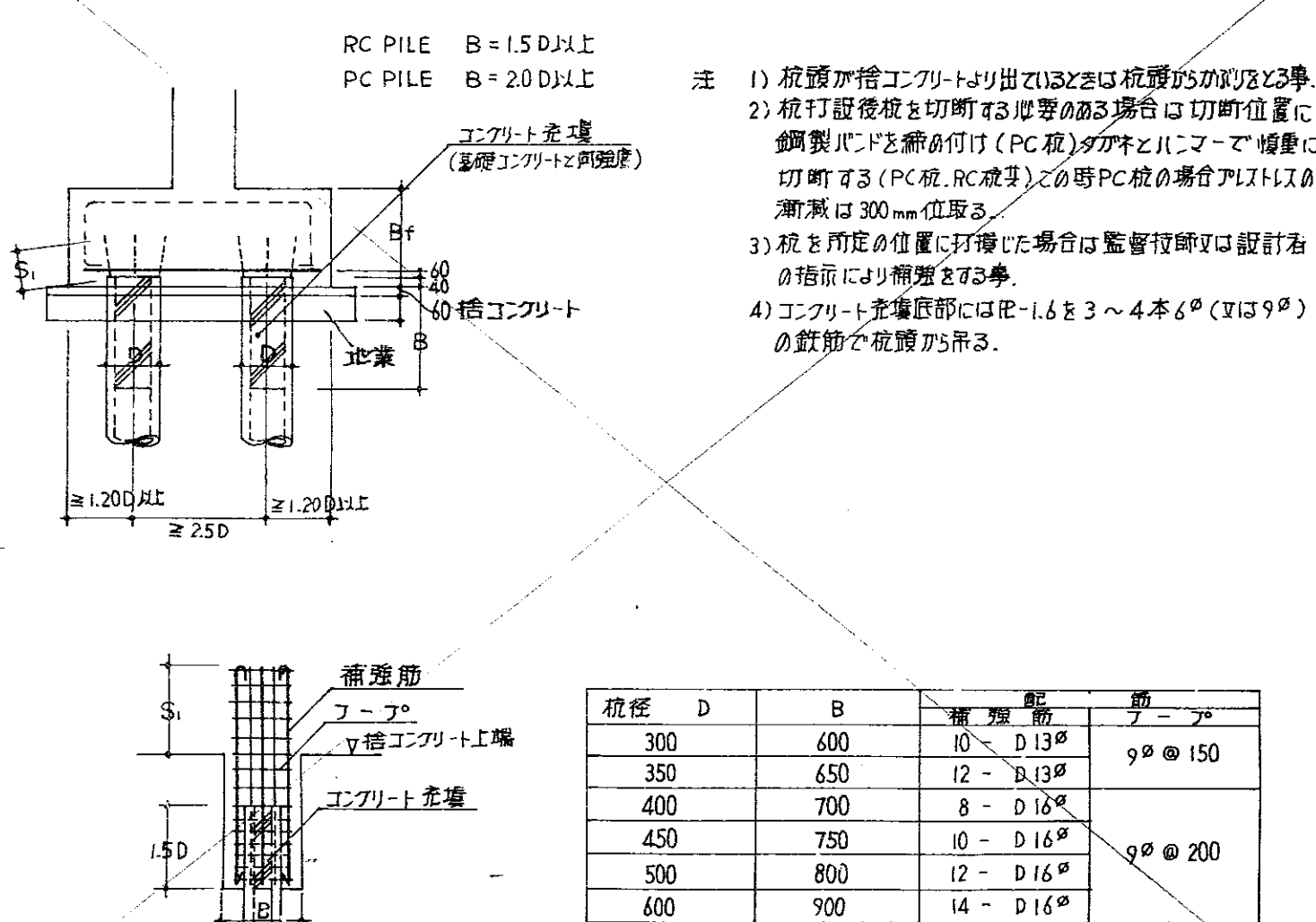
5.11 基礎

11-1 直柱基礎



基礎番号	フーチング幅	フーチング高さ	はかり	配筋	鉄筋	個所
1	300	500	100	100	100	1
2	300	500	100	100	100	2
3	300	500	100	100	100	3
4	300	500	100	100	100	4
5	300	500	100	100	100	5
6	300	500	100	100	100	6
7	300	500	100	100	100	7
8	300	500	100	100	100	8
9	300	500	100	100	100	9
10	300	500	100	100	100	10
11	300	500	100	100	100	11
12	300	500	100	100	100	12
13	300	500	100	100	100	13
14	300	500	100	100	100	14
15	300	500	100	100	100	15
16	300	500	100	100	100	16
17	300	500	100	100	100	17
18	300	500	100	100	100	18
19	300	500	100	100	100	19
20	300	500	100	100	100	20
21	300	500	100	100	100	21
22	300	500	100	100	100	22
23	300	500	100	100	100	23
24	300	500	100	100	100	24
25	300	500	100	100	100	25
26	300	500	100	100	100	26
27	300	500	100	100	100	27
28	300	500	100	100	100	28
29	300	500	100	100	100	29
30	300	500	100	100	100	30
31	300	500	100	100	100	31
32	300	500	100	100	100	32
33	300	500	100	100	100	33
34	300	500	100	100	100	34
35	300	500	100	100	100	35
36	300	500	100	100	100	36
37	300	500	100	100	100	37
38	300	500	100	100	100	38
39	300	500	100	100	100	39
40	300	500	100	100	100	40
41	300	500	100	100	100	41
42	300	500	100	100	100	42
43	300	500	100	100	100	43
44	300	500	100	100	100	44
45	300	500	100	100	100	45
46	300	500	100	100	100	46
47	300	500	100	100	100	47
48	300	500	100	100	100	48
49	300	500	100	100	100	49
50	300	500	100	100	100	50
51	300	500	100	100	100	51
52	300	500	100	100	100	52
53	300	500	100	100	100	53
54	300	500	100	100	100	54
55	300	500	100	100	100	55
56	300	500	100	100	100	56
57	300	500	100	100	100	57
58	300	500	100	100	100	58
59	300	500	100	100	100	59
60	300	500	100	100	100	60
61	300	500	100	100	100	61
62	300	500	100	100	100	62
63	300	500	100	100	100	63
64	300	500	100	100	100	64
65	300	500	100	100	100	65
66	300	500	100	100	100	66
67	300	500	100	100	100	67
68	300	500	100	100	100	68
69	300	500	100	100	100	69
70	300	500	100	100	100	70
71	300	500	100	100	100	71
72	300	500	100	100	100	72
73	300	500	100	100	100	73
74	300	500	100	100	100	74
75	300	500	100	100	100	75
76	300	500	100	100	100	76
77	300	500	100	100	100	77
78	300	500	100	100	100	78
79	300	500	100	100	100	79
80	300	500	100	100	100	80
81	300	500	100	100	100	81
82	300	500	100	100	100	82
83	300	500	100	100	100	83
84	300	500	100	100	100	84
85	300	500	100	100	100	85
86	300	500	100	100	100	86
87	300	500	100	100	100	87
88	300	500	100	100	100	88
89	300	500	100	100	100	89
90	300	500	100	100	100	90
91	300	500	100	100	100	91
92	300	500	100	100	100	92
93	300	500	100	100	100	93
94	300	500	100	100	100	94
95	300	500	100	100	100	95
96	300	500	100	100	100	96
97	300	500	100	100	100	97
98	300	500	100	100	100	98
99	300	500	100	100	100	99
100	300	500	100	100	100	100

11-2 杭基礎



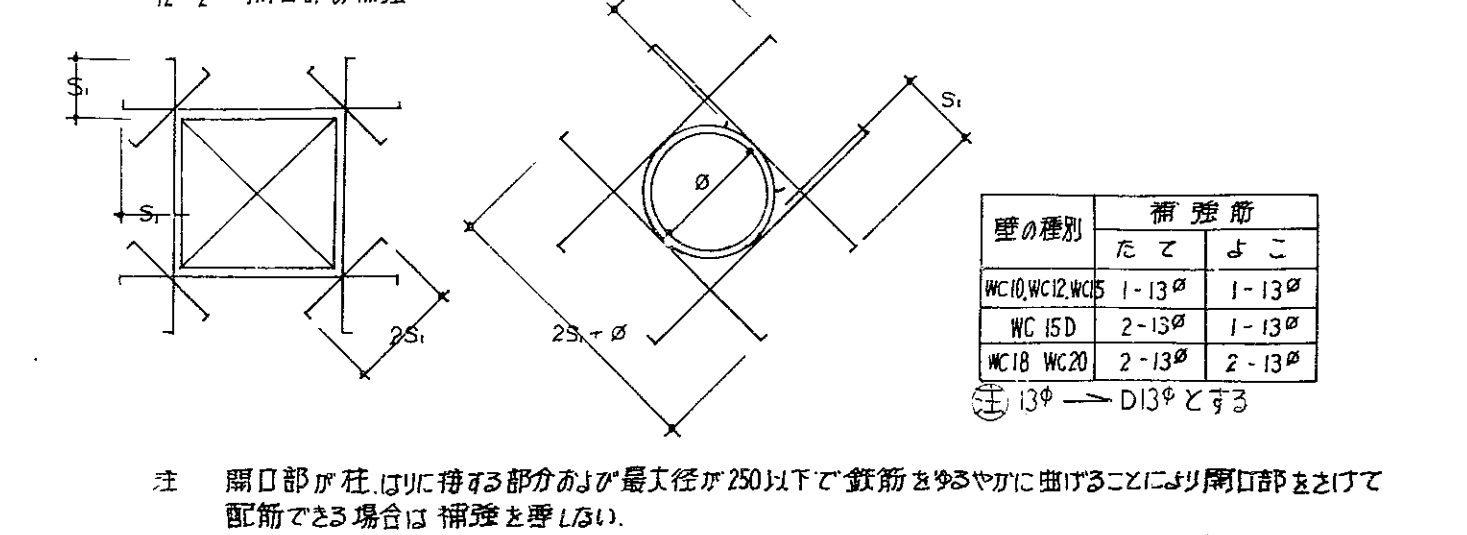
杭径 D	B	配筋	鉄筋
300	600	10 - D13 ^φ	9 ^φ @ 150
350	650	12 - D13 ^φ	9 ^φ @ 150
400	700	8 - D16 ^φ	9 ^φ @ 200
450	750	10 - D16 ^φ	9 ^φ @ 200
500	800	12 - D16 ^φ	9 ^φ @ 200
600	900	14 - D16 ^φ	9 ^φ @ 200

5.12 壁

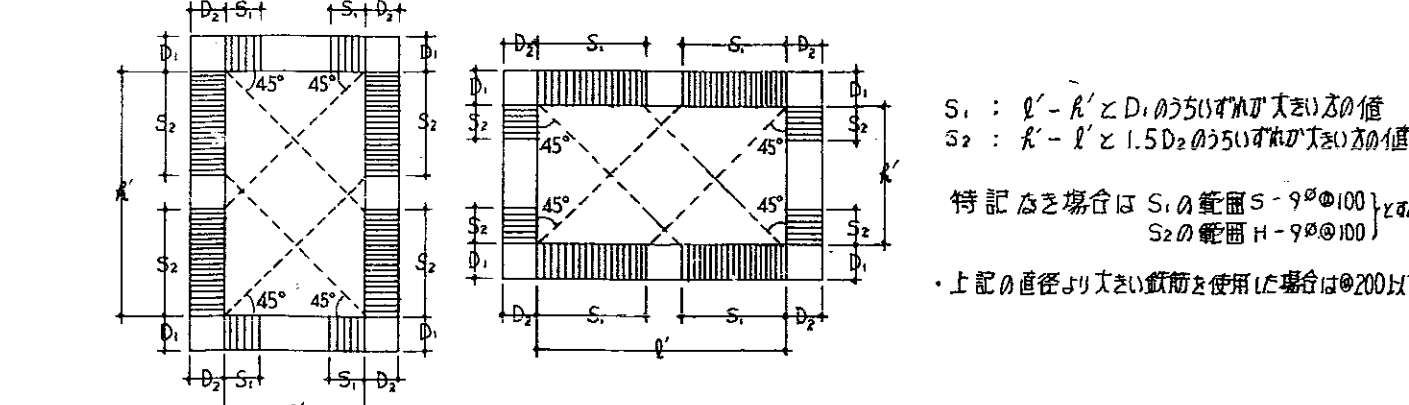
12-1 壁の基準配筋は下記に別記の指定は特記による。

壁厚	断面図	配筋	鉄筋
WC10 100		9 ^φ @ 300 シングル	9 ^φ @ 200 シングル
WC12 120		9 ^φ @ 300 シングル	9 ^φ @ 200 シングル
WC12 120 (防湿壁)		9 ^φ @ 200 シングル	9 ^φ @ 250 シングル
WC15 150		9 ^φ @ 400 シングル	9 ^φ @ 250 シングル
WC18 180		9 ^φ @ 250 ダブル	9 ^φ @ 250 ダブル
WC20 200		9 ^φ @ 250 ダブル	9 ^φ @ 250 ダブル

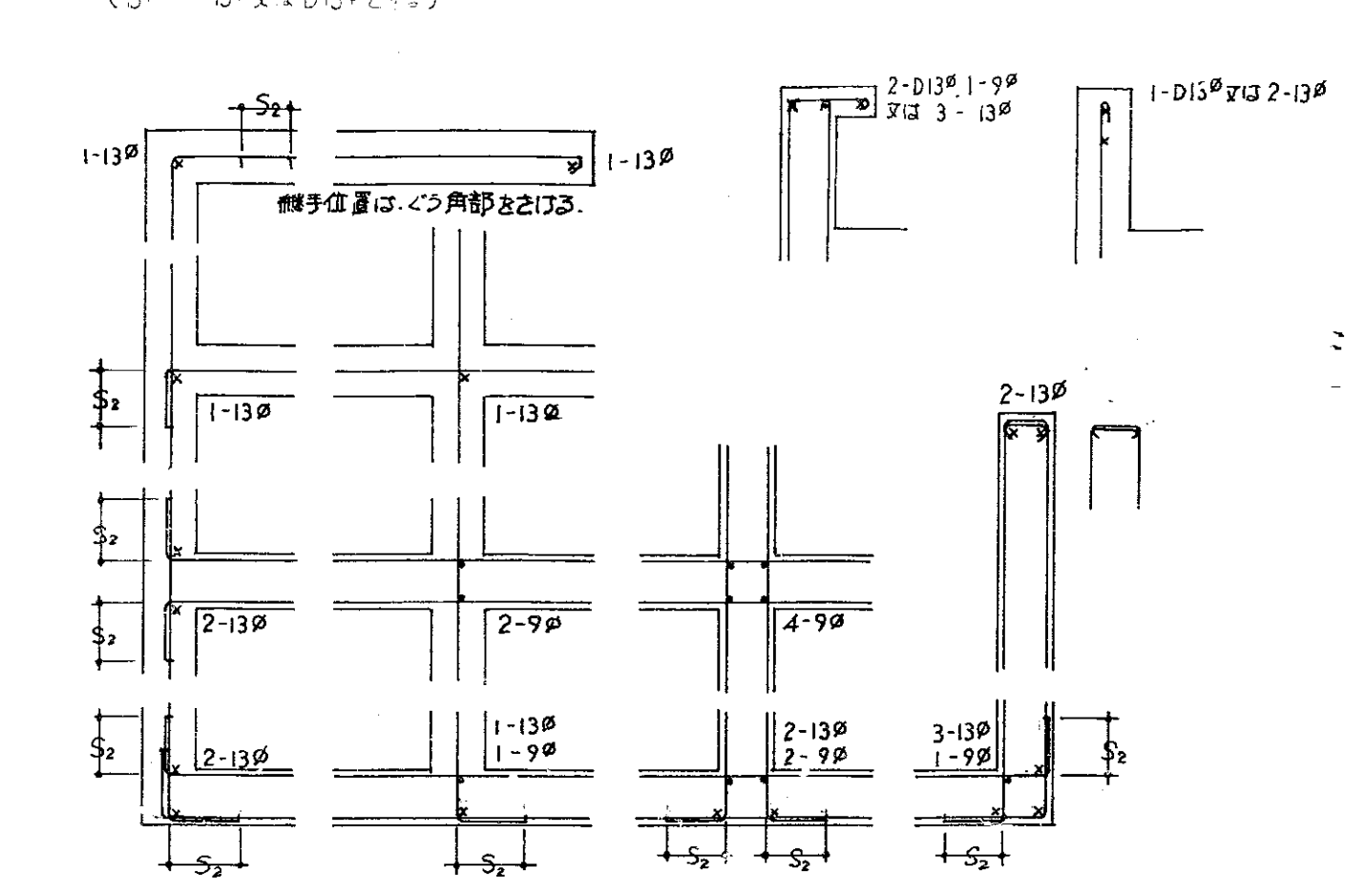
12-2 開口部の補強



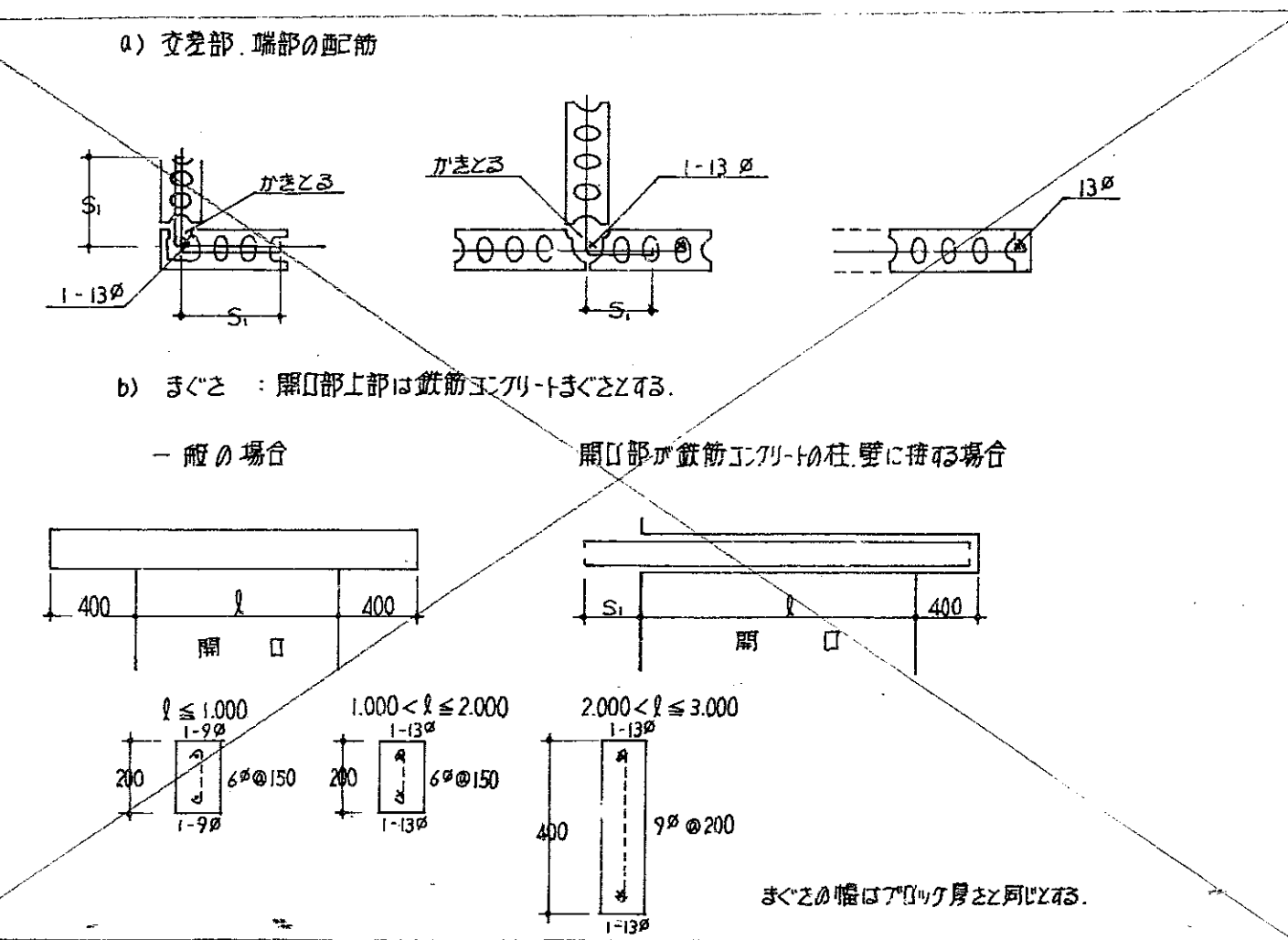
12-3 開口部を有する壁の配筋



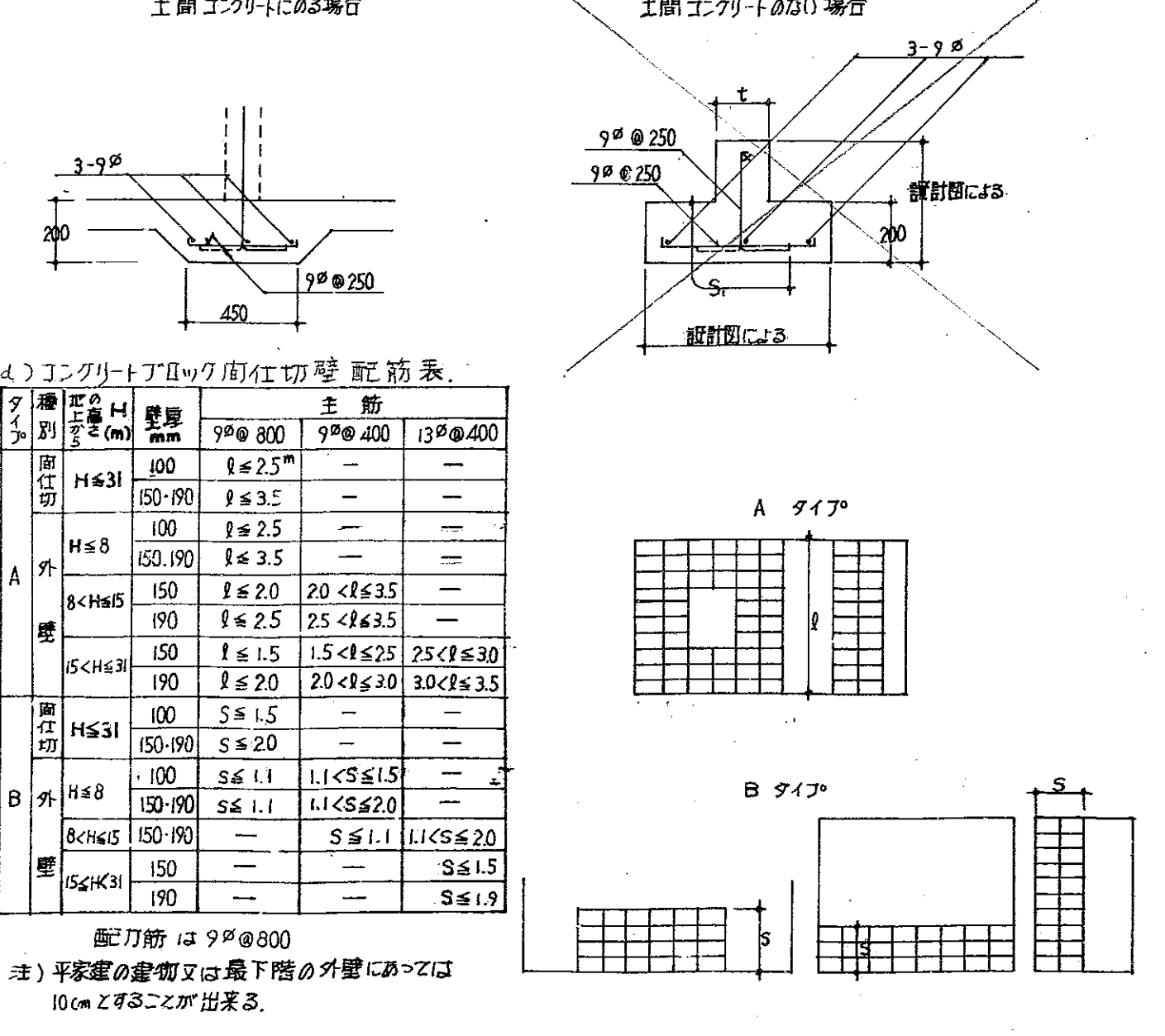
12-4 コングリート壁の配筋



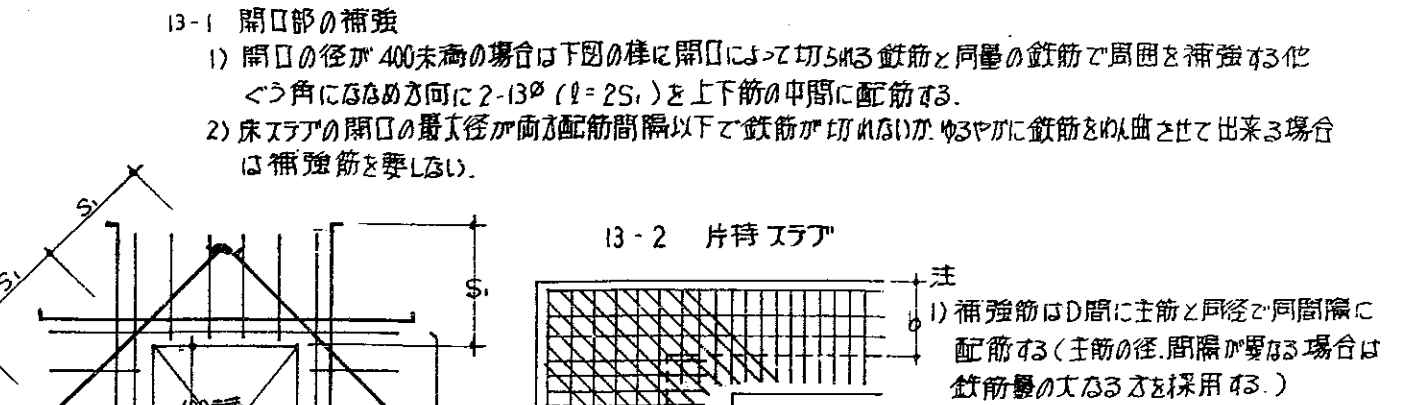
12-5 コングリート開口部切



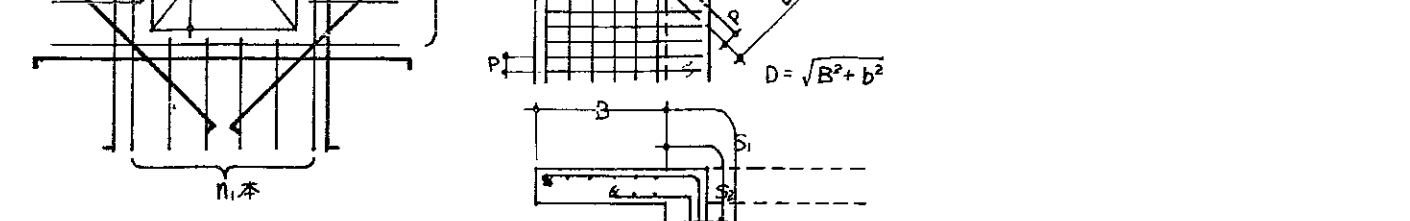
12-6 開口部の補強



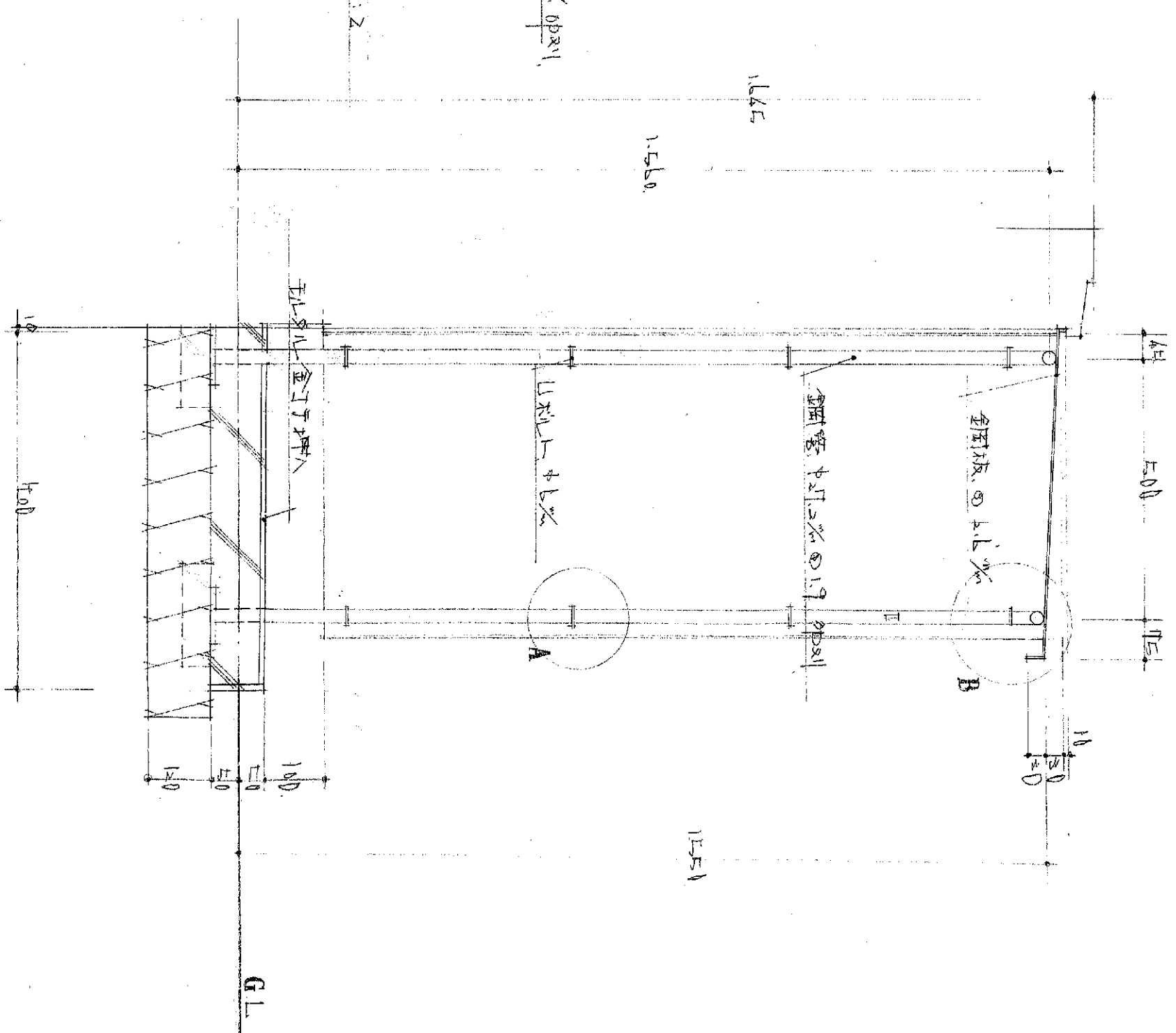
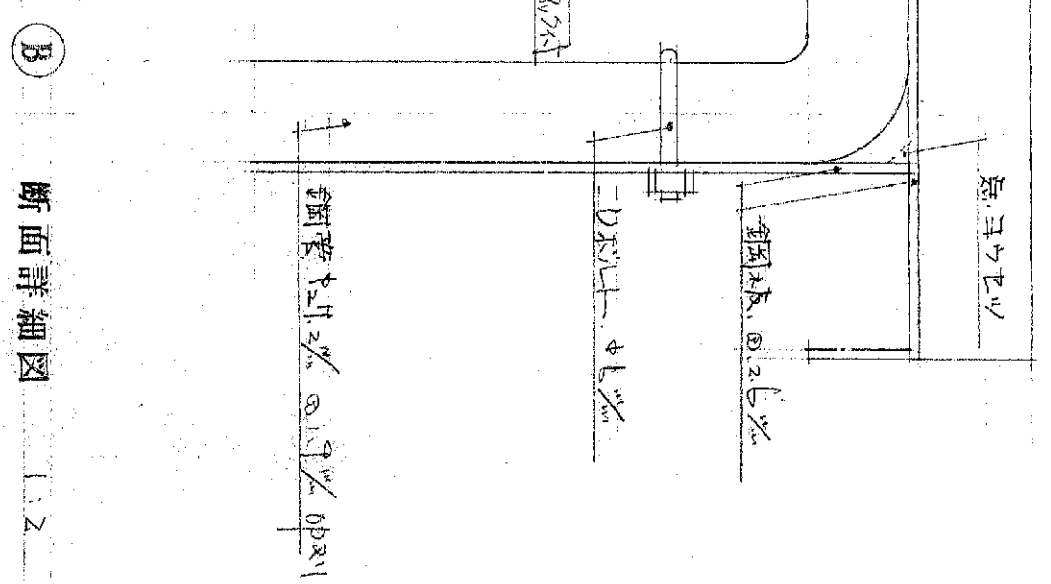
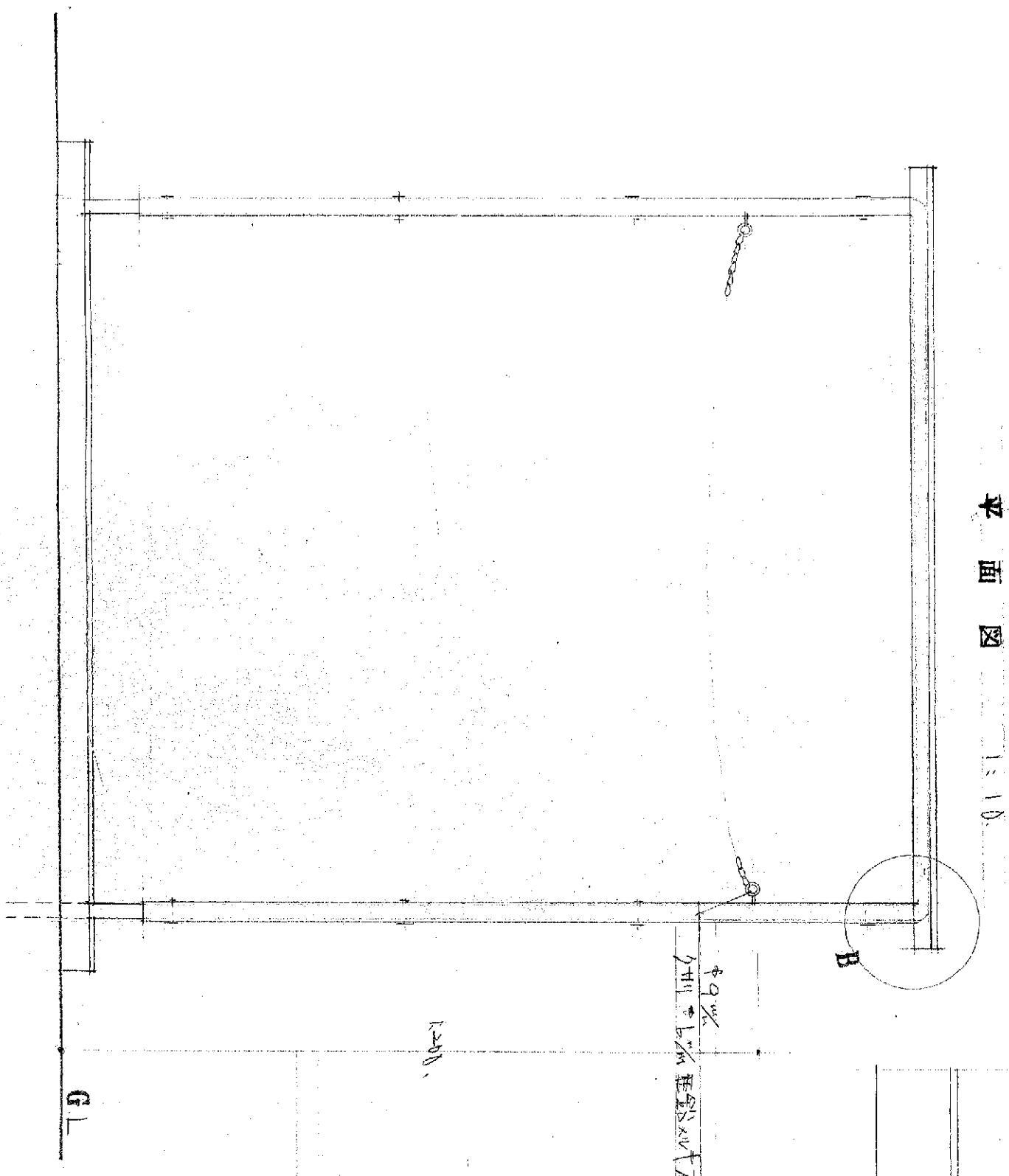
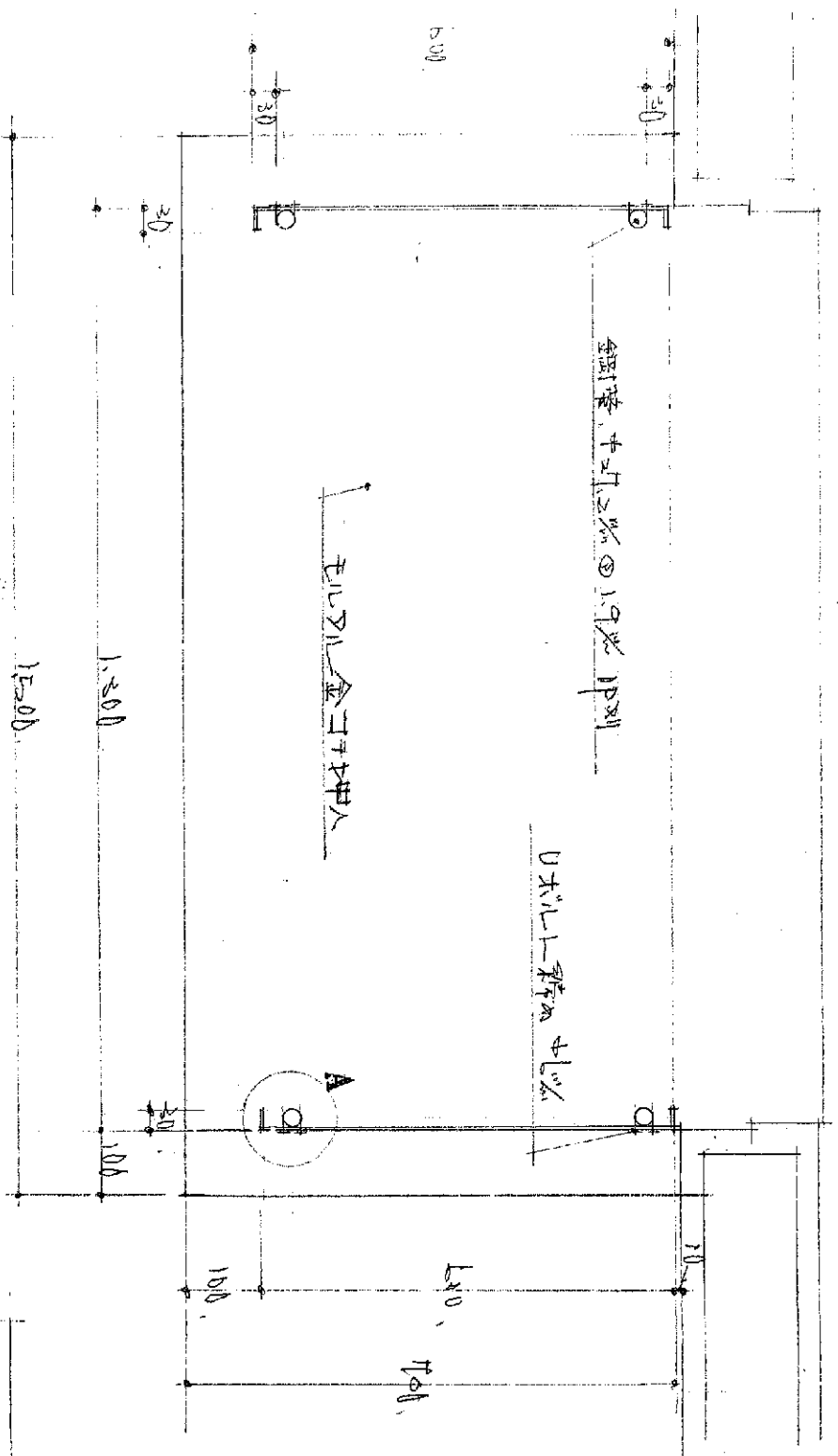
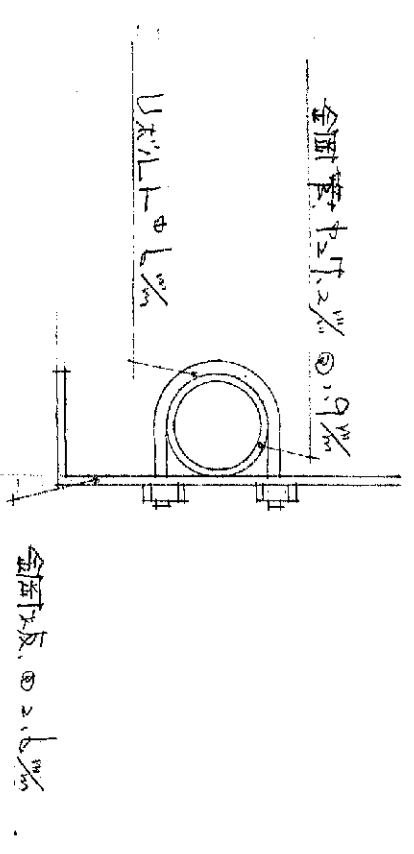
5.13 床版



13-1 開口部の補強



福山市建設局土木建築部建築課 福山市建設局土木建築部建築課			断面図 断面詳細図 断面図 断面詳細図	縮尺 1:2 1:10	1 1
----------------------------------	--	--	------------------------------	-------------------	--------



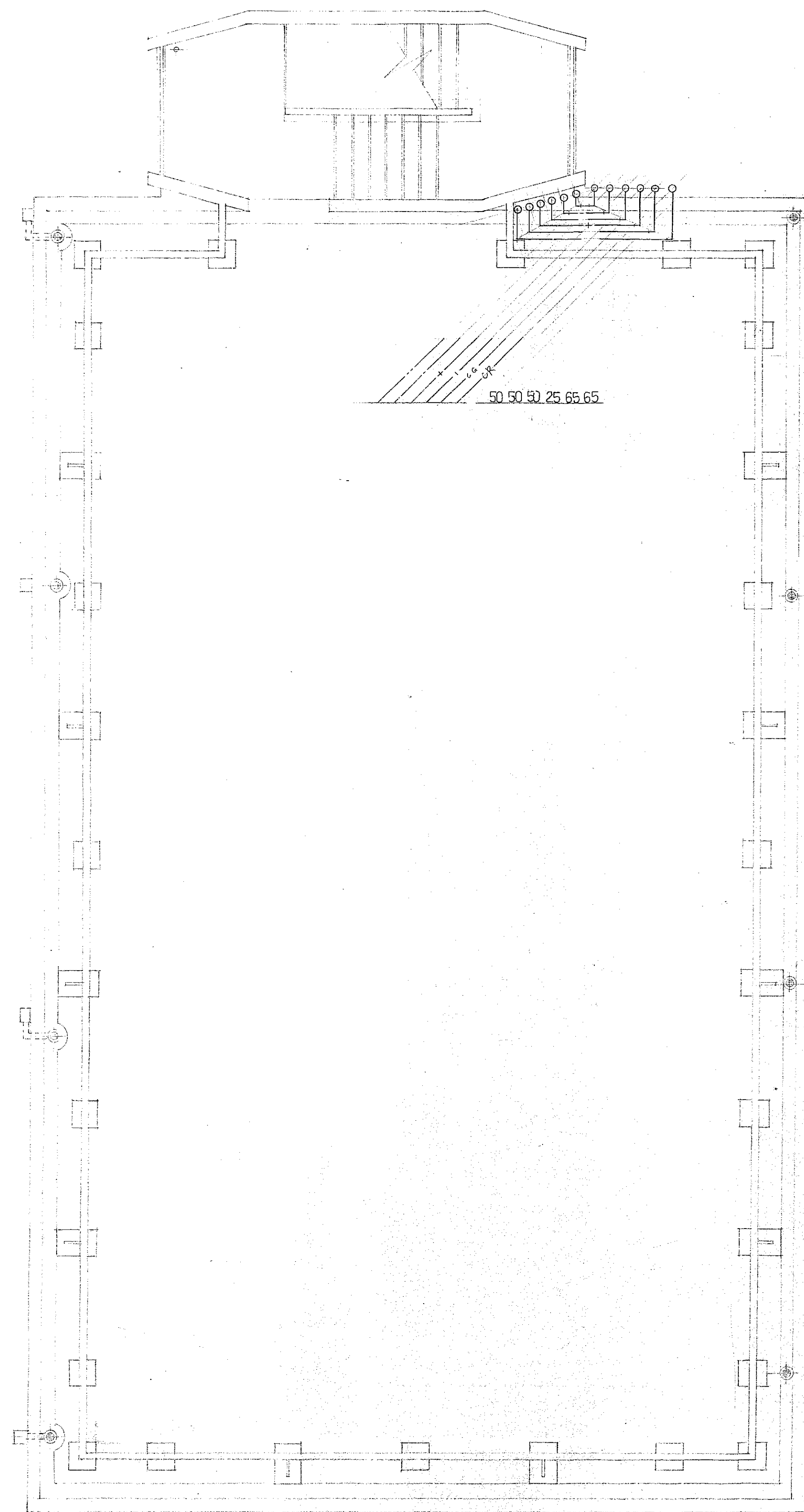
断面詳細図 1:10

立面図 1:10

施設名称 福山市西部清掃工場

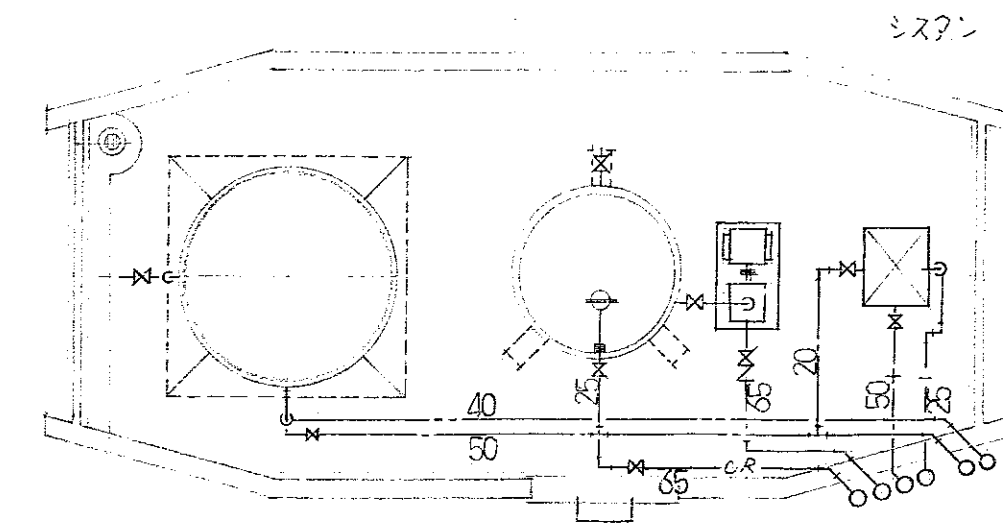
工事名称 管理棟給排水衛生設備工事

番号	図 面 名 称
1	図面リスト
2	特記仕様書・付近見取図・配置図
3	1・2階配管平面図
4	屋階配管系統図・配管平面詳細図
5	浄化槽断面図
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	



平面詳細図 1:50

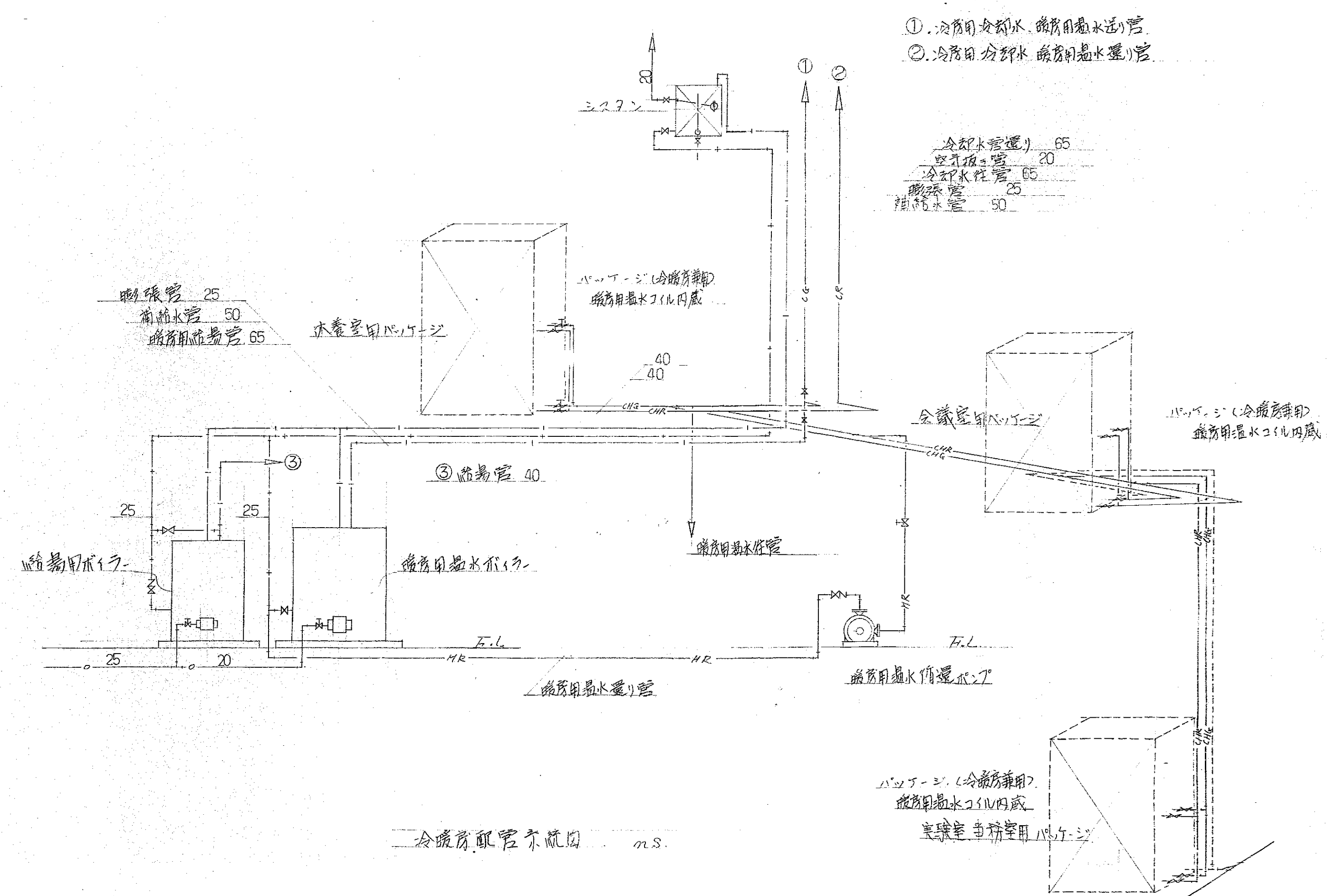
高床水槽
2,000l
回用装置



1-1:797- (給排水) -
自然配分 20名用
給排水管
65 x 280/400 x 280 x 3.75 x

下上配分 65 2.5
50 2.5
25 1.5
20 1.5
下上配分 65 1.5
下上配分 25 20 各1組

平面詳細図 1:50

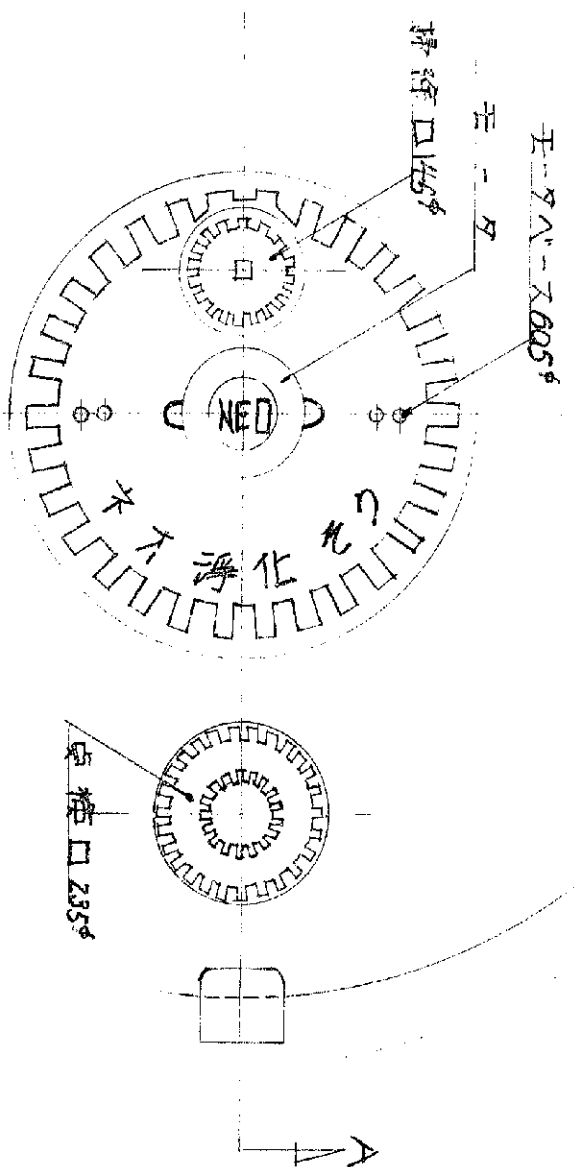


①. 冷房用冷却水 暖房用温水送り管
②. 冷房用冷却水 暖房用温水戻り管

冷却水管 65
配分管 20
冷却水管 65
配分管 20
配分管 50

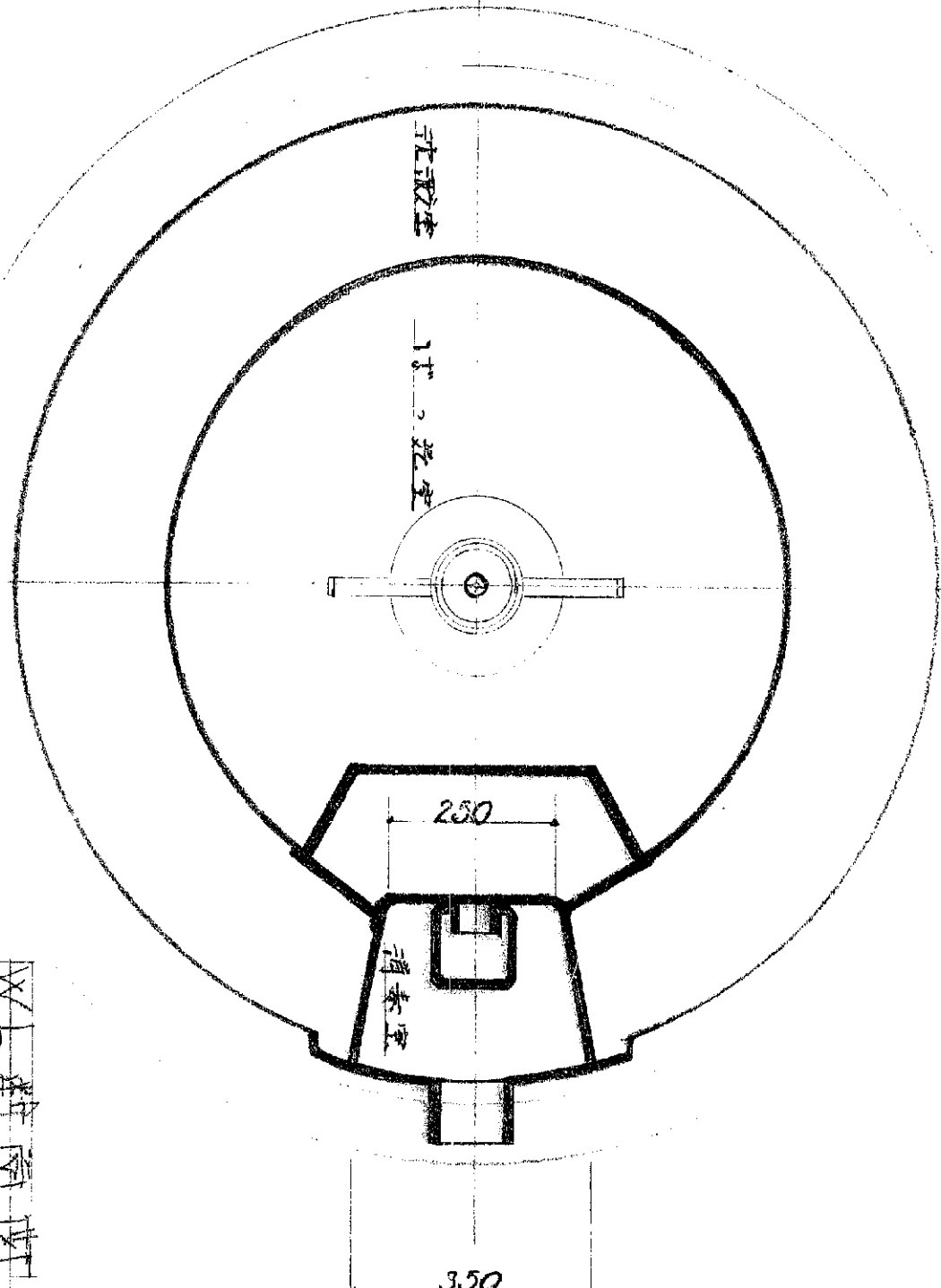
冷暖房配管不図 m.s.

福山市建設局管理棟新築工事		図
福山市建設局管理棟新築工事		図
図	図	図
図	図	図
福山市建設局土木建築課		図

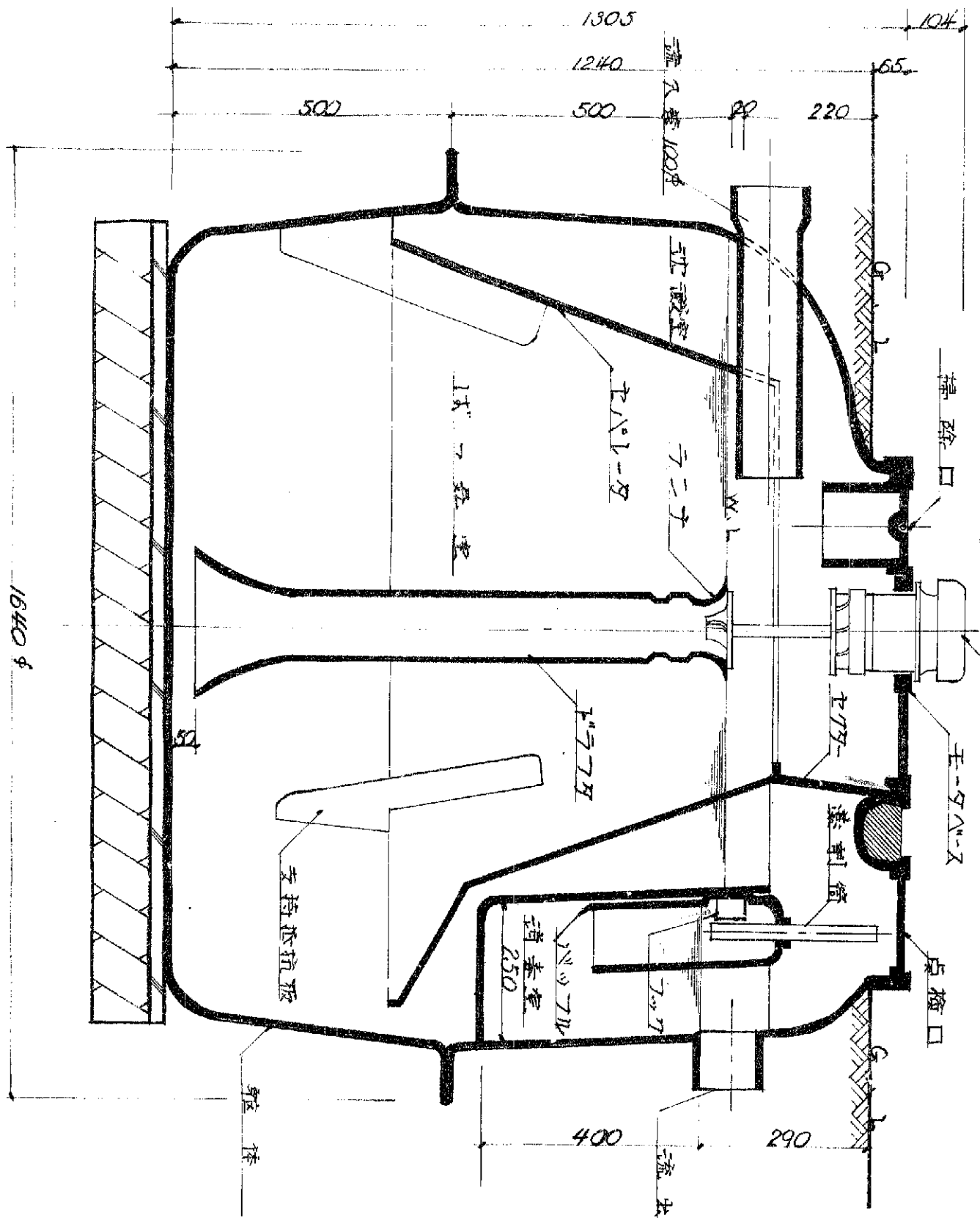


上面図

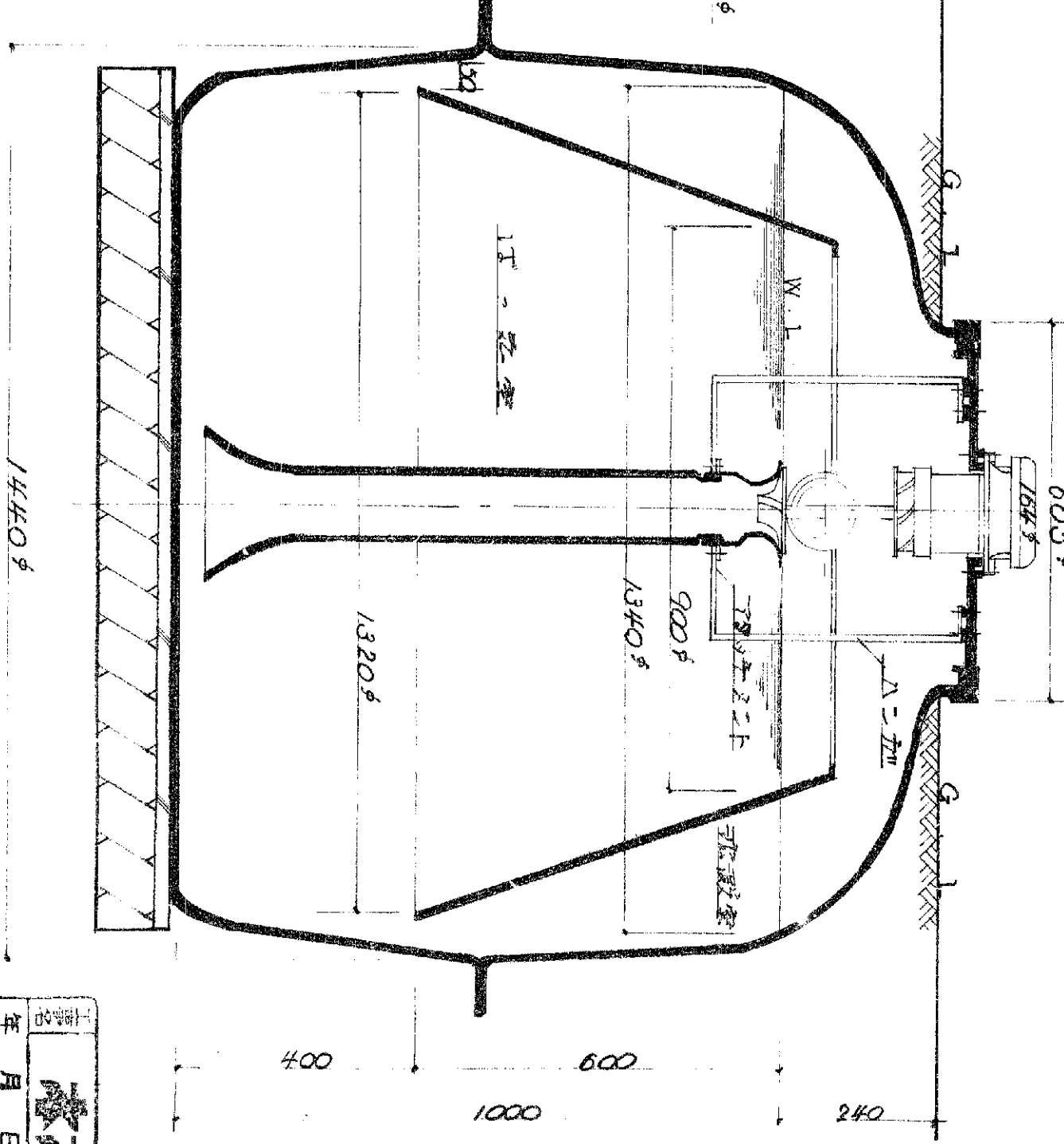
上面断面図



水浄化装置AR15型仕様書 (強化プラスチック製) FRP製			
総容積	① $2.05 \times 10.71^2 + 0.67^2 + 0.71 \times 0.67$	1.515	
消毒室	② $0.15 \times 0.4 \times \frac{0.35 \times 0.25}{2}$	0.030	
1st 反応室	③ $3.6 \times 10.66^2 + 0.45^2 + 0.16 \times 0.45$	0.587	
	④ $0.4 \times 10.71^2 + 0.67^2 + 0.71 \times 0.67$	0.576	
	⑤	1.183	
総容積	① - (③ + ⑤)	0.305	
図番	E-3004		



A-A 断面図



B-B 断面図

年	月	日	図	名	図	名	図	名	図	名
1972	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

名称	水浄化装置	図名	AR 15
年月日	1972.10.10	設計	
縮尺	1:10	製図	
資料	西原環境衛生研究所	校図	
		承認	
		図番	E-3004

施設名称 福山市西部清掃工場

工事名称 管理棟電気設備工事

番号	図 面 名 称
1	図面リスト
2	特記仕様書・配置図
3	電灯コンセント設備
4	動力放送設備
5	火災報知設備 配線図
6	火災報知設備 (上部)
7	火災報知設備 (下部)
8	火災報知設備 系統図
9	水銀灯配置図
1 0	
1 1	
1 2	
1 3	
1 4	
1 5	
1 6	
1 7	
1 8	
1 9	
2 0	

特記仕様

- 1 工事名称 福山市西郵便局和工場新築に伴う電気設備工事
- 2 工事場所 福山市赤坂町
- 3 建築物概要
- 4 工事期間 自昭和 年 月 日、至昭和 年 月 日
- 5 一般事項

本工事は電気設備技術基準、中国電力内線工事規定、當選課の通仕様素、設計図特記仕様書に準拠し、工事は完全に施工するものとする。本工事職員は選内会社への必要の手続きをすべて完了し、工事完了と同時に使用出来る様、一切の手続きを代行する。又工事完了後満1年以内に施工の不具合又は材料器具の不具合に基き事故を生じた場合、損害者の費用をもって完全に修理又は不具合品を取替、補償をなすこと。設計図に明記する事項でも必要と認められたものは監督員の指示により施工するものとする。工事完了後は各種試験成績表を提出する。

○ 電灯工工事設備工事

1. 本工事は別添設計図内にも電灯コンセント、換気扇の取付及び配線工事と、配線管、配線ケーブル、電線管を使用すること。
2. 電線電圧は単相2線式100Vとする。

7 照明器具取付工事

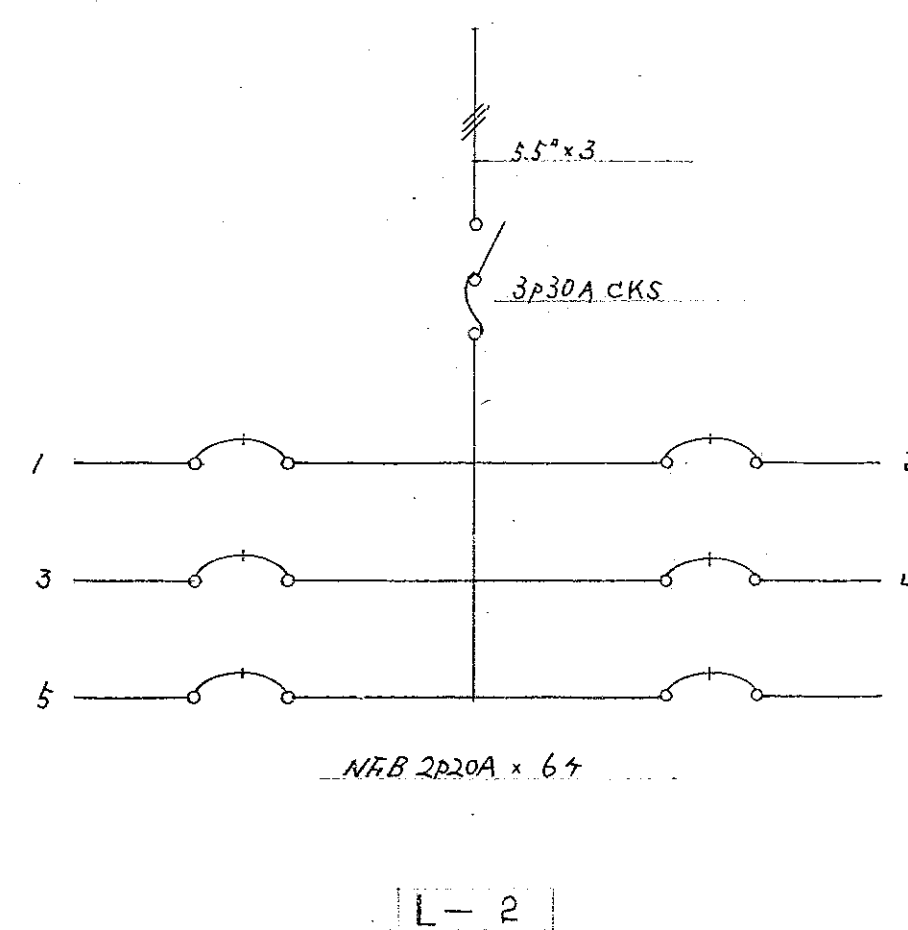
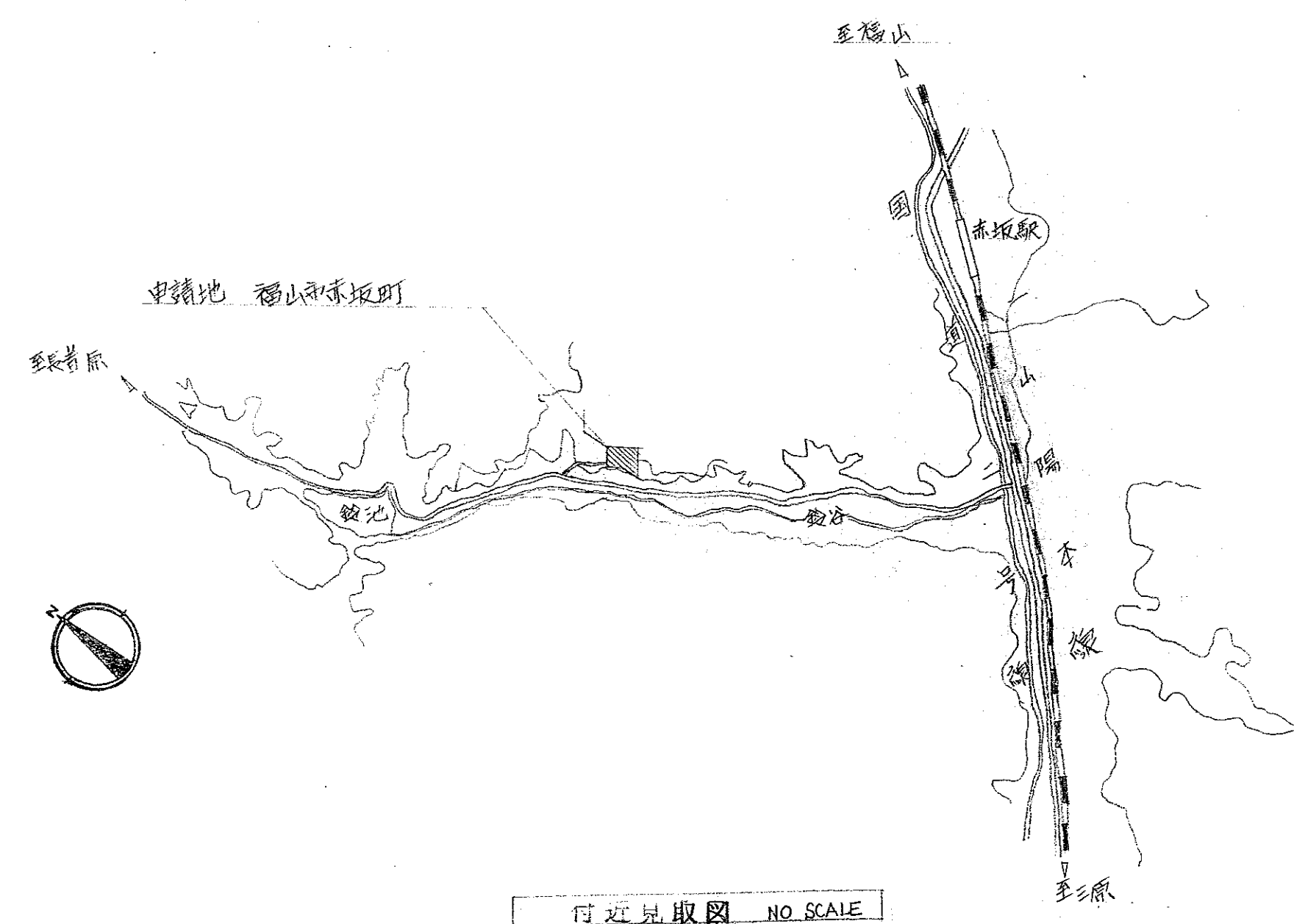
1. 本工事付別敘設計図の通入配線配管取付工事を行う。
2. 照明器具付別敘設計図第四の通入格下三菱東芝又はそれと同等品以上とする。

8 動力設備工事

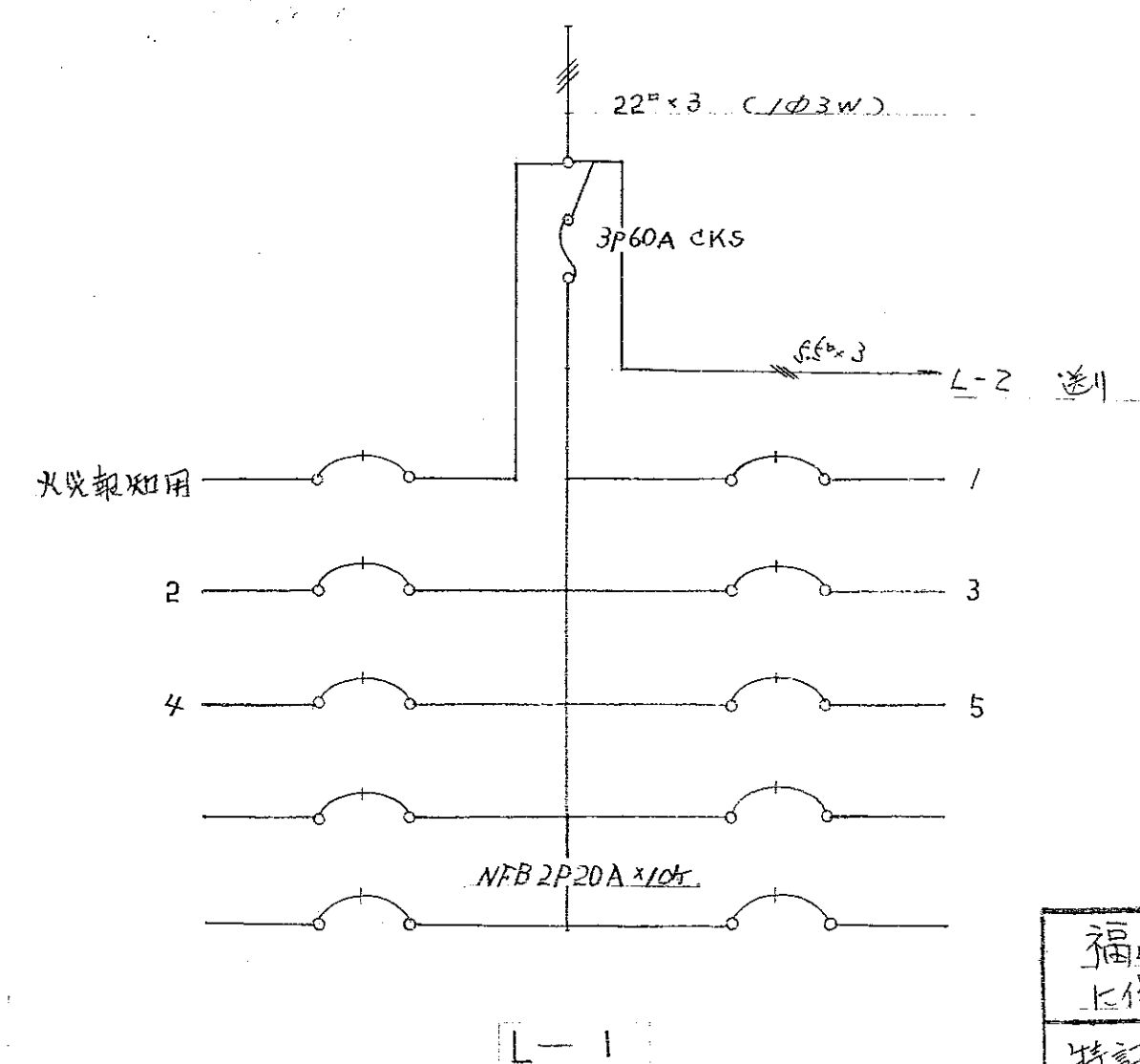
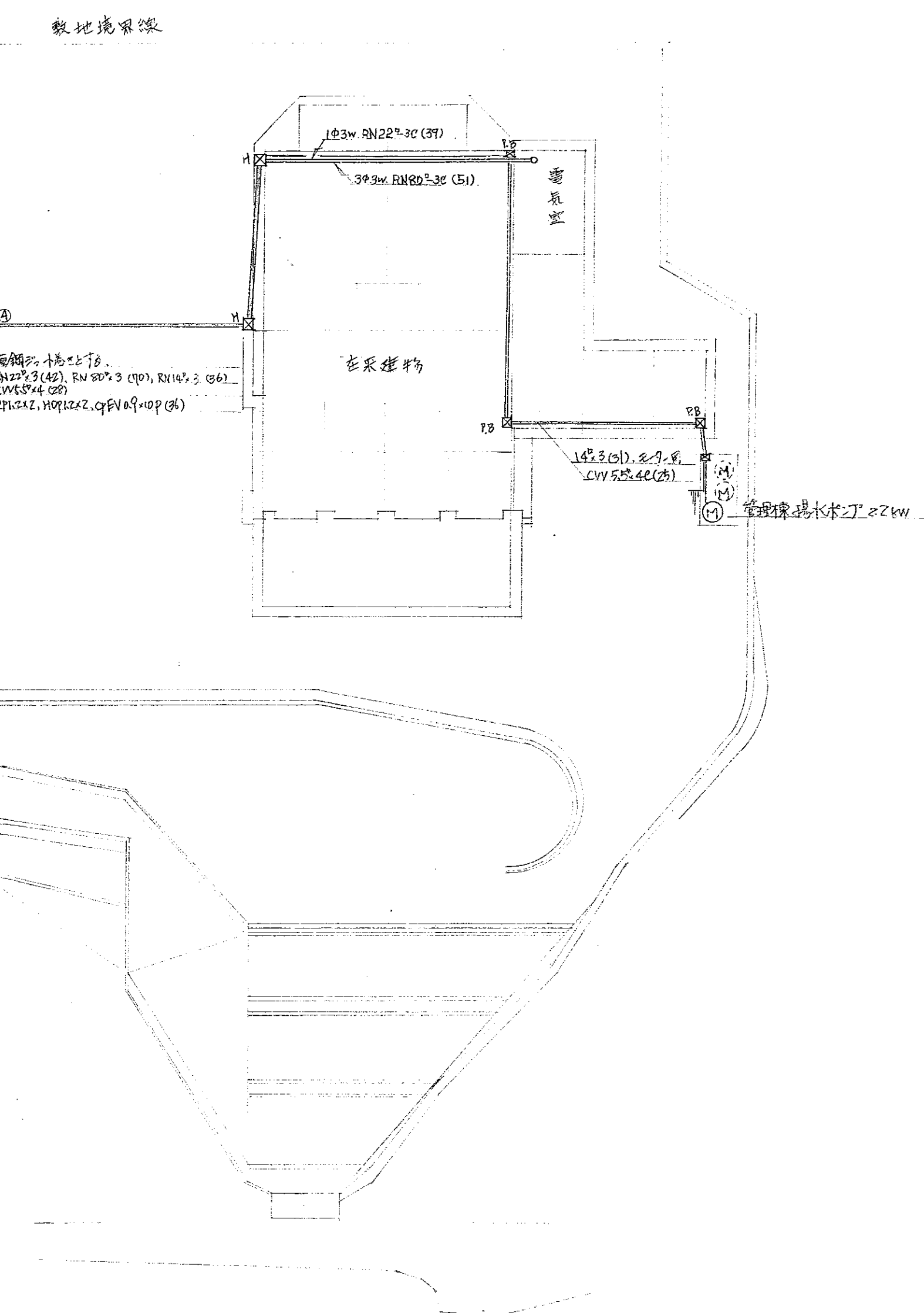
1. 本工事は別枚設計図の通り配線配管工事を行う。
2. 電線電圧は3相3線式200Vとする。
3. パッケージ用表示ランプはクーリングタワー及び冷却水ポンプが作動している事を示すものであり、動力盤の ON 鈕を押すとランプが点灯する構造とする事。

9 火災報知設備工事

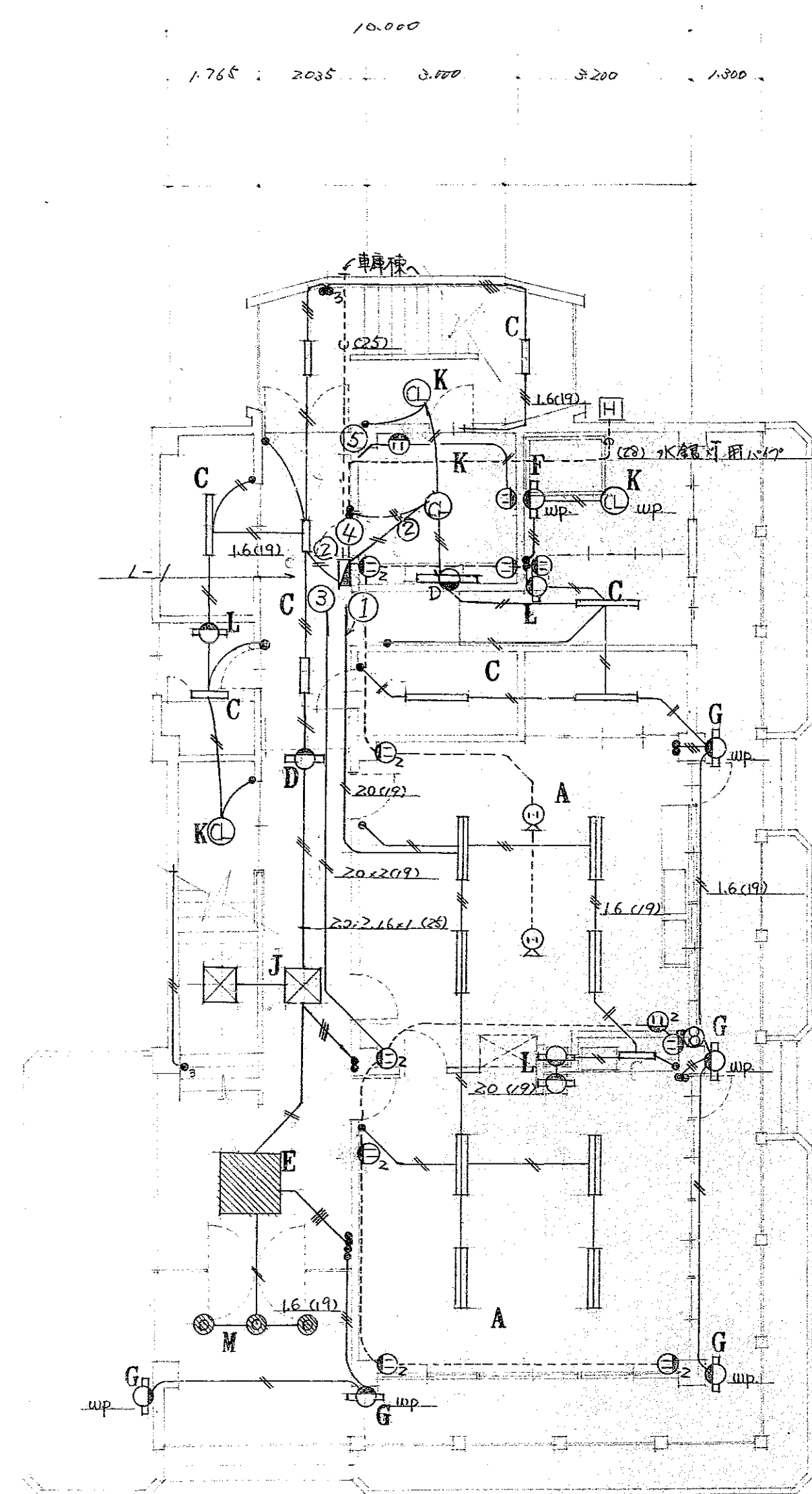
1. 本工事は別紙設計図の通り、配線配管工事を行う。
2. 本工事は国家消防庁告示の火災予防条例により施工する事。



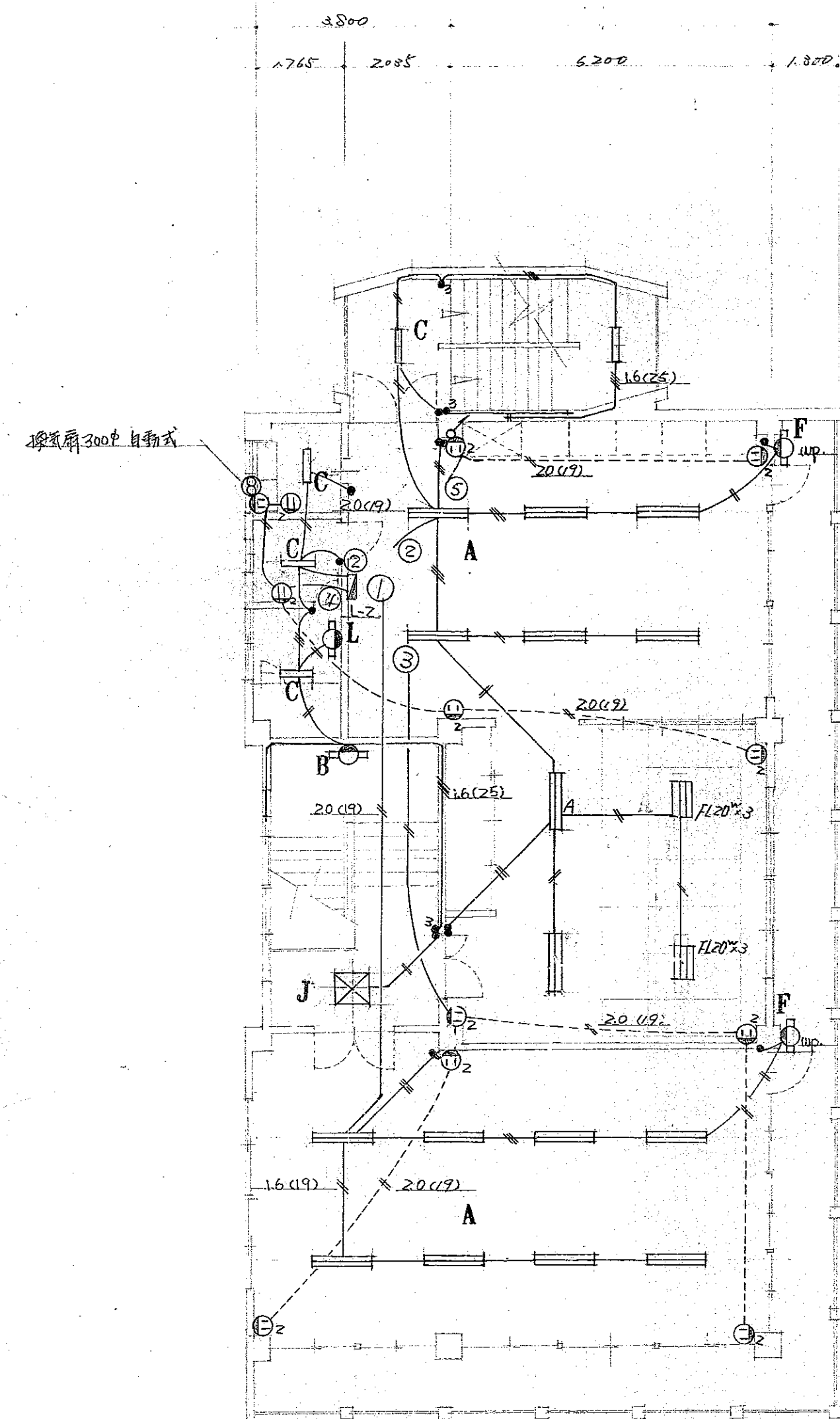
配置図 1:500



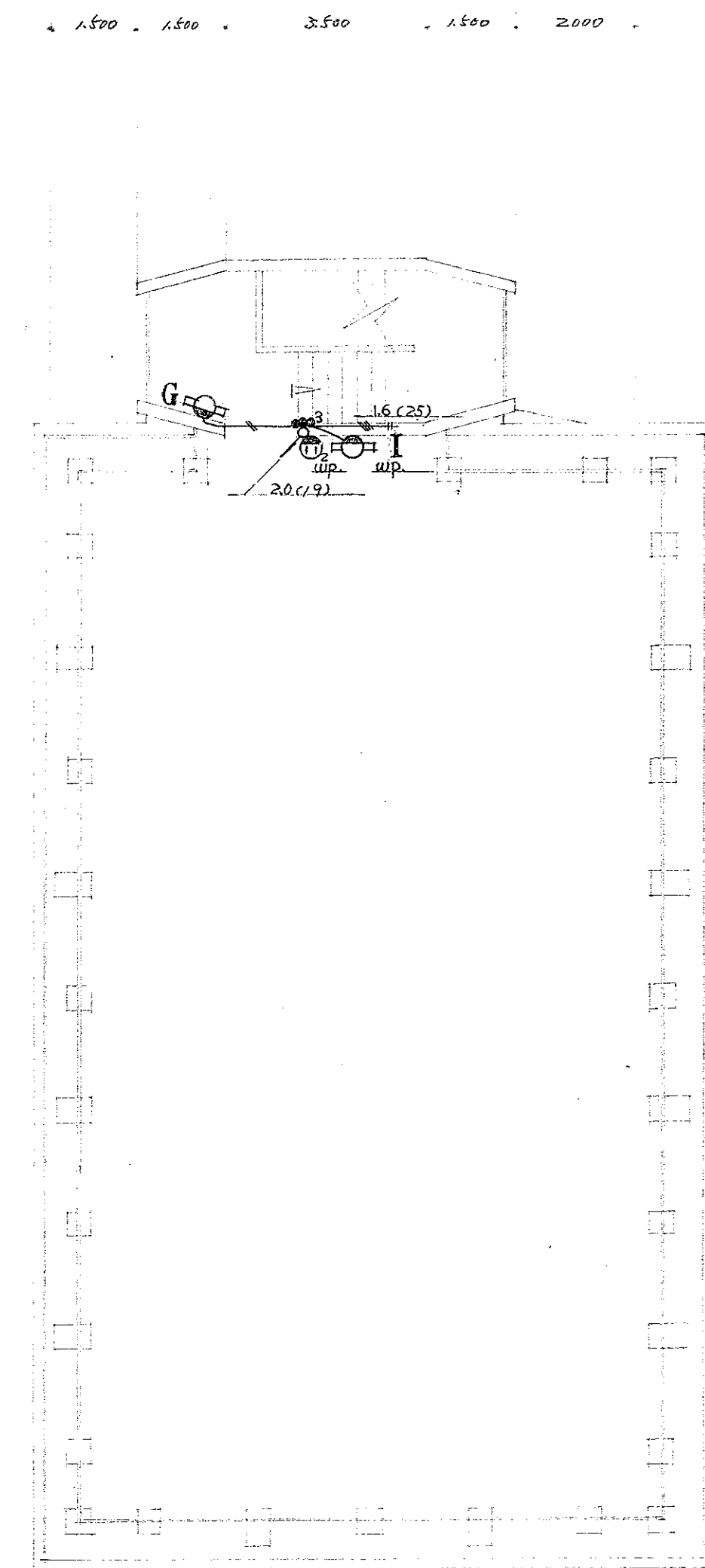
福山市西部焼却場管理棟新築 上付の電気設備工事		1
特記仕様、配置図	縮尺	
年 月 日 福山市建設局土木建築部建築課	係長 係長 課長	

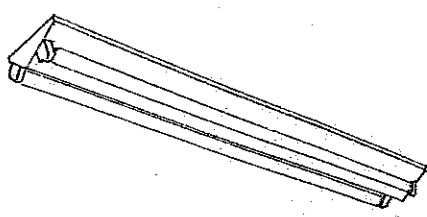
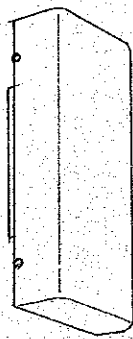
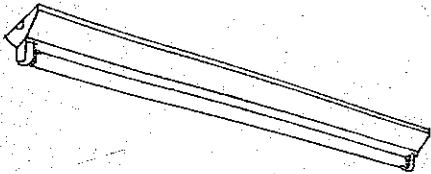
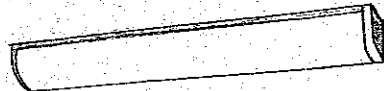
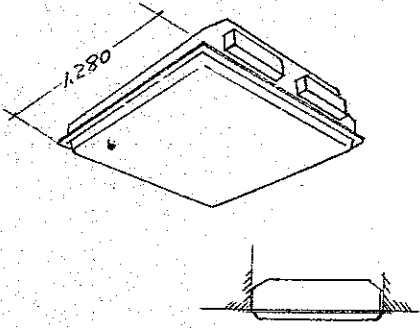
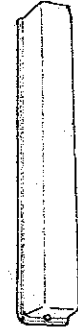
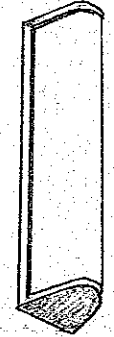
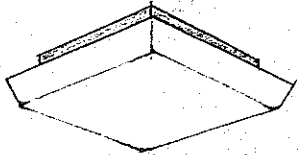
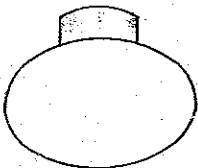
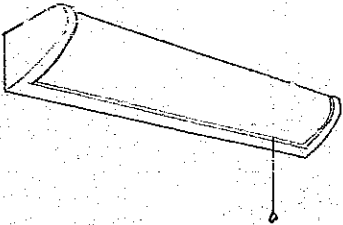
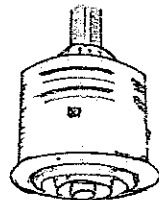


1 階平面図



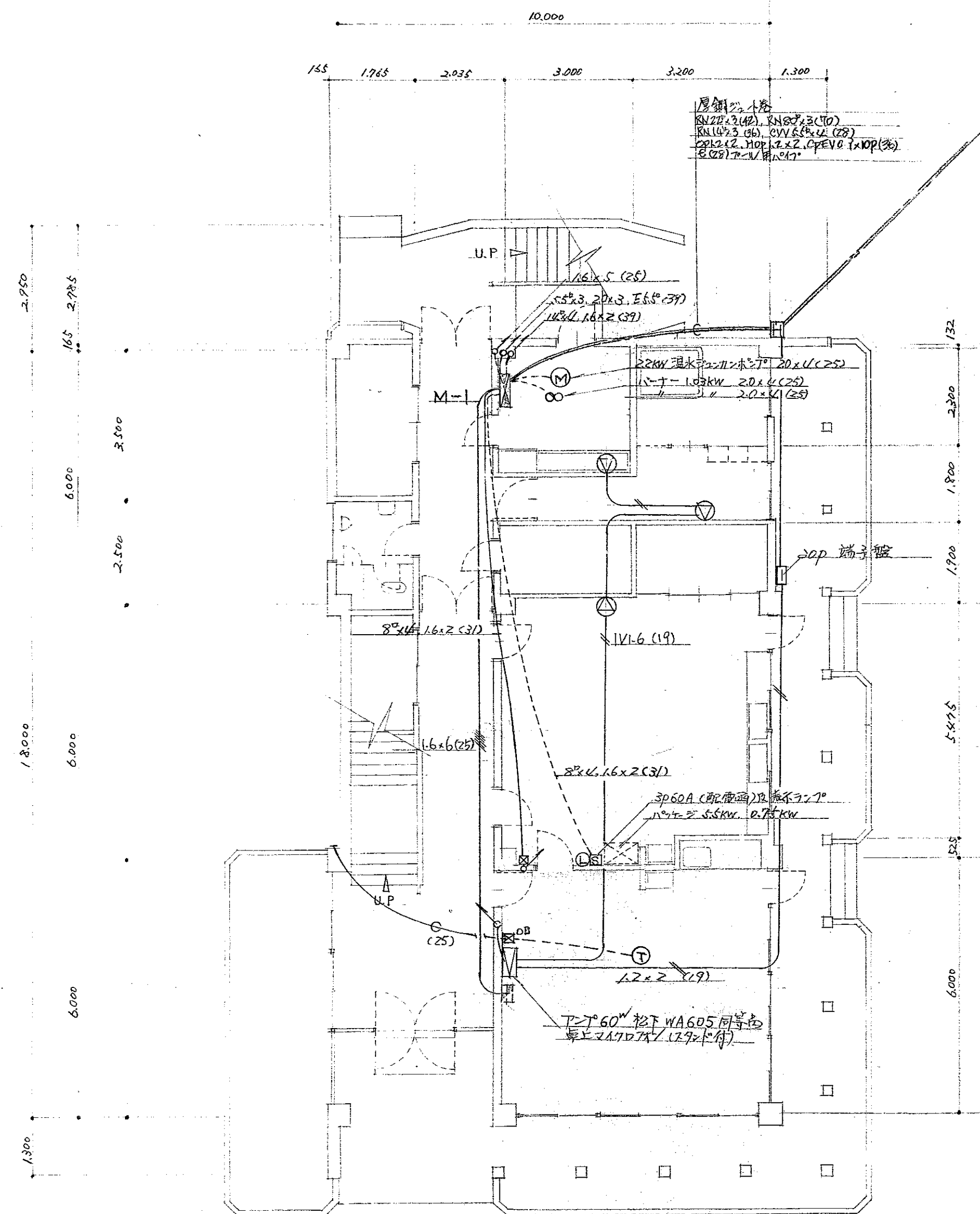
2 階平面図



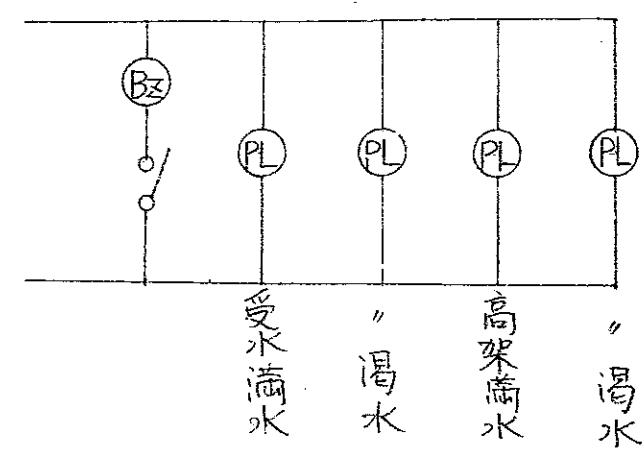
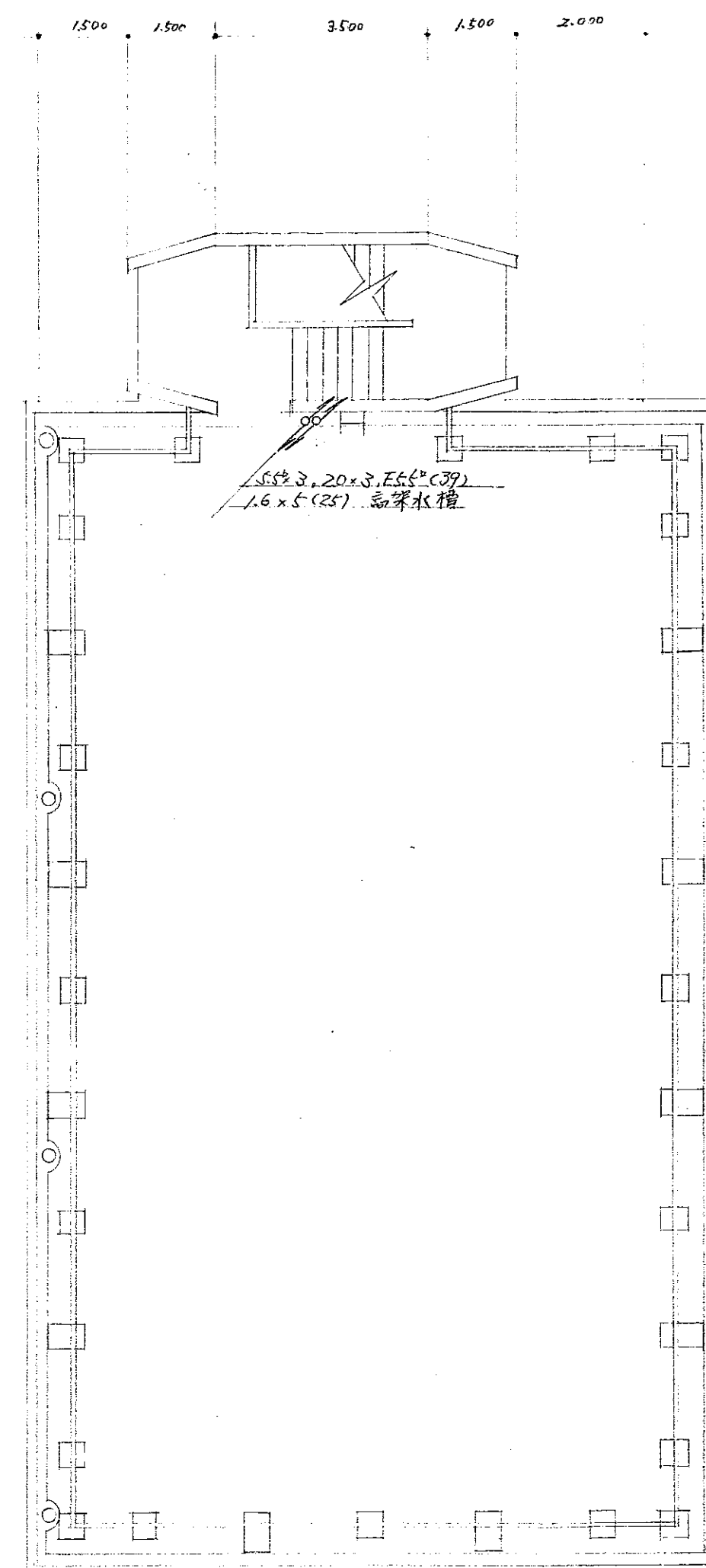
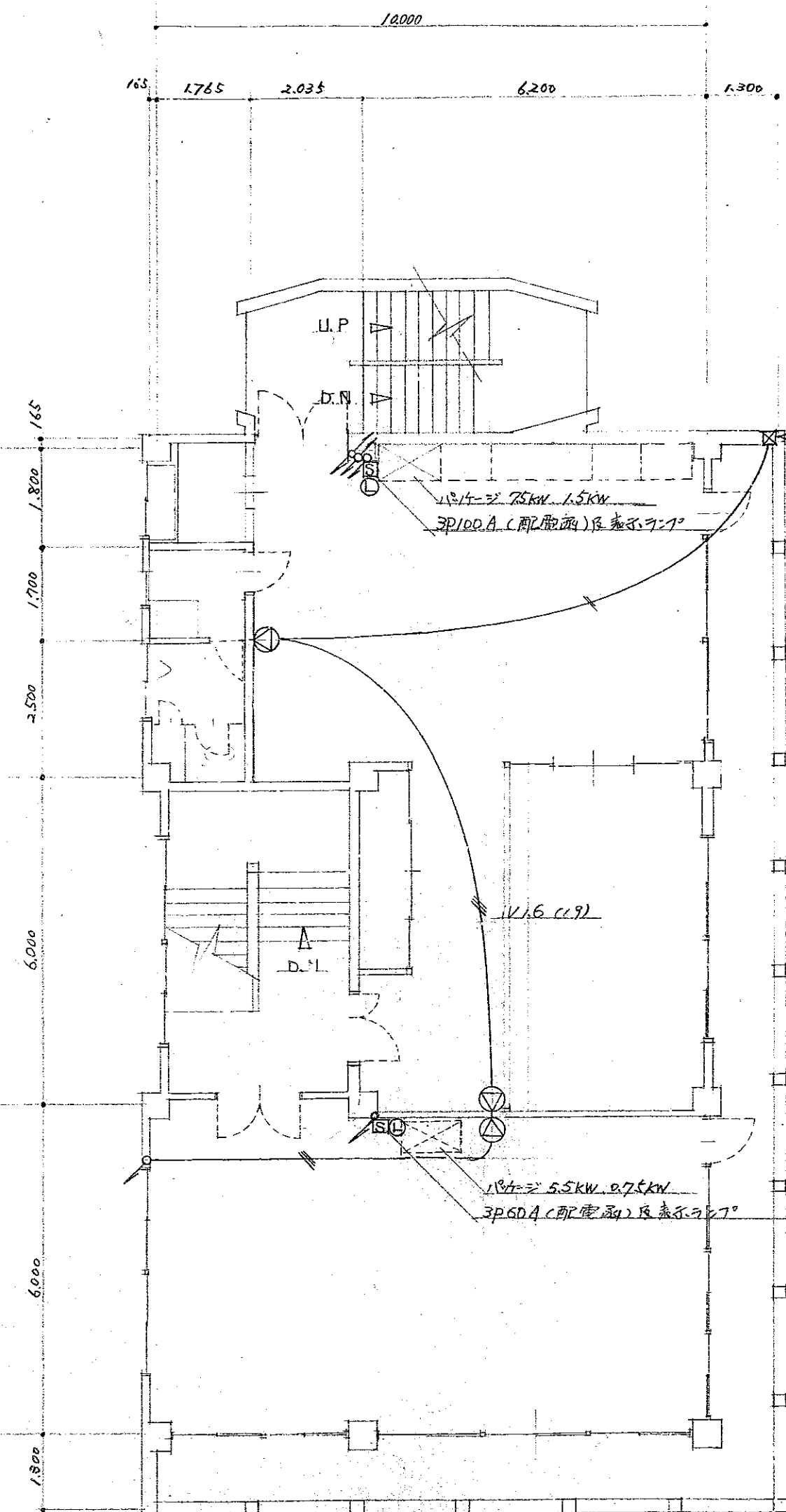
A		B		C		D		E		F	
FL40 ^W ×2 (V型)	24 台	FL20 ^W ×2 (ウエ-ル)	1 台	FL20 ^W ×1 (V型) FL40 ^W ×1 (V型)	1/1 台 5 台	FL30 ^W ×1 (コ-ナ-ライフ)	1 台	FL40 ^W ×6 (埋込)	1 台	FL20 ^W ×1 (防水ウエ-ル)	3 台
G		I		J		K		L		M	
FL20 ^W ×1 (防水ウエ-ル)	6 台	FL20 ^W ×1 (防水ウエ-ル)	1 台	FL20 ^W ×4 (通付カバー)	3 台	FL60 ^W (防塵)	2 台 2 台	FL15 ^W ×1 (手洗灯)	5 台	EL60 ^W (9 ^W ソケット)	3 台

福山市西部焼却場管理棟新築 に伴う電気設備工事		2
電気設備工事	縮尺	
46 年 10 月 日		
福山市建設局土木建築部建築課		

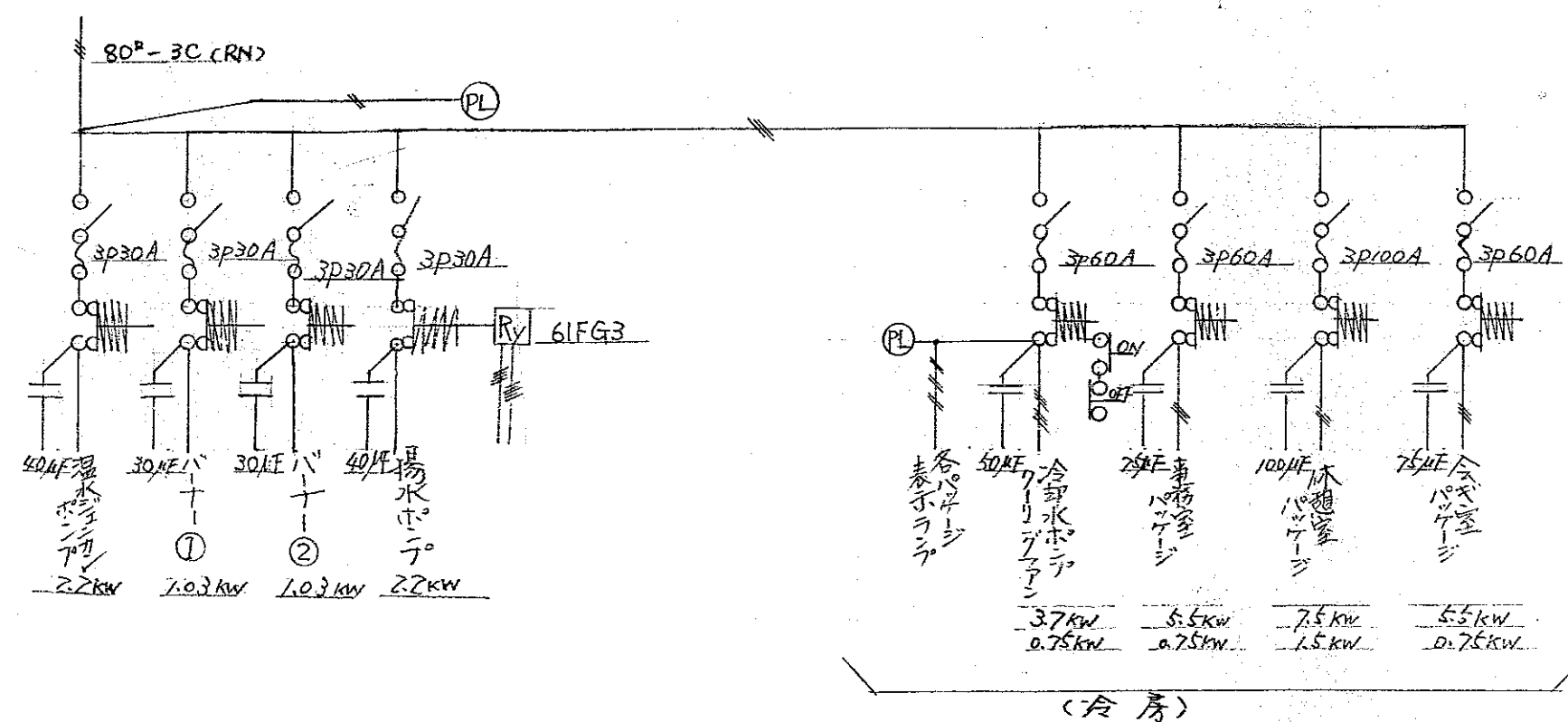
1 階平面図



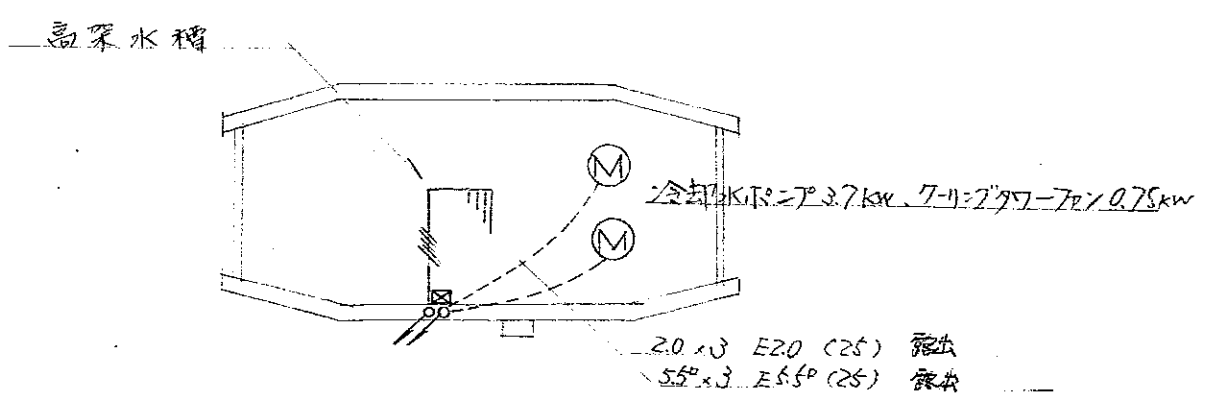
2階平面図

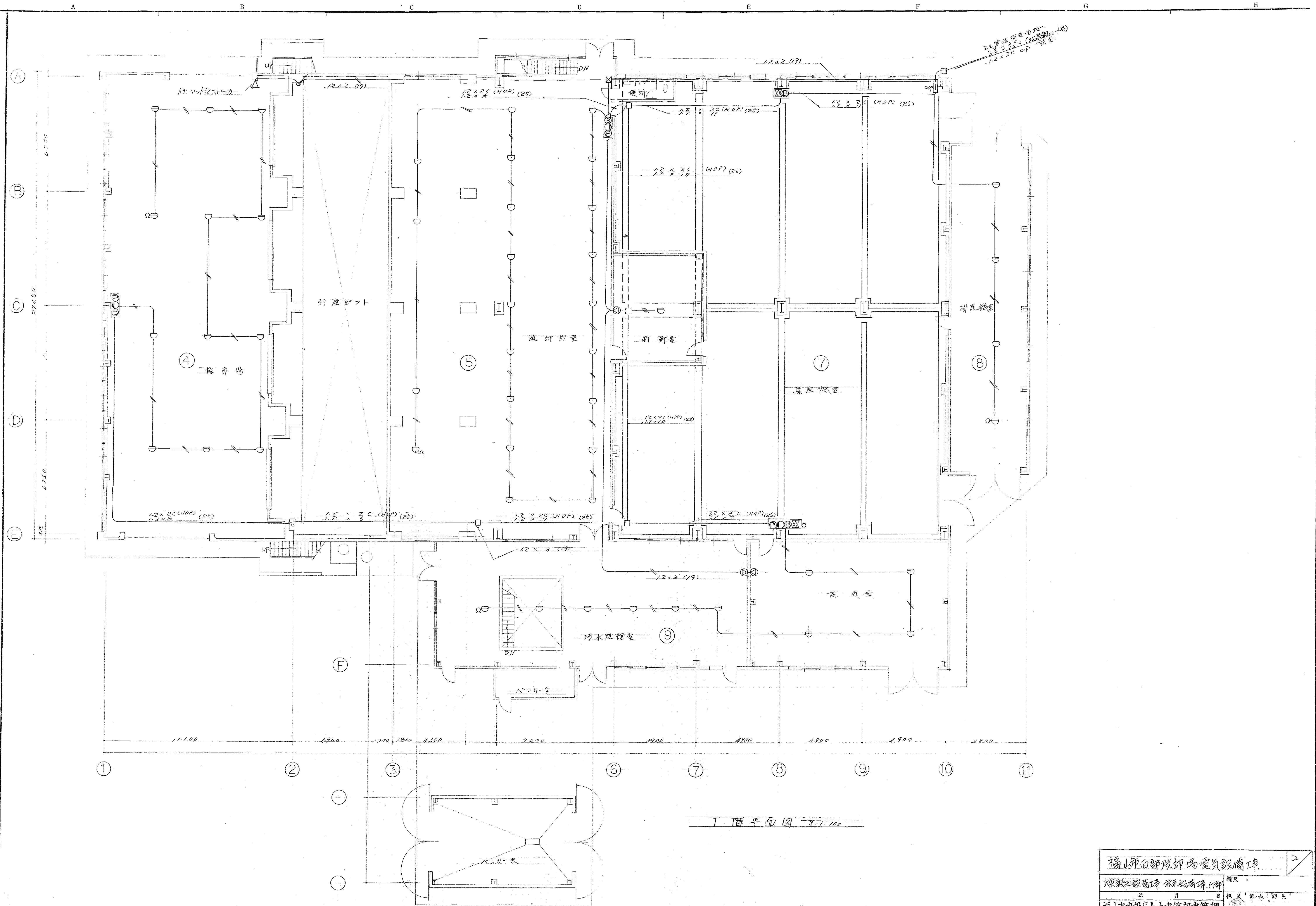


警報盤



(冷房)





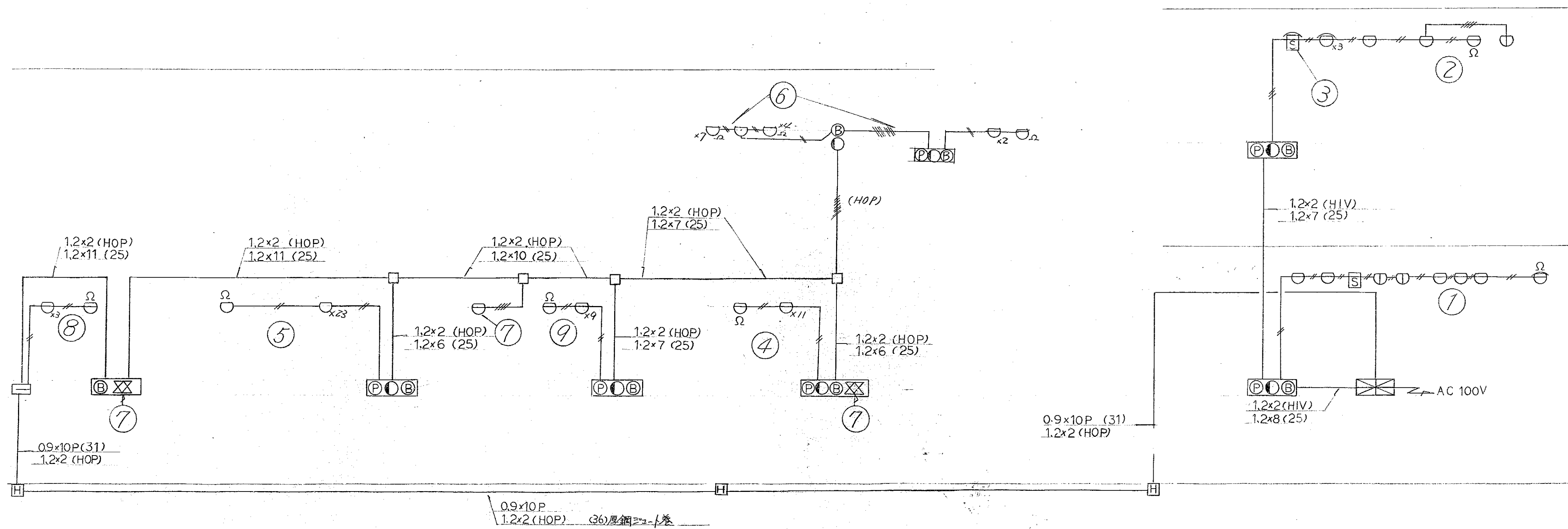
福山市白部焼却場電気設備工事		2
設計者 福山市建設局土木建築課	縮尺	
年月日	概算 概算 概算	
福山市建設局土木建築課建築課		

記号	名称	記号	事
⊗	受信機 P型1級100w		
⊙	受信機	1級	
⊖	差動式入木型感知器	2種	
⊖	" (埋込型)	2種	
⊖	付外式煙感知器	2種	
⊖	" (埋込型)	2種	
⊖	定温式入木型感知器	120℃ 1種	
⊖	" (防水型)	1種	
⊖	ヘル	150mm	
⊖	ジョイントボックス		
⊖	配管立上/立下		
⊖	差動式分佈型感知器	2種	
⊖	総合盤		
○	表示灯	35V	
⊖	ハンドホールド		

1.2x2 (19)
 # 1.2x3 (19)
 # 1.2x4 (19)
 # 1.2x4c (19)

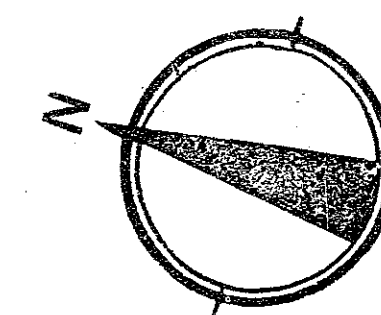
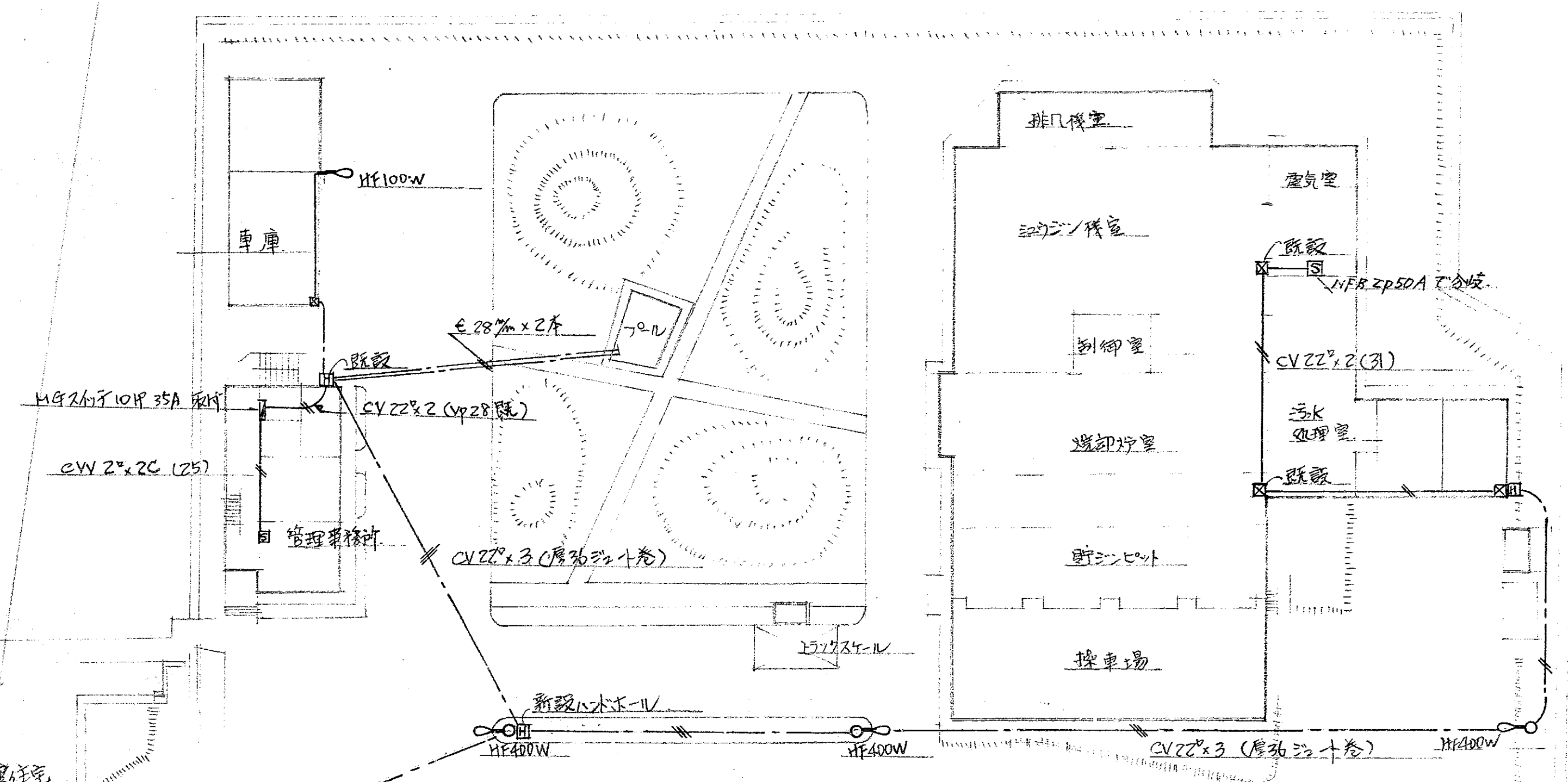
① HOP電線は、耐熱300℃、消防庁認定品とする。

凡 例



系統図

福山市消防局 消防設備工事		3
火災報知設備 (系統図)		縮尺
年	月	日
福山市建設局土木建築部建築課		検印 検長 課長



(注) 本工事の管層は電気室より分岐し地下ケーブル配線とし厚鋼シールドの電線管に入線するものとする。
又焼却場へ至る道路にあてず管理住宅への引込み電柱を利用し架空配線とする。

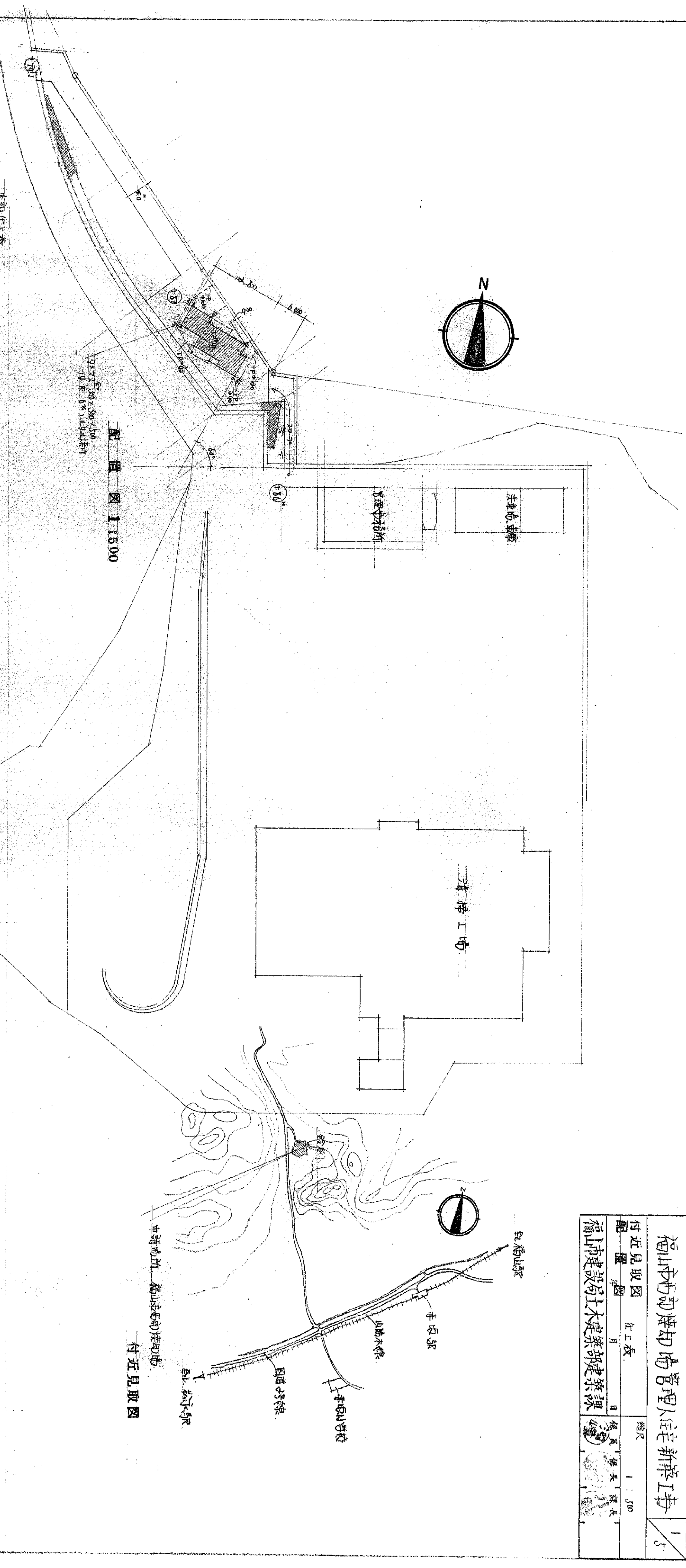
福山中西部燒却場水銀灯設置工事		4
	縮尺	
年 月 日	係 員	係 長
福山市建設局土木建築部建築課		

施設名称 福山市西部清掃工場管理人住宅

工事名称 新築工事

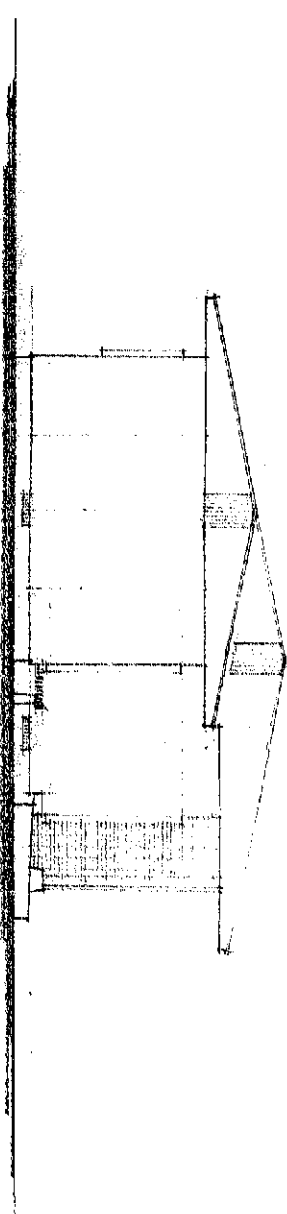
番号	図 面 名 称
1	図面リスト
2	付近見取図・配置図・仕上表
3	平面図・立面図
4	基礎伏図・床伏図・小屋伏図・天井伏図
5	平面詳細図
6	断面詳細図
7	プロパンガスボンベ庫 平面図。立面図
8	プロパンガスボンベ庫 平面・断面詳細図
9	
1 0	
1 1	
1 2	
1 3	
1 4	
1 5	
1 6	
1 7	
1 8	
1 9	
2 0	

付近見取図	地上表	縮尺	1 : 500
配一置一図	月	係員	係長
福山市建設局土木建築部建築課	日	係員	係長

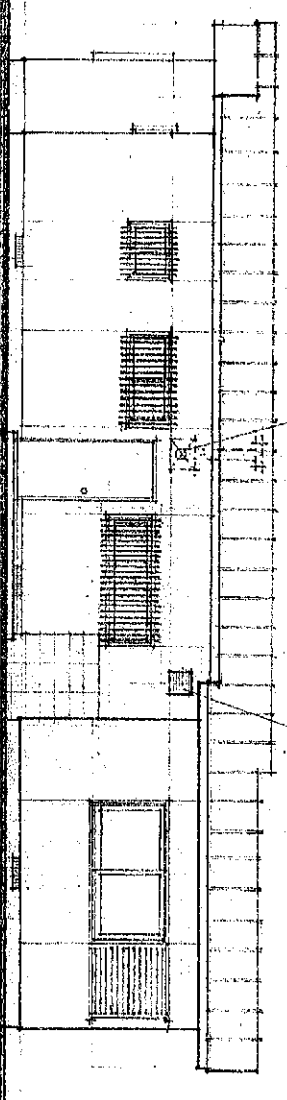


配置図 1:500

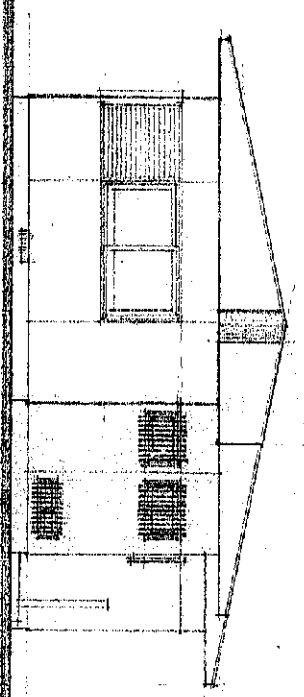
名称	構造	材料	仕様	数量	備考
基礎	コンクリート	鉄筋	2400mm x 2400mm	1基	基礎杭は、地盤調査の結果、2400mm x 2400mmの鉄筋コンクリート基礎杭を1基設置する。
柱	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	柱は、2400mm x 2400mmの鉄骨柱を1本設置する。
梁	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	梁は、2400mm x 2400mmの鉄骨梁を1本設置する。
床	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	床は、2400mm x 2400mmの鉄骨床を1本設置する。
壁	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	壁は、2400mm x 2400mmの鉄骨壁を1本設置する。
屋根	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	屋根は、2400mm x 2400mmの鉄骨屋根を1本設置する。
外装	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	外装は、2400mm x 2400mmの鉄骨外装を1本設置する。
内装	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	内装は、2400mm x 2400mmの鉄骨内装を1本設置する。
設備	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	設備は、2400mm x 2400mmの鉄骨設備を1本設置する。
その他	鉄骨	鉄骨	2400mm x 2400mm	1本	その他は、2400mm x 2400mmの鉄骨その他を1本設置する。



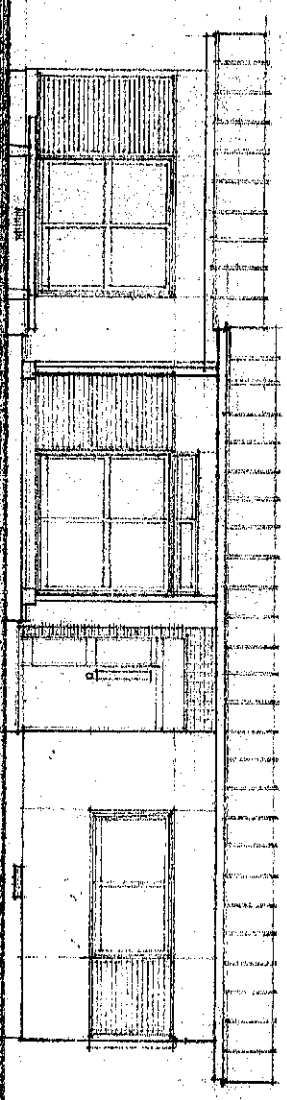
西立面图 1:100



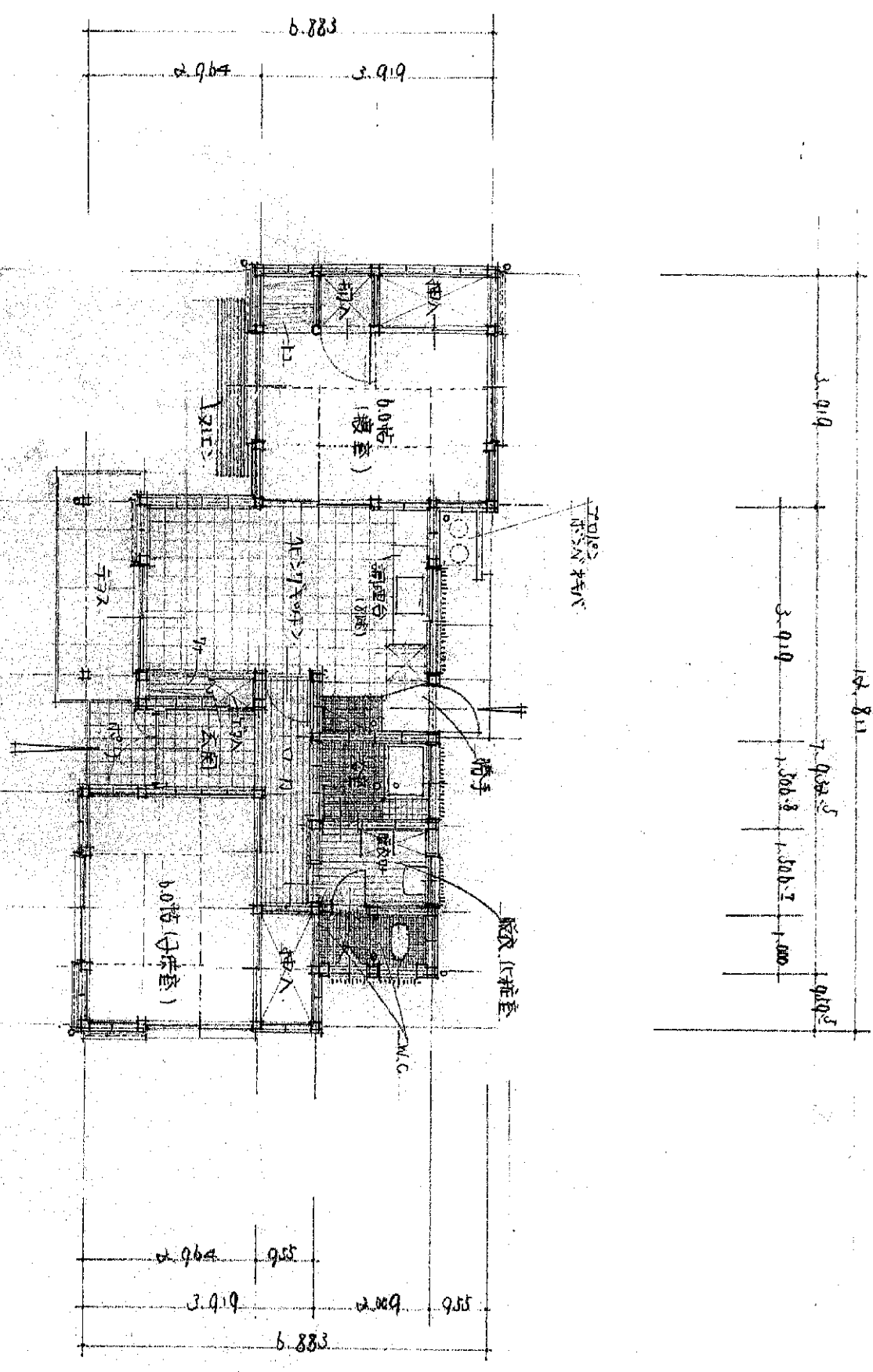
北立面图 1:100



东立面图 1:100



南立面图 1:100



平面图 1:100

建筑总长度	3.919 × 3.919	= 15.3586
建筑总宽度	3.919 × 3.919	= 15.3586
建筑总面积	3.919 × 3.919	= 15.3586
建筑总长度	3.919 × 3.919	= 15.3586
建筑总宽度	3.919 × 3.919	= 15.3586
建筑总面积	3.919 × 3.919	= 15.3586

福山市(市)建設局管理住宅新築工事		2/5
平面図	立面図	縮尺 1:100
福山市建設局土木建築部建築課	設計 監理 施工	

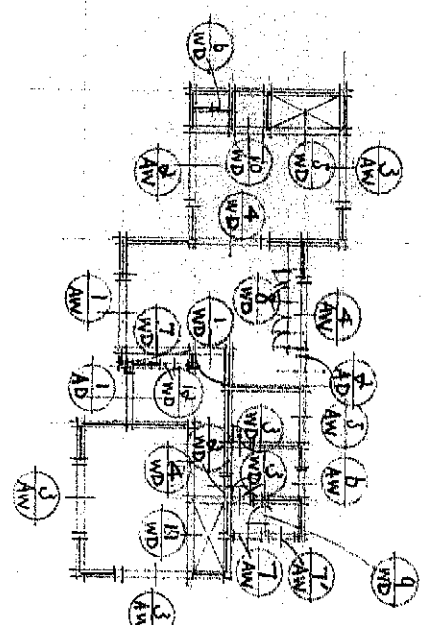


圖 1 自來水



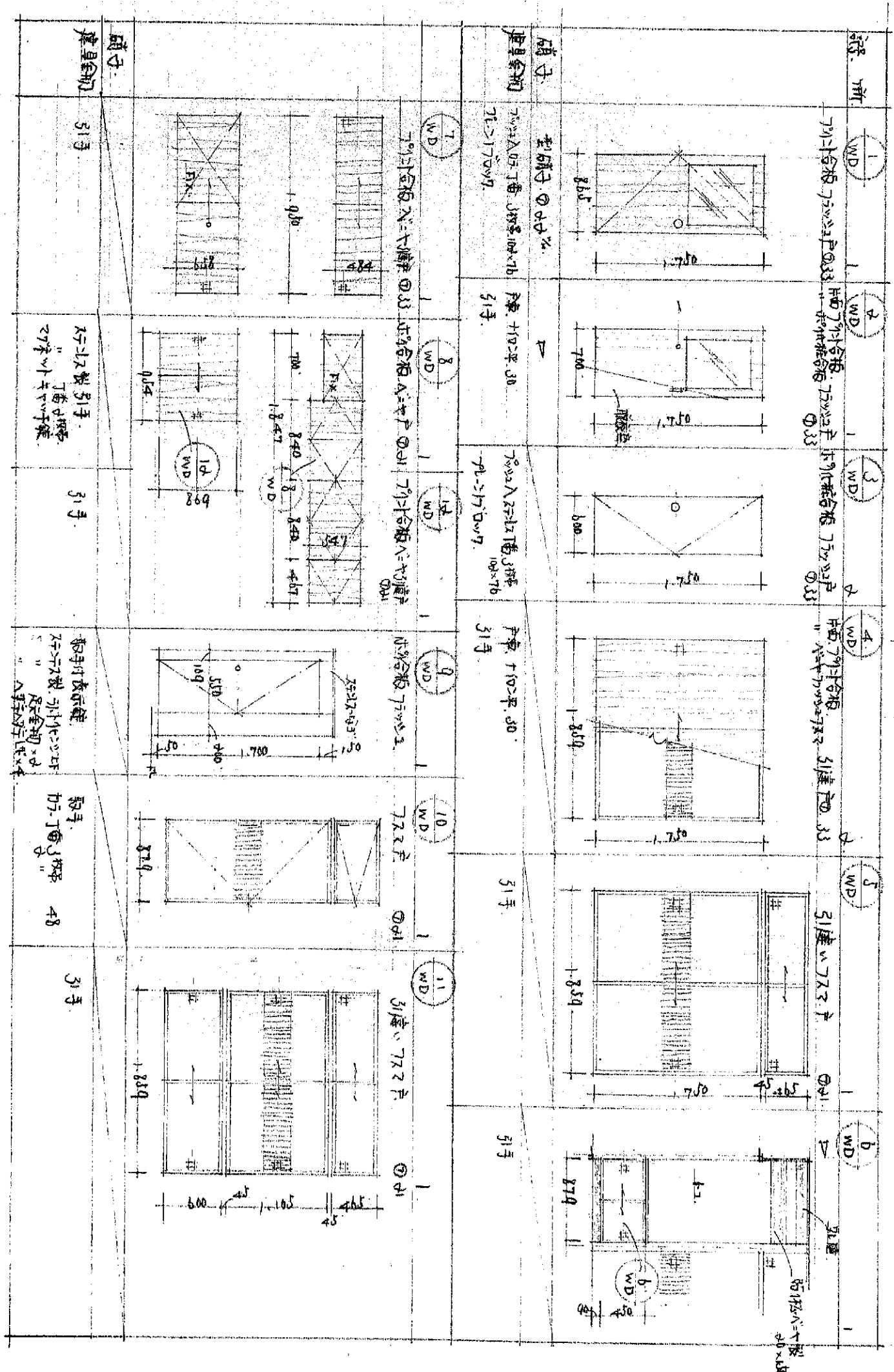
小屋伏図 1:200



图 1:200

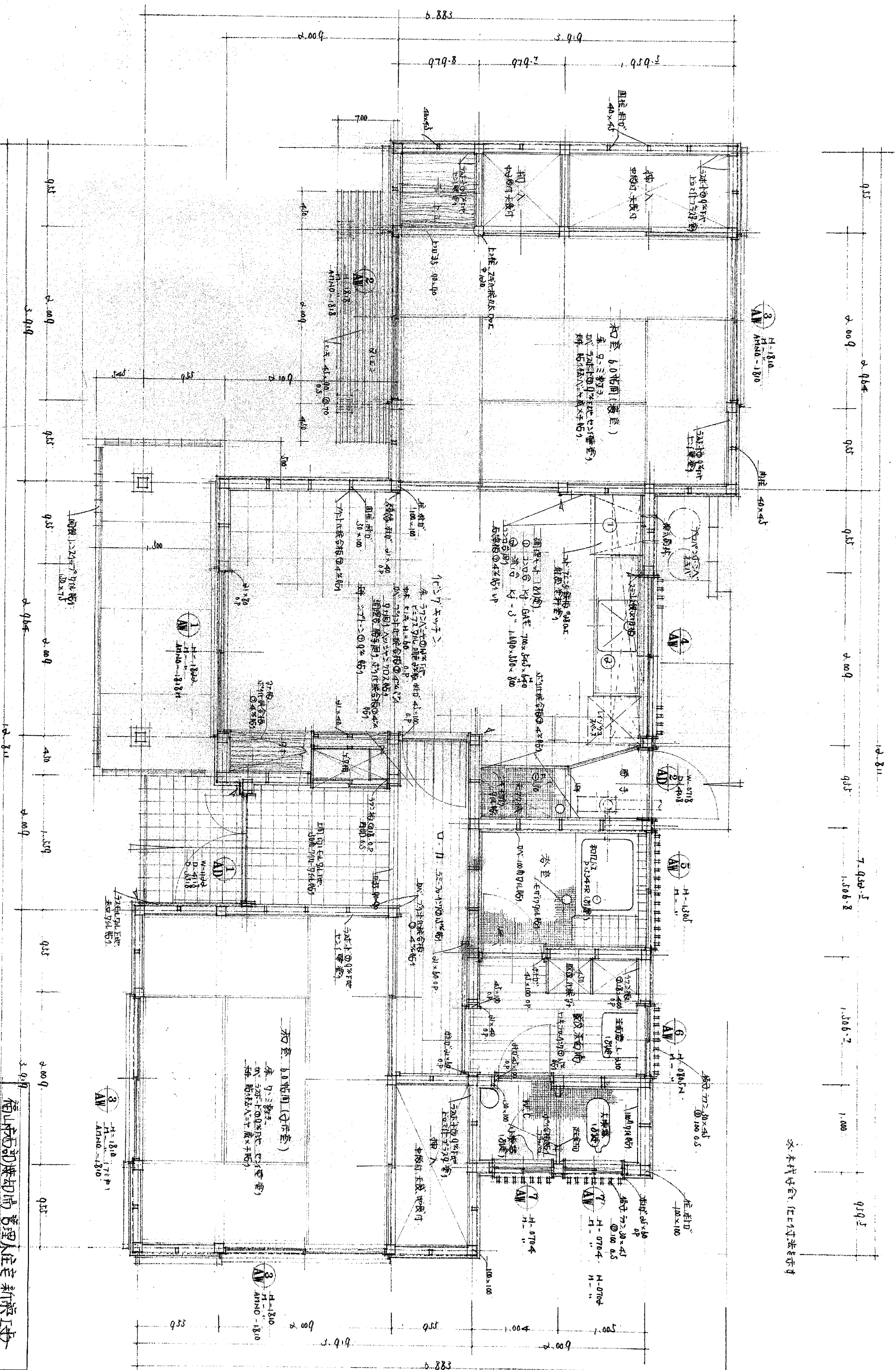


基礎伏図 1:200

[illegible]

時間 1:50

※ 木材付合、仕上り法を示す



平面詳細図

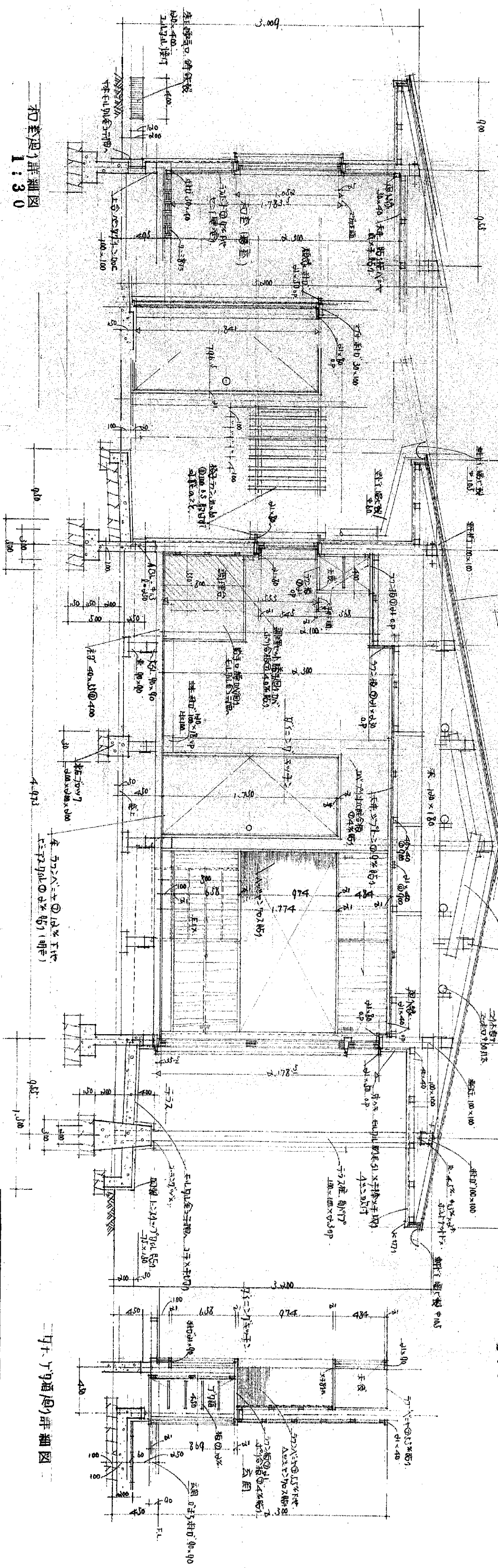
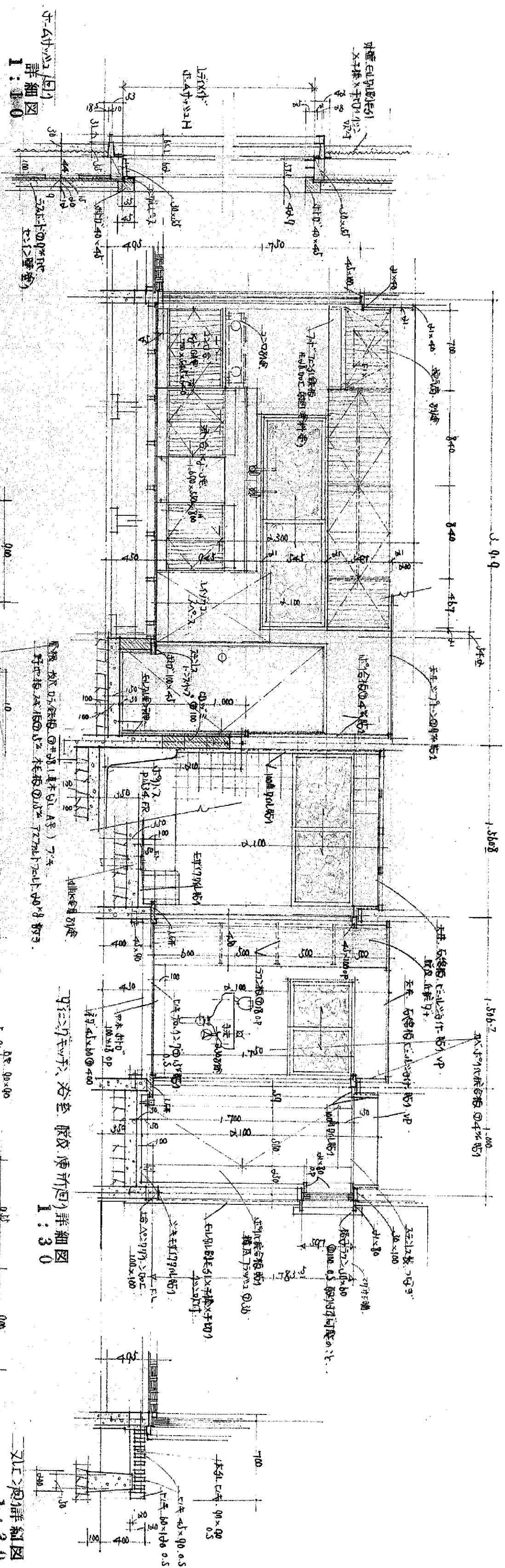
福山市建設局 管理入住宅新築工事

4/5

年	月	日	係員	備考
昭和30				

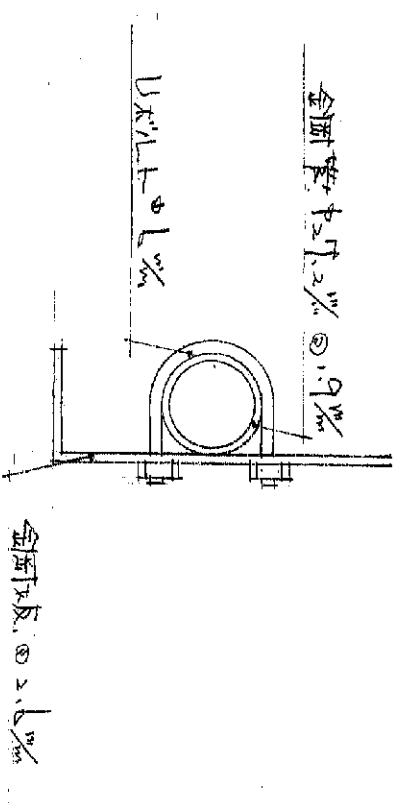
福山市建設局土木建築部建築課



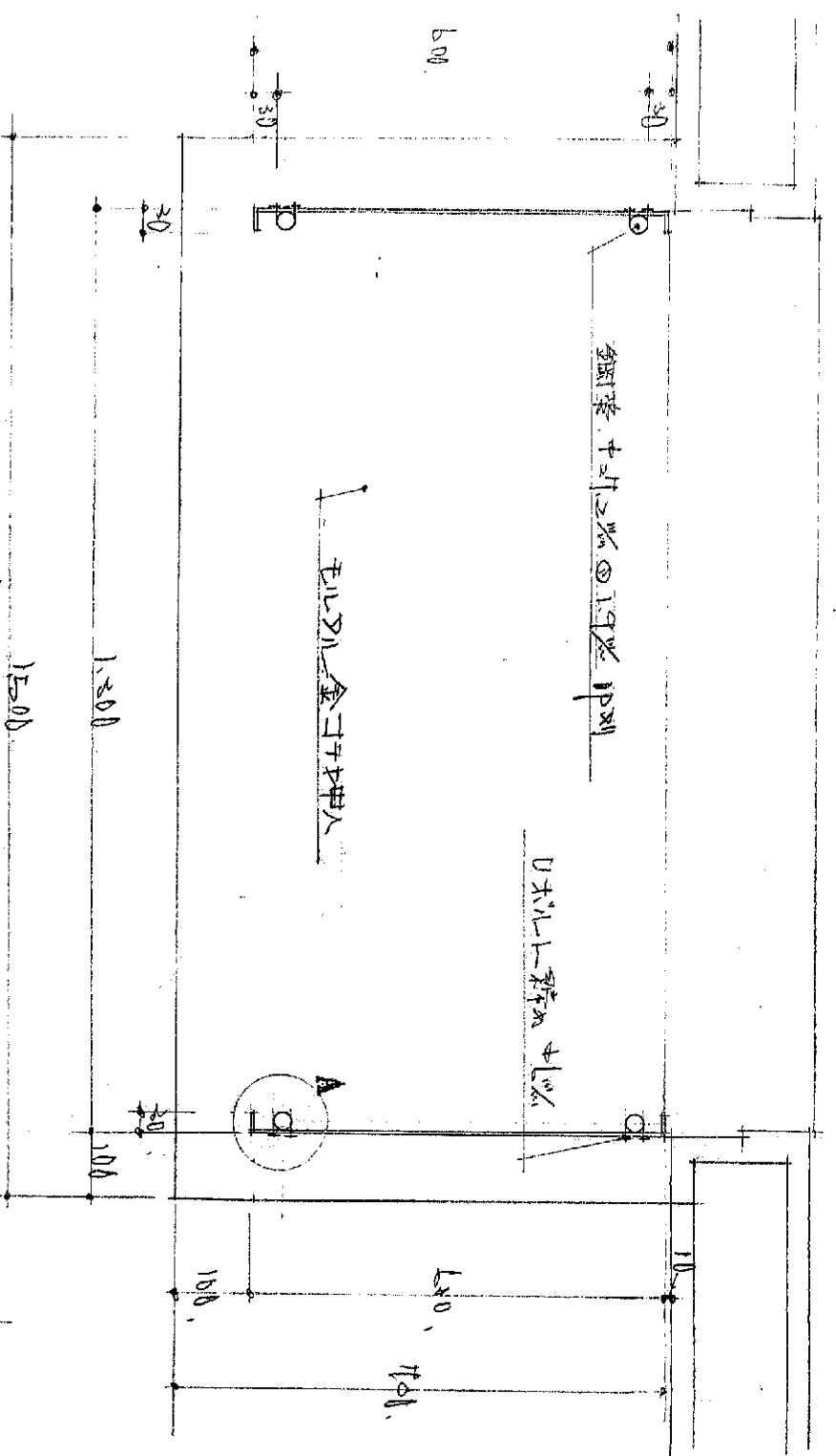


福山市建設局 管理入住宅新築工事			
断面詳細図	縮尺	1:30	
年	月	日	検査員
福山市建設局土木建築部建築課			検査員

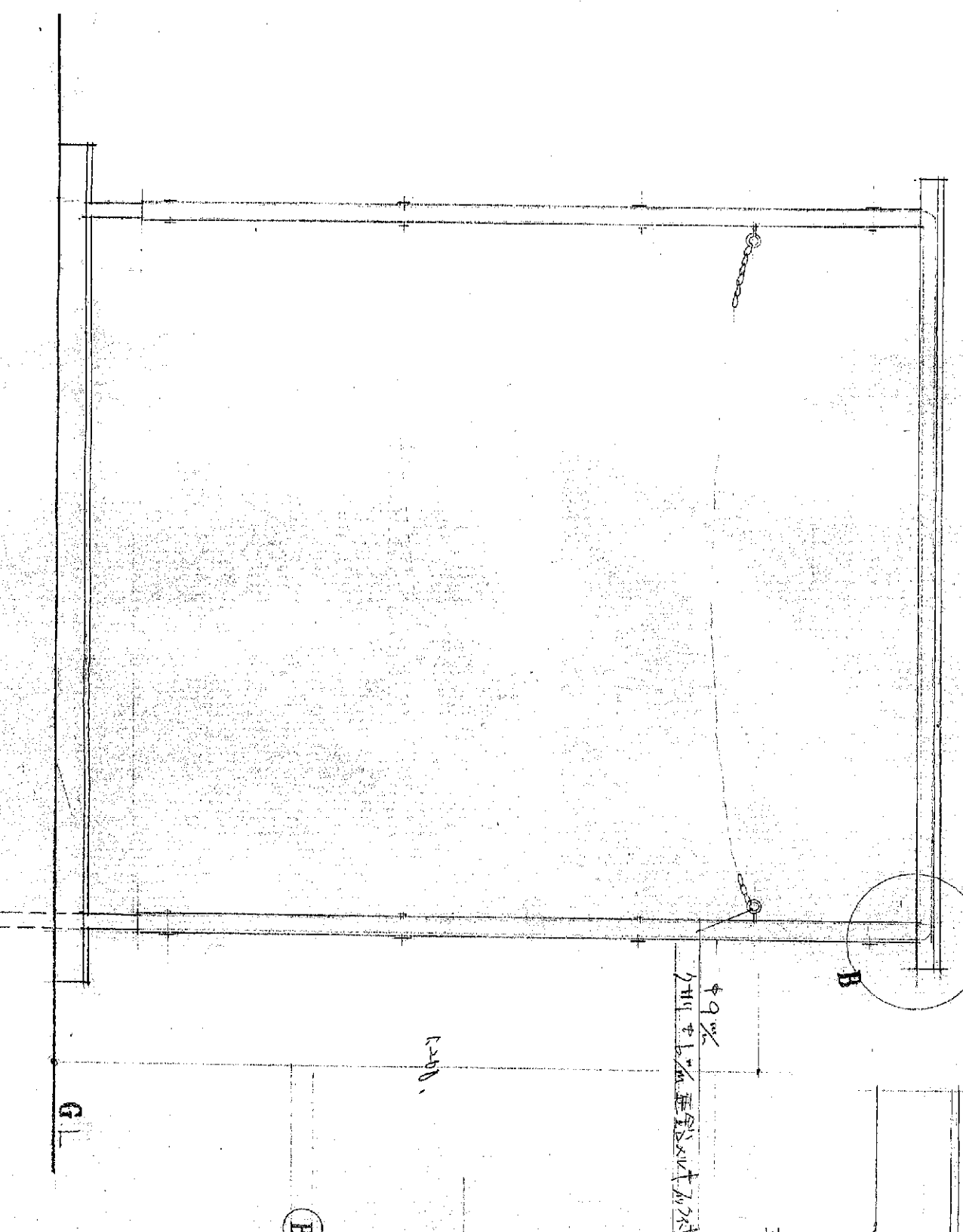
1	築新東理	置場追加工事	図面詳細図	断面詳細図	断面図	平面図	立	課長	係長	係長	課長
---	------	--------	-------	-------	-----	-----	---	----	----	----	----



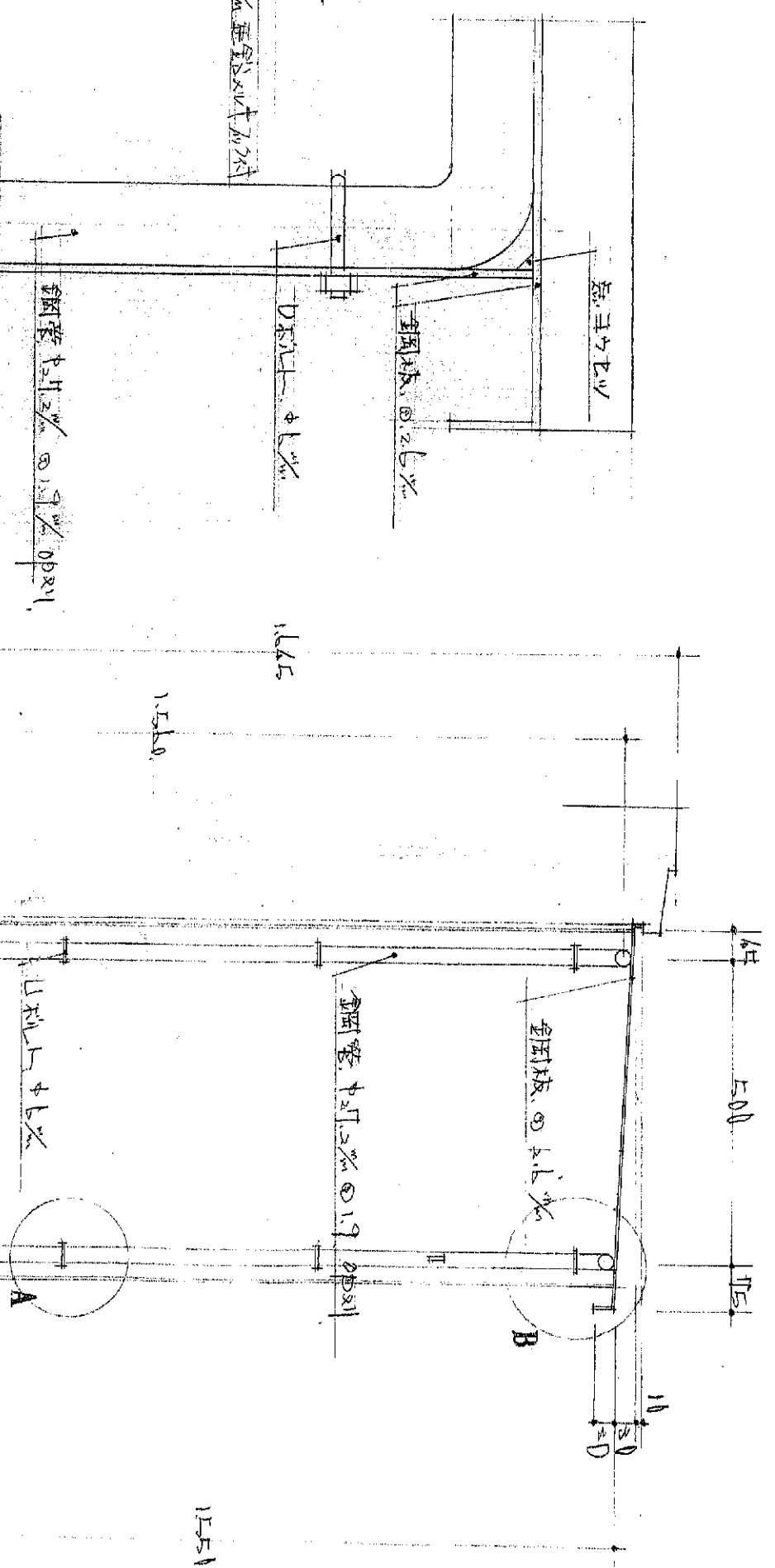
断面詳細図 1:2



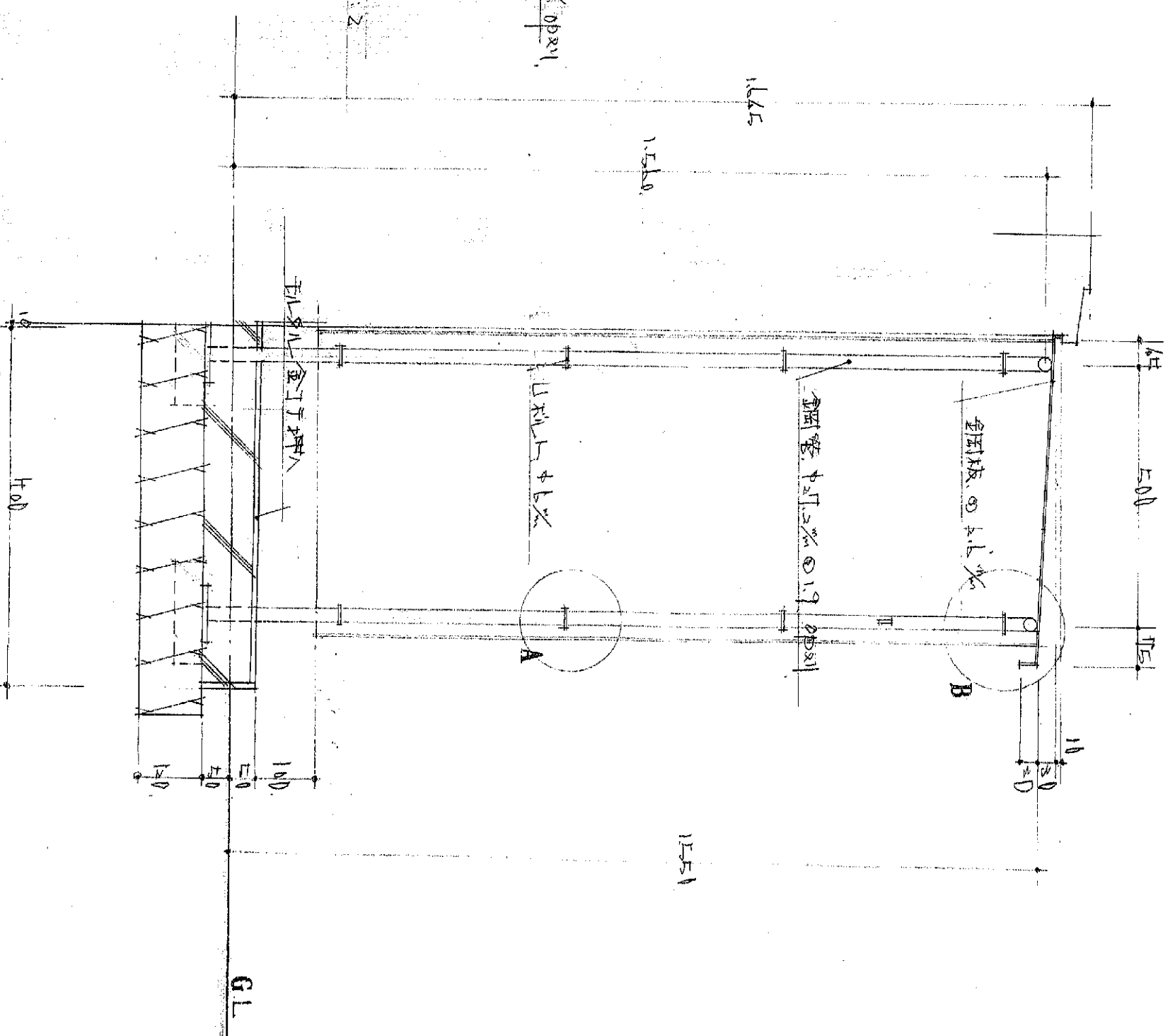
01110 圖面本



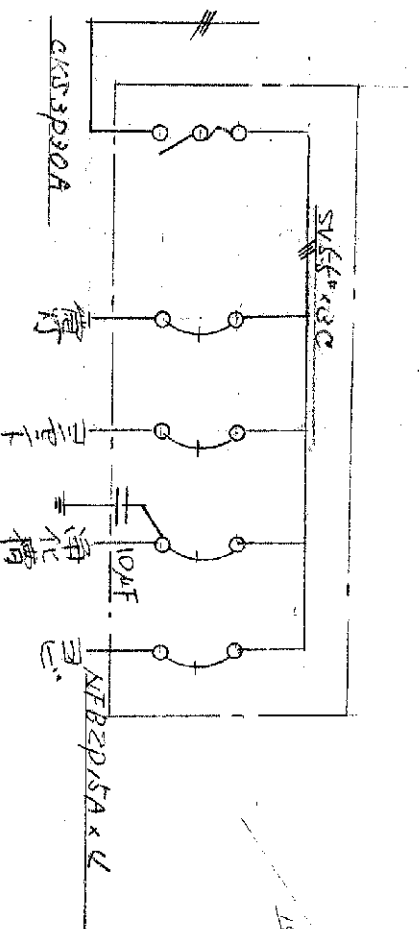
五面圖



断面詳細図 1-2



断面詳細図 1-10



福山市建設局土木建築部建築課	日	月	年	印鑑
廣江土木設備工事、引電設備工事	給尺			
福山市西部焼却場管理入住宅新築に伴う電気設備工事				



室 名	器具名	品 番	単 数	備 考 (同等品)
便 所	初回大便機	C-375V	1	U-27H S-570
	壁掛小便機	U-27	1	
	手洗機	L-60	1	
	床排水12.7"	T-5A 50	1	
洗面室	洗面機	L-230D	1	S12-7"
浴 室	浴 槽	P-1534RW	1	紅藍田英 (77H)
	床排水12.7"	T-5A 50	1	
	カッス釜	Y-9005PR	1	自動反式 リエジ
	半日カスJ-7		1	
クイーン・サニテ	泡沫自在水栓	T-131AY 13	1	
	流レ排水金物	T-14 40	1	
	① J=口台	545×700×640 ^M	1	KF-GA
	② 流レ台	550×1620×800	1	KI-J
	洗濯用排水金物	KT5CF 50	1	
	双口カスJW		1	
寝室・居間・控室	暖火庫カスBoxJ-7		3	
座 外	7"ロビン集合装置	土木用	1	50 ^{kg} ・Z ⁷
	中固J-7		1	
	散水栓 (Box装)	T-27 13	1	

尿尿淨化槽 計算書

建築用途 一 住。

延面積 $= 60.9124 \text{ m}^2$

処理対象人数

延面積 100 m^2 以下の場合は
1 戸 1 人とする。

故に 与人数とする

福山市西部焼却場管理住宅新築 1に併う。 檢非K.ガス 設備工事		1 1
付近見取図 配置圖 平面圖 47年 2月 22日		縮尺 1:100 1:500
福山市建設局土木建築部建築課		係員 橋本 櫻夫 